

令和5年度ひより台一丁目会館改修工事

図面リスト

A 建築 (全体)			E 電気設備			M 機械設備		
1	表紙・図面リスト	23	既存 展開図 (和室)	1	改修電気設備工事特記仕様書①	1	改修機械設備工事特記仕様書①	
2-1	改修特記仕様書 ①	24	改修 展開図 (和室)	2	改修電気設備工事特記仕様書②	2	改修機械設備工事特記仕様書②	
2-2	改修特記仕様書 ②	25	既存 展開図 (物入、廊下、玄関、ホール)	3	改修電気設備工事特記仕様書③	3	改修機械設備工事特記仕様書③	
2-3	改修特記仕様書 ③	26	改修 展開図 (物入、廊下、玄関、ホール)	4	改修電気設備工事特記仕様書④	4	改修機械設備工事特記仕様書④	
3-1	改修特記仕様書 ④	27	改修 展開図 (SK室、各トイレ)	5	トイレ改修 電気設備図①	5	改修 衛生器具表	
3-2	改修特記仕様書 ⑤	28				6	改修 給排水衛生設備図	
3-3	改修特記仕様書 ⑥	29						
4-1	改修特記仕様書 ⑦	30						
4-2	改修特記仕様書 ⑧	31	既存 基礎伏図					
4-3	改修特記仕様書 ⑨	32	改修 基礎伏図					
5	改修特記仕様書 ⑩	33	既存 床伏図					
6	各工事の区分表	34	改修 床伏図					
7	付近見取図	35	既存 小屋伏図					
8	敷地求積図	36	解体工事特記仕様書①					
9	既存 敷地図、建物配置図	37	解体工事特記仕様書②					
10	建物面積表							
11	既存 建物仕上表							
12	既存 平面図	40	既存 外構図					
13	既存 床レベル測量図	41	新設・改修 外構図					
14-1	改修 平面図	42	新設・改修 外構詳細図					
14-2	改修 平面詳細図							
15	既存 立面図							
16	改修 立面図							
17	既存 断面図							
18	改修 断面図							
19	既存 矩計図							
20	改修 矩計図							
21	既存 展開図 (集会室)							
22	改修 展開図 (集会室)							
							合計	55枚

株式会社 池下建築設計 一級建築士事務所

〒981-3302 宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3

Tel・Fax 022-348-8555

E-mail ikesita@sunny.ocn.ne.jp

<http://www.hisayuki.info/>

3 防水改修工事

屋根露出防水(既存)
新設防水層の種類別

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考
			種類	使用量		
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4		・製造所の仕様	※製造所の仕様		
・M3D ・POD	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ・D1-2		・製造所の仕様	※製造所の仕様	※3.3.2(9)種類 厚さ	脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ()mm以上

絶縁断熱工法のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
(個)

屋根防水
防水層の種類別

改修工法	種別	施工箇所
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2	

保護層 ・設ける(※図示による)
・設けない

E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴室等常時水に接する部位

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

屋上排水溝
※図示による

5. 改質アスファルトシート防水

屋根露出防水(既存) <3.4.2、3>
新設防水層の種類別

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考
			種類	使用量		
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		・製造所の仕様	※製造所の仕様		
・M3AS	・AS-T3 ・AS-TA ・AS-J1		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.4.2(3)の種類 厚さ	脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無 防湿層 ・有・無

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ()mm以上

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ()mm以上

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
(個)

6. 合成高分子系ルーフィングシート防水

絶縁断熱工法の防湿用シート
・設置する
・設置しない

新設防水層の種類別 <3.5.2~4><表3.5.1~3>

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考
			種類	使用量		
・S-F1			・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無
・POS ・S4S	・S-F2 ・S-M1		・製造所の仕様	※製造所の仕様		
・S-M2			・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有・無
・S-F1	・S-F1 ・S-F2	・プレキャスト ・コンクリート下地	・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有・無
・S3S	・S-F2	・プレキャスト ・コンクリート下地				
・S-M1	・S-M1		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有・無
・M4S	・S-M2		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有・無
・S-F1	・S-F1	・プレキャスト ・コンクリート下地	・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.5.2(3)(a)(b) 種類 厚さ(mm) ・25 ・50	脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無
・S-F2	・S-F2	・プレキャスト ・コンクリート下地				
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S-M1		・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.5.2(3)(a) 種類 厚さ(mm) ・25 ・50	
・S-M2	・S-M2		・製造所の仕様	※製造所の仕様		

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様
・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・設置する
・設置しない

屋内防水
防水層の種類別

種別	種類	施工箇所	保護層	
			平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚
・P1S	・S-C1		※7mm以下	

平場の保護モルタル床塗りに関する目地の目地割及び種別
目地割
※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度

目地の種類
※押し目地

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類
厚さ
mm以上

絶縁用シートの種類
※発泡ポリエチレンシート

固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の
片面若しくは両面に樹脂を積層加工したものの

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※ルーフィングシートの製造所の仕様

設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様
()個

接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う(※図示による)
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合)
・行う(※図示による)
・行わない

新設防水層の種類別 <3.6.2、3>

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		備考
			種類	使用量	
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無
・L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有・無

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※主材料の製造所の仕様
設置数量 ※主材料の製造所の仕様
(個)

8. シーリング

新設防水層の種類
改修工法 新設種別 施工箇所 工数及び各工程の使用量 保護層

・PIY	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない

シーリング改修工法の種類 <3.1.4><3.7.2、3、7、8>

○シーリング充填工法
○シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ポンドプレーカー張り
・適用する
・適用しない
エッキング材張り
・適用する
・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.11による。

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
外壁目地、7層建具枠周り	SR-1シリコン(1成分形)

仕上げを行わない施工箇所
・図示による
シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による
・図示による

接着性試験
※簡易接着性試験
※引張接着性試験

といその他の材種 <3.8.2、3>

○配管用鋼管
○硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフトレンドレン
・表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類)

とい受金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)

形状
※市販品(とい径100以下)
※25×4.5以上(とい径100を超えるもの)

取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による

足金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)

形状
※市販品

取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による

多雪地域
・適用する
・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
・図示による
鋼管製の防露巻き
※改修標準仕様書表3.8.4による

ルーフトレンドレンの種類及び呼び

種別	呼び	施工箇所
・ろく屋根用たて形I型	※ねじ込み式・80・100・125・150	
・ろく屋根用横形I型	※ねじ込み式・80・100・125・150	
・バルコニー中継用	※ねじ込み式・50・80・100	
	・差し込み式・50・75・100	
・バルコニー用	※ねじ込み式・50・80・100	
	・差し込み式・50・75・100	

たてとい受金物の取付け
※図示による
ルーフトレンドレンの取付け
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
・

種類 <3.9.2、3>

・オープン形式(・押出250形 ・押出300形 ・押出350形)
・板材折曲げ形(・オープン形式 ・シール形式)
本体幅()mm 板厚(※2.0mm ・ mm)

表面処理
種別()種
色合等・標準色() ・特注色()

既存笠木等の撤去
・行う(範囲 ・ 図示による)
・行わない
下地補修の工法
※図示による
板材折曲げ形の笠木の取付方法
※図示による

10. アルミニウム製笠木

11. 防水保証

アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名のし、保証書を作成し提出する。
塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。

4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

1. ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法 <4.1.4><4.3.5、6、7、8>

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・50~100	・40	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・100~200	・70	
	0.5以上~1.0未満	・150~250	・130	

注入状況の確認方法
※コアの抜き取りを行う
抜き取り箇所
※長さ500mmごと及びその端数につき1箇所

抜き取り部の補修方法
※図示による

・Uカットシール材充填工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上~0.3未満 0.3以上~0.5未満 0.5以上~1.0未満	
・シーリング材	1.0超過 1.5以上~2.0未満 2.0以上~未満	

・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う
・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・バテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
・可とう性エポキシ樹脂		

・充填工法 <4.1.4><4.2.4、7>

材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数
・ポリマーセメントモルタル	5~10未満 10~15未満 15~20未満 20~25未満 25~30未満		
・エポキシ樹脂モルタル	30~35未満 35~40未満		

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

1. ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法 <4.1.4><4.3.5、6、7、8>

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・50~100	・40	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・100~200	・70	
	0.5以上~1.0未満	・150~250	・130	

注入状況の確認方法
※コアの抜き取りを行う
抜き取り箇所
※長さ500mmごと及びその端数につき1箇所

抜き取り部の補修方法
※図示による

・Uカットシール材充填工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上~0.3未満 0.3以上~0.5未満 0.5以上~1.0未満 1.0超過 1.5以上~2.0未満 2.0以上~未満	

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

2. 欠損部改修工法

3. 浮き部改修工法

シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系									
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。									
可とう性エポキシ樹脂									
シール工法 工法の種類	ひび割れ幅(mm)		延べ長さ(m)						
・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	0.2未満								
充填工法 材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数						
・ポリマーセメントモルタル	5~10未満 10~15未満 15~20未満 20~25未満 25~30未満								
・エポキシ樹脂モルタル	30~35未満 35~40未満								
モルタル塗替え工法 材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数						
・現場調査材料 ・既調合材料									
現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)									
既調合材料									
既製品地材 ・使用する(形状・図示による)									
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示による									
工法の種類	アンカーの本数 (本/箇所)	注入箇所数 (箇所/箇所)	注入量 (ml/箇所)	延べ長さ (m)					
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	※25					
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25				
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント スラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50				
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	-	-	※25				
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25				
・注入口付アンカー ピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50				
・充填工法	-	-	-	-	-				
・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-				
アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの									
注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度									
注入工法用材料 ・ポリマーセメントスラリー									
広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (収縮%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm2)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2)				
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上				
保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00									
充填工法用材料 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル									
モルタル塗替え工法用材料 ・現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による) ・既調合材料									
既製品地材 ・使用する(形状・図示による)									
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示による									

4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

1. タイルの形状寸法等

タイルの形状・寸法等	<4.4.5. 8>					
施工箇所 寸法(mm)	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	ぬり無	ゆすり無	有無
標準的な曲がりの役物は一体成形とする。						
見本焼き ・行う(施工箇所)						・行わない
試験張り ・行う(範囲、仕様等は図示による)						・行わない

2. ひび割れ部改修工法

樹脂注入工法	<4.1.4><4.4.5. 6>			
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	延べ長さ(m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・50~100	・40	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・100~200	・70	
	0.5以上~1.0未満	・150~250	・130	

3. 欠損部改修工法

4. 浮き部改修工法

工法の種類	アンカーの本数 (本/箇所)	注入箇所数 (箇所/箇所)	注入量 (ml/箇所)	延べ長さ (m)					
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	※25					
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25				
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント スラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50				
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	-	-	※25				
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25				
・注入口付アンカー ピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50				
・充填工法	-	-	-	-	-				
・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-				

5. 目地改修工法

目地改修工法	<4.1.4><4.4.5. 16>			
目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示による シーリングは、改修特記仕様書第3章 防水改修工事による。				
1. 既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整	<4.5.4>			
工法	処理範囲	下地面の補修		
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による			
・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による			
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による			
・水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、 塗膜はく離剤工法の処理範囲以外 の既存仕上げ面全体 ・図示による			
2. 下地調整塗材	<4.5.2>			
※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル				
3. 仕上塗材仕上げ	<4.1.5><4.5.2><表4.5.1>			
新規仕上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材				
種類(呼び名)	仕上りの形状	工法	防火材料	
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り		
・可とう形外装塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り		
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・ローラー塗り ・吹付け		
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け		
厚付け仕上塗材 種類(呼び名)	仕上りの形状	工法	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とす	・吹付け ・こて塗り		・適用する
・外装厚塗材Si	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する

4. マスチック塗材塗り

5. 外壁用塗膜防水材塗り

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層仕上塗材	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※アクリル系	・耐候性3種	
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ※複層塗材E	・ゆず肌状	・ローラー塗り	外観 ※つやあり ・クリック 溶媒 ※水系	※耐候性3種	
可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※アクリル系	・耐候性3種	
	・ゆず肌状	・ローラー塗り	外観 ※つやあり ・クリック 溶媒 ※水系	※耐候性3種	
・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※アクリル系	・耐候性3種	
	・ゆず肌状	・ローラー塗り	外観 ※つやあり ・クリック 溶媒 ※水系	※耐候性3種	
可とう形改修用仕上塗材 種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・可とう形改修塗材E	・平たん状	・吹付け	樹脂	・耐候性1種	
・可とう形改修塗材RE	・さざ波状	・ローラー塗り	外観	・耐候性2種	
・可とう形改修塗材E	・ゆず肌状	・ローラー塗り	溶媒	・耐候性3種	
種別			A種	B種	
仕上げの形状	<4.1.5><4.7.2.3><表4.7.1>				
工法	<4.1.5><4.7.2.3><表4.7.1>				
仕上塗材の耐候性	下地準拠緩衝材の適用 ・適用する ・適用しない コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事(コンクリート打ち直し仕上げ外壁改修)による。 モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁改修)による。 吹付け工法の模様材の種類 ・(所要量(kg/㎡)) 外壁用仕上塗料の種類 ・(所要量(kg/㎡)) 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事(塗仕上げ外壁等改修)による。				
① 改修工法	<5.1.3>				
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所		
○アルミニウム製建具			・建具表による ・建具裏による		
○樹脂製建具			・建具表による ・建具裏による		
○鋼製建具	・外部		・建具表による		
○鋼製軽量建具	・内部		・建具表による		
○ステンレス製建具			・建具表による		
○木製建具			・建具表による		
新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示による 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示による 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。					
2. 防火戸	・指定する 適用箇所(・建具表による) <5.1.4> ・指定しない 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・連動させる 適用箇所(・建具表による) ・連動させない				
3. 見本の製作等	建具見本の製作 ・行う(建具符号:) <5.1.5> ※行わない 建具見本製作の目的等: () 特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号:) ※行わない				
4. 防犯建物部品	・適用する(・建具表による) <5.1.7> ※適用しない				

5 建具 改修 工事	⑤. アルミニウム製建具	性能値等 耐風圧性の等級 () (建具符号・建具表による) 気密性の等級 () (建具符号・建具表による) 水密性の等級 () (建具符号・建具表による) 外部に面する建具の種別 ・A種 (建具符号・建具表による) ・B種 (建具符号・建具表による) ・C種 (建具符号・建具表による) 枠の見込み寸法 (建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ※BB-1 ・BB-2 (改修標準仕様書表5.2.2) 着色 ・標準色 ・特注色 屋内の建具 種別 ※BC-1 ・BC-2 (改修標準仕様書表5.2.2) 着色 ・標準色 ・特注色 結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による	<5.2.2~5><表5.2.2>	9. 鋼製軽量建具	材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.4.2による mm 使用箇所 () 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による 性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具符号：・建具表による) ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による) 材料 鋼板 ・垂鉛めつき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.5.1による mm 使用箇所 () 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による	<5.2.2><5.5.2~4>	⑩. ステンレス製建具	性能値等 耐風圧性の等級 () 気密性の等級 () 水密性の等級 () 外部に面する建具の種別 ・A種 (建具符号・建具表による) ・B種 (建具符号・建具表による) ・C種 (建具符号・建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 枠の見込み寸法 ・建具表による 材料 ガラス ※複層ガラス ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色 ・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による	<5.2.2><5.3.2~5>	10. ステンレス製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具符号：・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (建具符号：・建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	<5.2.2><5.4.2><5.6.2~5>	11. 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(f)(a)による 表面材の合板の種類	<5.7.2~4>	⑫. 建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.2による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.3による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.4による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書表5.8.5による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による	<5.8.1~3>	13. 鍵	マスターキー ・製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き) 鍵箱 ・無し ・有り	<5.8.4>	14. 自動ドア開閉装置	戸の開閉方式 ・建具表による ・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.1による (防錆・適用する・適用しない) ・以下による 種類・開閉方式 () 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.2による (防錆・適用する・適用しない) ・以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 防滴 () 電源 () 引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ	<5.9.2、3>	15. 自閉式上吊り引戸装置	性能値等 ※改修標準仕様書表5.10.1 ・以下による 手動開き力 () 手動閉じ力 () 閉じ速度の調整 () 制動区間 () 閉閉繰返し () 耐衝撃性 ()	<5.10.3>	16. 重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設置する重量シャッターの耐風圧強度 () Pa 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所・建具表による) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所・建具表による) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所・建具表による) 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ※JIS G 3302 (溶融亜鉛めつき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めつき鋼板鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1	<5.11.2、3>	17. 軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所・建具表による) スラットの材質の種類 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めつき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めつき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※AZ90) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	<5.12.2~4>	18. オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ 耐風圧性能区分 ・50 ・75 ・100 ・125 開閉方式による区分 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式による区分 ※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形 ガイドレールの材料 ※溶融亜鉛めつき鋼板 ・ステンレス鋼板 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所・建具表による)	<5.13.2、3>	⑬. ガラス	・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 <3.7><5.14.2~4> ※建具表による ・型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ・網入板又は線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・III類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・I種 ・2種	<3.7><5.14.2~4>
	⑥. 網戸等	<5.2.3、5.3.3>	種類 ①防虫網 ・防鳥網 材質 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製 線径 ※0.25mm以上 網目 ※16~18メッシュ 網目寸法15mm	7. 樹脂製建具	性能値等 耐風圧性の等級 () 気密性の等級 () 水密性の等級 () 外部に面する建具の種別 ・A種 (建具符号・建具表による) ・B種 (建具符号・建具表による) ・C種 (建具符号・建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 枠の見込み寸法 ・建具表による 材料 ガラス ※複層ガラス ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色 ・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による	<5.2.2><5.4.2~4><表5.4.2>	⑪. 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(f)(a)による 表面材の合板の種類	<5.7.2~4>	⑭. ガラス	・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 <3.7><5.14.2~4> ※建具表による ・型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ・網入板又は線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・III類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・I種 ・2種	<3.7><5.14.2~4>																											

(株) 池下建築設計

事務所登録 宮城県 第21610219号

設計年月日

調査者氏名

設計者氏名

池下 久幸
一級建築士
第280837号

工事名称

図面名称

令和5年度ひより台一丁目会館改修工事

特記仕様書(4)

全業

図面 No

A-3-1

Scale

5 建具 改修 工事	<ul style="list-style-type: none"> 複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・ 建具表による 断熱性による区分 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・ G ・ S 乾燥気体の種類 ・ 空気 ・ アルゴン 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・ 建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 耐久性による区分 (日射熱遮へい性が2種の場合) ・ A類 ・ B類 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・ 建具表による 	6 内装 改修 工事	<p>① 改修範囲 <6.1.3> 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示による</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示による</p> <p>既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・ 図示による</p> <p>② 既存床の撤去及び地下補修 <6.2.2> ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ (接着剤とも) ・ 下地モルタルとも (・ 図示による ・ 除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法</p> <p>既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。</p> <p>改修後の床の清掃範囲 ※図示による</p> <p>③ 既存壁の撤去及び地下補修 <6.3.2> 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り (全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による)</p> <p>④ 施工一般 <6.5.2> 材料ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(9)(b)による</p> <p>⑤ 製材 <6.5.2> ・ JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td>※上小節</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・ A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・ A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JAS 1083 (製材) 以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑥ 造作用集材材 <6.5.2> ・ 「集材材の日本農林規格」による造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・ 2等 ※1等 ・ 2等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>材種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板:</td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>芯材:</td> <td></td> <td></td> <td>※2等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板:</td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>芯材:</td> <td></td> <td></td> <td>※2等</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>化粧薄板:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理			※2級	※A種 ・ B種				※2級	※A種 ・ B種		施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	見え掛り面		※上小節	※A種 ・ B種		見え掛り面以外		※小節以上	※A種 ・ B種		施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理			※1等	※10%以下 ・ A種 ・ B種				※1等	※10%以下 ・ A種 ・ B種		施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率			() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・ 適用する ・ 適用しない	※A種 ・ B種			() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・ 適用する ・ 適用しない	※A種 ・ B種	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	含水率						※1等 ・ 2等 ※1等 ・ 2等		施工箇所	品名	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	含水率			化粧薄板:			※1等					芯材:			※2等					化粧薄板:			※1等					芯材:			※2等			施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率					※15%以下					※15%以下	施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	含水率		化粧薄板:				※15%以下			芯材:				※15%以下			化粧薄板:				※15%以下			芯材:				※15%以下		<p>7. 造作用単板積層材 <6.5.2></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する ・ 適用しない ・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JAS 0701 以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JAS 3079 に基づく直交集成板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑧ 合板等 <6.5.2> ・ 「合板の日本農林規格」による普通合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td></td> <td>※1類 ・ 2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上 ・ 1等 針葉樹 ※C-D以上</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 「合板の日本農林規格」による構造用合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床下地</td> <td>※2級以上 ・ 1級</td> <td>針葉樹 本実加工</td> <td>※1類 ・ 特類</td> <td>※C-D以上</td> <td>※12 ・ 28</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1類 ・ 特類</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1類 ・ 2類</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1類 ・ 2類</td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ パーティクルボード</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> <td>※15</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JAS 0360 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ MDF</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>9. 接合具等 <6.5.3> 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し</p> <p>諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1F程度) ・ (形状: 寸法: 材質:)</p> <p>10 接着剤 <6.5.3、4> 接着剤ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>11. 防霉・防蟻処理 <6.5.5></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ K2 ・ K3 ・ K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ K2 ・ K3 ・ K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ K2 ・ K3 ・ K4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理					・ 適用する ・ 適用しない ・ 適用する ・ 適用しない	施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理				※14%以下	・ 適用する ・ 適用しない				※14%以下	・ 適用する ・ 適用しない	施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)								施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理		※5.5		※1類 ・ 2類	広葉樹 ※2等以上 ・ 1等 針葉樹 ※C-D以上	・ 適用する ・ 適用しない	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	床下地	※2級以上 ・ 1級	針葉樹 本実加工	※1類 ・ 特類	※C-D以上	※12 ・ 28	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				・ 1類 ・ 特類	・ 適用する ・ 適用しない	施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理				・ 1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理			・ 1類 ・ 2類			・ 適用する ・ 適用しない	施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)			※13タイプ	※P又はM		※15	施工箇所	寸法 (mm)			施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							適用部材	保存処理性能区分	・ K2 ・ K3 ・ K4		・ K2 ・ K3 ・ K4		・ K2 ・ K3 ・ K4		<p>⑩ 内部間仕切軸組及び床組み <6.5.6> ・ 間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※杉又は松</p> <p>⑪ 窓、出入口その他 <6.5.7> ・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉</p> <p>14. 軽量鉄骨天井下地 <6.6.2~4> 野縁等の種類 屋外 ・ ※25形 ・ 19形 屋内 ・ ※19形 ・ 25形 屋外の形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びビニサートの間隔 ・ 図示による 周辺部の端からの間隔 ・ 図示による 野縁の間隔 ・ 図示による 既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・ 行う 試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・ ()箇所 引張試験にて確認する強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度 ・ ()N</p> <p>※行わない ・ つりボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法 ※図示による) ・ 天井のふところ高が3.0mを超える場合 (補強方法 ※図示による) ・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所 ※図示による) (補強方法 ※図示による)</p> <p>15. 軽量鉄骨壁下地 <6.7.3、4><表6.7.1> スタッド、ランナーの種類 ※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示による</p> <p>スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕様書6.7.4(5)による</p> <p>⑫ ビニル床シート <6.8.2、3></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※FS (複層ビニル床シート)</td> <td>※無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>接合部の処理 ※熱溶接工法</p> <p>⑬ ビニル床タイル <6.8.2></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※KT (コンポジションビニル床タイル)</td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>※300×300 ・ 450×450</td> <td>※2.0 ・ 3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ TT (単層ビニル床タイル)</td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 300×300 ・ 450×450</td> <td>・ 2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ FT (複層ビニル床タイル)</td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 300×300 ・ 450×450</td> <td>・ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0 ・ 4.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ FOA (置き敷きビニル床タイル)</td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 500×500</td> <td>・ 4.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ FOB (薄型置き敷きビニル床タイル)</td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>18. 特殊機能床材 <6.8.2></p> <p>・ 帯電防止床シート 種類 () 性能 () 厚さ (mm) ()</p> <p>・ 帯電防止床タイル 種類 () 性能 () 寸法 (mm) () × () 厚さ (mm) ()</p> <p>・ 視覚障害者用床タイル ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。 種類 () 形状 ()</p> <p>・ 耐動荷重性床シート 種類 () 厚さ (mm) ()</p>	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	※FS (複層ビニル床シート)	※無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物	※2.0		種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	※KT (コンポジションビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	※300×300 ・ 450×450	※2.0 ・ 3.0		・ TT (単層ビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 2.0		・ FT (複層ビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0 ・ 4.0		・ FOA (置き敷きビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 500×500	・ 4.0		・ FOB (薄型置き敷きビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物			
	施工箇所		寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
				※2級	※A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				※2級	※A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	施工箇所		寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	見え掛り面			※上小節	※A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	見え掛り面以外			※小節以上	※A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	施工箇所		寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
				※1等	※10%以下 ・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				※1等	※10%以下 ・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・ 適用する ・ 適用しない	※A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・ 適用する ・ 適用しない	※A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
					※1等 ・ 2等 ※1等 ・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	品名	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		化粧薄板:			※1等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		芯材:			※2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		化粧薄板:			※1等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		芯材:			※2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	化粧薄板:				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	芯材:				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	化粧薄板:				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	芯材:				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				・ 適用する ・ 適用しない ・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			※14%以下	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			※14%以下	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	※5.5		※1類 ・ 2類	広葉樹 ※2等以上 ・ 1等 針葉樹 ※C-D以上	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
床下地	※2級以上 ・ 1級	針葉樹 本実加工	※1類 ・ 特類	※C-D以上	※12 ・ 28	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			・ 1類 ・ 特類	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			・ 1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		・ 1類 ・ 2類			・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		※13タイプ	※P又はM		※15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ K2 ・ K3 ・ K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ K2 ・ K3 ・ K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ K2 ・ K3 ・ K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※FS (複層ビニル床シート)	※無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物	※2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※KT (コンポジションビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	※300×300 ・ 450×450	※2.0 ・ 3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ TT (単層ビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ FT (複層ビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0 ・ 4.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ FOA (置き敷きビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 500×500	・ 4.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ FOB (薄型置き敷きビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
20. ガラス ブロック積み <5.14.5>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色調</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>伸縮調整目地位置 (mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 160×160</td> <td>・ 95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 200×200</td> <td>・ 95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>壁用金属枠及び補強材 ※図示による 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)</p> <p>寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 (・ 白 ・ グレー) シーリングの種類 (・ SR-1 ・ PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製</p> <p>寸法 ※図示による 形状 ※図示による 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による</p>	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能	・ 160×160	・ 95					・ 200×200	・ 95						21. ガラス用 フィルム	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>その他性能等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 日射調整フィルム</td> <td>内貼り用外貼り用 ・ SC-1 ・ SC-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 低放射フィルム</td> <td>・ LE</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td> <td>・ GI-1 ・ GI-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td> <td>・ GD-1 ・ GD-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ガラス貫通防止フィルム</td> <td>・ SF</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>品質は、JIS A 5759による。</p>	種類	記号	その他性能等	・ 日射調整フィルム	内貼り用外貼り用 ・ SC-1 ・ SC-2		・ 低放射フィルム	・ LE		・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GI-1 ・ GI-2		・ 相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GD-1 ・ GD-1		・ ガラス貫通防止フィルム	・ SF																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ 160×160	・ 95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ 200×200	・ 95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
種類	記号	その他性能等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 日射調整フィルム	内貼り用外貼り用 ・ SC-1 ・ SC-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ 低放射フィルム	・ LE																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GI-1 ・ GI-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ 相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GD-1 ・ GD-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ ガラス貫通防止フィルム	・ SF																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>(株) 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
設計年月日	調査者氏名	設計者氏名 池下 久幸 一級建築士 第280837号	工事名称 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事 図面名称 Scale 特記仕様書(5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
全業		図面 No. A-3-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

<p>6 内装改修工事</p> <p>19. ビニル幅木</p> <p>20. ゴム床タイル</p> <p>21. カーベツト敷き</p> <p>22. 合成樹脂塗床</p>	<ul style="list-style-type: none"> 防滑性床シート種類 () 厚さ(mm) () 防滑性床タイル種類 () 寸法(mm) () × () 厚さ(mm) () <p>材質の種類 (6. 8. 2) ※軟質 ・硬質 高さ(mm) ※60 ・75 ・100 厚さ(mm) ※1.5以上</p> <p>種類 (6. 8. 2) ・単層品 ・積層品 色柄 () 厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm) () × ()</p> <p>織じゆうたん (6. 9. 2、3)<表6. 9. 1> 織り方 バイル形状 備考</p> <p>・ウルトンカーベツト ・ダブルフェースカーベツト ・アキスミンスターカーベツト</p> <p>・カットパイル ・ループパイル</p> <p>色柄 ※模様のない無地</p> <p>パイル系の織維種等 ※無地の織じゆうたんの種別 (・A種 ・B種 ・C種)</p> <p>帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゆうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種1号 呼び厚さ 8mm</p> <p>・タフテッドカーベツト</p> <table border="1" data-bbox="534 850 789 966"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>パイル長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・カットパイル</td> <td>・5~7</td> <td>※全面接着工法</td> <td>・適用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループパイル</td> <td>・4~6</td> <td>・ゲリッパ工法</td> <td>・非適用</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">・カット、ループ併用</td> </tr> </table> <p>下敷き材 (グリッパ工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第212号 呼び厚さ 8mm</p> <p>タフテッドカーベツト用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>・タイルカーベツト</p> <table border="1" data-bbox="534 1102 789 1249"> <tr> <th>バイルの形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ループパイル</td> <td>※第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットパイル</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット・ループ併用</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーベツト用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>タイルカーベツトの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し</p> <p>階段部分 ※模様流し ・市松敷き</p> <p>見切り、押え金物 材質 () 種類 () 形状等 ※図示による</p> <p>合成樹脂塗床 (6. 10. 2、3)</p> <table border="1" data-bbox="534 1585 789 1732"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床</td> <td></td> <td>・薄膜流しのペ工法</td> <td>※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 水性樹脂系塗床</td> <td></td> <td>・薄膜流しのペ工法</td> <td>・平滑仕上げ ・防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材</td> <td></td> <td>・樹脂モルタル工法</td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> </table> <p>塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	バイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考	・カットパイル	・5~7	※全面接着工法	・適用		・ループパイル	・4~6	・ゲリッパ工法	・非適用		・カット、ループ併用					バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考	※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床		・薄膜流しのペ工法	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 水性樹脂系塗床		・薄膜流しのペ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	・薄膜型塗床材		・樹脂モルタル工法	※平滑仕上げ	<p>23. フローリング張り (6. 11. 2~6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 ※改修標準仕様書6. 11. 2(2)による</p> <p>各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆</p> <ul style="list-style-type: none"> 単層フローリング (フローリングボード1等) 工法 <ul style="list-style-type: none"> 釘留め工法 (・根太張り ・直張り) 接着工法 樹種 ※なら 単層フローリング (フローリングブロック1等) 樹種 厚さ (mm) 大きさ <p>複合フローリング工法 (6. 12. 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 釘留め工法 (・根太張り ○直張り) 接着工法 樹種 ※なら 種別 ・A種 ・B種 ・C種 <p>接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場塗装仕上げ <ul style="list-style-type: none"> ウレタン樹脂ワニス塗り オイルステインの上、ワックス塗り 生地そのままワックス塗り <p>種別 (6. 12. 2) ・A種 ・B種 ※C種 ・D種 (畳床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) 下地の種類 標準仕様書表12. 6. 1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム)</p> <p>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表: ・C1 ・C2)</p> <p>24. 畳敷き (6. 13. 2、3)</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6. 13. 2(2) (イ)の(a)~(d)のいずれか</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>表面への化粧張り等の加工 ※図示による</p> <table border="1" data-bbox="934 1060 1486 1291"> <tr> <th>種類等</th> <th>厚さ(mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>木質系セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木毛セメント板</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・硬質(HW) ・中質(MW) ・普通(NW)</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・木片セメント板</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・硬質(HF) ・普通(NF)</td> <td>・12 ・15 ・18 ・21 ・30</td> </tr> <tr> <td>繊維強化セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・けい酸カルシウム板(タイプ2)</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>普通ボード 0.8FK</td> <td>・6 ・8</td> </tr> <tr> <td>火山性ガラス質複層板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・火山性ガラス質複層板</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>種類 ※図示による</td> <td></td> </tr> </table> <p>繊維板 (6. 13. 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MDF (MDF) ※図示による ・3 ・7 ・9 ・12 <p>ハードボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スラグボード (無処理) ・素地ハードボード <ul style="list-style-type: none"> ・未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS) ・内装用化粧ハードボード (DI) ・フルハードボード (処理) <ul style="list-style-type: none"> ・素地ハードボード <ul style="list-style-type: none"> ・未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS) ・外装用化粧ハードボード (DE) ・インシュレーションボード <ul style="list-style-type: none"> ・A級インシュレーションボード (A-IB) ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材 <p>パーティクルボード (6. 14. 2、3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単板張りパーティクルボード <ul style="list-style-type: none"> ・無研磨板 (VN) ・研磨板 (VS) ・化粧パーティクルボード <ul style="list-style-type: none"> ・単板オーバーレイ (DV) ・プラスチックオーバーレイ (DO) ・塗装 (DC) <p>吸音材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロックウール化粧吸音板 (DR) <ul style="list-style-type: none"> ・フラットタイプ <ul style="list-style-type: none"> ・凹凸タイプ ・ロックウール吸音ボード (1号) <ul style="list-style-type: none"> ・ガラスウール吸音ボード (32K) 	種類等	厚さ(mm)、規格等	木質系セメント板		・木毛セメント板	※図示による	・硬質(HW) ・中質(MW) ・普通(NW)	・15 ・20 ・25	・木片セメント板	※図示による	・硬質(HF) ・普通(NF)	・12 ・15 ・18 ・21 ・30	繊維強化セメント板		・けい酸カルシウム板(タイプ2)	※図示による	普通ボード 0.8FK	・6 ・8	火山性ガラス質複層板		・火山性ガラス質複層板	※図示による	種類 ※図示による		<p>せっぽうボード (6. 14. 2、3)</p> <table border="1" data-bbox="1647 94 2187 241"> <tr> <td>せっぽうボード (GB-R)</td> <td>※12.5(不燃) ・15(不燃)</td> </tr> <tr> <td>・セーディングせっぽうボード (GB-S)</td> <td>・12.5(不燃 ・準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・強化せっぽうボード (GB-F)</td> <td>・12.5(不燃) ・15(不燃)</td> </tr> <tr> <td>せっぽうボード (GB-L)</td> <td>・9.5</td> </tr> <tr> <td>・不燃積層せっぽうボード (GB-NC)</td> <td>・9.5 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・化粧無し (下地張り用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・化粧有り (トランプ模様)</td> <td></td> </tr> </table> <p>合板類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通合板 表板の樹種名: ※図示による 板面品質: 防虫処理 ・行方 ・行わない ・天然木化粧合板 化粧板の樹種名: ※図示による 防虫処理 ・行方 ・行わない ・特殊加工化粧合板 化粧加工の方法: ※図示による ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 表面性能 防虫処理 ・行方 ・行わない <p>天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ※図示による</p> <p>合板類の張付け ・A種 ・B種</p> <p>せっぽうボードの目地工法等 目地工法の種類 ※仕上げによる</p> <p>突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 ・ペベルエッジ ・スクエアエッジ</p> <p>化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装)</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 (6. 14. 2、3) ※F☆☆☆☆</p> <table border="1" data-bbox="1647 787 2187 934"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>塩化カルシウム</th> <th>無機繊維</th> <th>その他</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>改修壁</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・不燃 ・準不燃 ・難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小室・天井</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・不燃 ・準不燃 ・難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・不燃 ・準不燃 ・難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・不燃 ・準不燃 ・難燃</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル及びせっぽうプラスター面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種</p> <p>コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種</p> <p>せっぽうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種</p> <p>27. モルタル塗り (6. 15. 3、5、6)</p> <p>モルタル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場調合材料 ・既調合材料 <p>既製目地材 ・設ける</p> <p>施工箇所 () 形状 (※図示による)</p> <p>・設けない</p> <p>床の目地 ・設ける</p> <p>目地割り ※2m程度 (最大目地間隔3m程度)</p> <p>目地の種類 ※押し目地</p> <p>・設けない</p> <p>壁面の仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の下地処理 ・図示による</p> <p>28. タイル張り (6. 16. 2~4)</p> <p>伸縮目地の位置 (6. 16. 2~4)</p> <p>床タイル ※縦、横とも4m以内ごと ・図示による</p> <p>床タイル以外 ・図示による</p> <p>伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による 見本焼き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行方 (施工箇所:) ・行わない <p>試験張り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行方 (範囲、仕様等は図示による) ・行わない ・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等 <p>施工箇所 形状/再生材料 吸水率 うわぐすり 役物 色 耐凍害性耐滑</p> <table border="1" data-bbox="1647 1669 2187 1816"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>の適用</th> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施工箇所</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>り性</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>備考欄</p> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p>	せっぽうボード (GB-R)	※12.5(不燃) ・15(不燃)	・セーディングせっぽうボード (GB-S)	・12.5(不燃 ・準不燃)	・強化せっぽうボード (GB-F)	・12.5(不燃) ・15(不燃)	せっぽうボード (GB-L)	・9.5	・不燃積層せっぽうボード (GB-NC)	・9.5 (不燃)	・化粧無し (下地張り用)		・化粧有り (トランプ模様)		施工箇所	紙	繊維	塩化カルシウム	無機繊維	その他	防火性能	備考	改修壁						・不燃 ・準不燃 ・難燃		小室・天井						・不燃 ・準不燃 ・難燃								・不燃 ・準不燃 ・難燃								・不燃 ・準不燃 ・難燃		種類	寸法(mm)	の適用	I類	II類	III類	施工箇所	有	無	標準	特注	有	無	り性															<p>29. セラミックタイル張り (6. 17. 2、3)</p> <p>壁タイル張りの工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 内装タイル <ul style="list-style-type: none"> ・密着張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル <ul style="list-style-type: none"> ・マスク張り ・モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等 <p>施工箇所 形状/再生材料 吸水率 うわぐすり 役物 色 耐凍害性耐滑</p> <table border="1" data-bbox="2359 199 2905 346"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>の適用</th> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施工箇所</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>り性</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>備考欄</p> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>29. セラミックタイル張り (6. 17. 2、3)</p> <p>塗厚 (mm) (6. 17. 2、3)</p> <p>7 塗装改修工事</p> <p>① 材料 (7. 1. 3)</p> <p>屋内で使用使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 (箇所:)</p> <p>② 下地調整 (7. 2. 1~7)</p> <p>塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活躍部分は残す</p> <p>・図示による</p> <p>既存錆止め塗料の鉛含有量調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行方 (箇所) ・行わない <p>下地調整</p> <table border="1" data-bbox="2359 934 2905 1228"> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>塗替え ※不透明塗料塗り場合はRB種</td> <td>―</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※RB種</td> <td>―</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めつき鋼面</td> <td>※RB種</td> <td>―</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具等)</td> <td>※RB種</td> <td>―</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びせっぽうプラスター面</td> <td>※RB種</td> <td>・行方 ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)</td> <td>※RB種</td> <td>・行方 ・行わない</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル面</td> <td>・RA種 ・RB種</td> <td>・行方 ・行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・RB種 ・RC種</td> <td>・行方 ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP)</td> <td>・RB種 ・RC種</td> <td>・行方 ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せっぽうボード面及びその他のボード面</td> <td>※RB種</td> <td>―</td> </tr> </table> <p>③ 素地ごしらえ (7. 3. 2~7)</p> <table border="1" data-bbox="2359 1270 2905 1522"> <tr> <th>下地面等</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種 透明塗料塗りの場合 ※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP以外)</td> <td>※C種 ・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP)</td> <td>※B種 ・A種 ・C種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めつき鋼面</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びせっぽうプラスター面</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DPのみ)</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>せっぽうボード面及び目地: 継目処理工法</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>その他のボード面</td> <td>目地: 継目処理工法以外 ※B種 ・A種</td> </tr> </table> <p>4. 錆止め塗料塗り (7. 4. 2、3)</p> <p>錆止め塗料塗りの種別</p> <table border="1" data-bbox="2359 1543 2905 2022"> <tr> <th>素地面</th> <th>塗装の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">鉄鋼面</td> <td>SOP (工程の種類は表7. 4. 3)</td> <td>塗替え</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規見え掛け</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規見え隠れ</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鉄鋼面</td> <td>EP-G (工程の種類は表7. 4. 3)</td> <td>塗替え</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規見え掛け</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規見え隠れ</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">垂鉛めつき鋼面</td> <td>DP (工程の種類は表7. 4. 4)</td> <td>塗替え</td> <td>7. 4. 2(1) (イ) ・B種 (下地調整RB種) (b)による。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規</td> <td>7. 4. 2(1) (イ) ・A種 (a)による。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規</td> <td>7. 4. 2(1) (イ) ・C種 (下地調整RC種)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">垂鉛めつき鋼面</td> <td>SOP (工程の種類は表7. 4. 5)</td> <td>塗替え</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新鋼製建具等</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>規その他</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">垂鉛めつき鋼面</td> <td>EP-G (工程の種類は表7. 4. 5)</td> <td>塗替え</td> <td>C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新鋼製建具等</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>規その他</td> <td>C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">垂鉛めつき鋼面</td> <td>DP (工程の種類は表7. 4. 6)</td> <td>塗替え</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規</td> <td>B種</td> </tr> </table>	種類	寸法(mm)	の適用	I類	II類	III類	施工箇所	有	無	標準	特注	有	無	り性															下地面の種類	下地調整の種類	ひび割れ部の補修	木部	塗替え ※不透明塗料塗り場合はRB種	―	鉄鋼面	※RB種	―	垂鉛めつき鋼面	※RB種	―	垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具等)	※RB種	―	モルタル面及びせっぽうプラスター面	※RB種	・行方 ・行わない	コンクリート面 (DP以外)	※RB種	・行方 ・行わない	ALCパネル面	・RA種 ・RB種	・行方 ・行わない	押出成形セメント板面	・RB種 ・RC種	・行方 ・行わない	コンクリート面 (DP)	・RB種 ・RC種	・行方 ・行わない	せっぽうボード面及びその他のボード面	※RB種	―	下地面等	種類	木部	不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種 透明塗料塗りの場合 ※B種 ・A種	鉄鋼面 (DP以外)	※C種 ・A種 ・B種	鉄鋼面 (DP)	※B種 ・A種 ・C種	垂鉛めつき鋼面	・A種 ・B種	モルタル面及びせっぽうプラスター面	※B種 ・A種	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※B種 ・A種	押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	・A種 ・B種	コンクリート面 (DPのみ)	※B種 ・A種	せっぽうボード面及び目地: 継目処理工法	※A種 ・B種	その他のボード面	目地: 継目処理工法以外 ※B種 ・A種	素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	鉄鋼面	SOP (工程の種類は表7. 4. 3)	塗替え	※C種		新規見え掛け	※A種		新規見え隠れ	※B種	鉄鋼面	EP-G (工程の種類は表7. 4. 3)	塗替え	※B種 ・A種		新規見え掛け	※B種 ・A種		新規見え隠れ	※B種 ・A種	垂鉛めつき鋼面	DP (工程の種類は表7. 4. 4)	塗替え	7. 4. 2(1) (イ) ・B種 (下地調整RB種) (b)による。		新規	7. 4. 2(1) (イ) ・A種 (a)による。		新規	7. 4. 2(1) (イ) ・C種 (下地調整RC種)	垂鉛めつき鋼面	SOP (工程の種類は表7. 4. 5)	塗替え	※A種 ・B種		新鋼製建具等	※A種 ・B種		規その他	※B種	垂鉛めつき鋼面	EP-G (工程の種類は表7. 4. 5)	塗替え	C種		新鋼製建具等	※C種		規その他	C種	垂鉛めつき鋼面	DP (工程の種類は表7. 4. 6)	塗替え	B種		新規	B種
	バイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	・カットパイル	・5~7	※全面接着工法	・適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ループパイル	・4~6	・ゲリッパ工法	・非適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・カット、ループ併用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床		・薄膜流しのペ工法	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・厚膜型塗床材 水性樹脂系塗床		・薄膜流しのペ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・薄膜型塗床材		・樹脂モルタル工法	※平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種類等	厚さ(mm)、規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
木質系セメント板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・木毛セメント板	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・硬質(HW) ・中質(MW) ・普通(NW)	・15 ・20 ・25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・木片セメント板	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・硬質(HF) ・普通(NF)	・12 ・15 ・18 ・21 ・30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
繊維強化セメント板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・けい酸カルシウム板(タイプ2)	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
普通ボード 0.8FK	・6 ・8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
火山性ガラス質複層板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・火山性ガラス質複層板	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種類 ※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
せっぽうボード (GB-R)	※12.5(不燃) ・15(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・セーディングせっぽうボード (GB-S)	・12.5(不燃 ・準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・強化せっぽうボード (GB-F)	・12.5(不燃) ・15(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
せっぽうボード (GB-L)	・9.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・不燃積層せっぽうボード (GB-NC)	・9.5 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・化粧無し (下地張り用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・化粧有り (トランプ模様)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	紙	繊維	塩化カルシウム	無機繊維	その他	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
改修壁						・不燃 ・準不燃 ・難燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
小室・天井						・不燃 ・準不燃 ・難燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
						・不燃 ・準不燃 ・難燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
						・不燃 ・準不燃 ・難燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	寸法(mm)	の適用	I類	II類	III類	施工箇所	有	無	標準	特注	有	無	り性																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	寸法(mm)	の適用	I類	II類	III類	施工箇所	有	無	標準	特注	有	無	り性																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
下地面の種類	下地調整の種類	ひび割れ部の補修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
木部	塗替え ※不透明塗料塗り場合はRB種	―																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
鉄鋼面	※RB種	―																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
垂鉛めつき鋼面	※RB種	―																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具等)	※RB種	―																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
モルタル面及びせっぽうプラスター面	※RB種	・行方 ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
コンクリート面 (DP以外)	※RB種	・行方 ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
ALCパネル面	・RA種 ・RB種	・行方 ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
押出成形セメント板面	・RB種 ・RC種	・行方 ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
コンクリート面 (DP)	・RB種 ・RC種	・行方 ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
せっぽうボード面及びその他のボード面	※RB種	―																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
下地面等	種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
木部	不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種 透明塗料塗りの場合 ※B種 ・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鉄鋼面 (DP以外)	※C種 ・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鉄鋼面 (DP)	※B種 ・A種 ・C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
垂鉛めつき鋼面	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
モルタル面及びせっぽうプラスター面	※B種 ・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※B種 ・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
コンクリート面 (DPのみ)	※B種 ・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
せっぽうボード面及び目地: 継目処理工法	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
その他のボード面	目地: 継目処理工法以外 ※B種 ・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
鉄鋼面	SOP (工程の種類は表7. 4. 3)	塗替え	※C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		新規見え掛け	※A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		新規見え隠れ	※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
鉄鋼面	EP-G (工程の種類は表7. 4. 3)	塗替え	※B種 ・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		新規見え掛け	※B種 ・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		新規見え隠れ	※B種 ・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
垂鉛めつき鋼面	DP (工程の種類は表7. 4. 4)	塗替え	7. 4. 2(1) (イ) ・B種 (下地調整RB種) (b)による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		新規	7. 4. 2(1) (イ) ・A種 (a)による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		新規	7. 4. 2(1) (イ) ・C種 (下地調整RC種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
垂鉛めつき鋼面	SOP (工程の種類は表7. 4. 5)	塗替え	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		新鋼製建具等	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		規その他	※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
垂鉛めつき鋼面	EP-G (工程の種類は表7. 4. 5)	塗替え	C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		新鋼製建具等	※C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		規その他	C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
垂鉛めつき鋼面	DP (工程の種類は表7. 4. 6)	塗替え	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		新規	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
<p>(株) 池下建築設計</p> <p>事務所登録 宮城県 第21610219号</p>		<p>設計年月日</p> <p>調査者氏名</p> <p>設計者氏名 池下 久幸 一級建築士 第280837号</p>	<p>工事名称 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事</p> <p>図面名称 Scale</p>	<p>全業</p> <p>図面 No. A-3-3</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

<p>16. コンクリートの打込み工法等</p> <p>コンクリートの打設工法の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>補強工法</th> <th>打設工法</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td>・現場打ちコンクリート壁の増設工事</td> <td>・工法指定なし</td> <td>・全ての増設壁 ・図示による()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)</td> <td>・全ての増設壁 ・図示による()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)</td> <td>・全ての増設壁 ・図示による()</td> </tr> <tr> <td>・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接封鎖閉鎖フープ巻き工法)</td> <td>・工法指定なし</td> <td>・全ての柱補強部分 ・図示による()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)</td> <td>・全ての柱補強部分 ・図示による()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)</td> <td>・全ての柱補強部分 ・図示による()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・工法指定なし</td> <td>・全ての柱補強部分 ・図示による()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)</td> <td>・全ての柱補強部分 ・図示による()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)</td> <td>・全ての柱補強部分 ・図示による()</td> </tr> </table> <p>鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等柱頭及び柱脚の隙間の寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発泡プラスチック保温材等を埋込む <p>既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() ・補強後の仕上げ ・図示による() 	補強工法	打設工法	部位	・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示による()		・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての増設壁 ・図示による()		・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての増設壁 ・図示による()	・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接封鎖閉鎖フープ巻き工法)	・工法指定なし	・全ての柱補強部分 ・図示による()		・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての柱補強部分 ・図示による()		・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による()		・工法指定なし	・全ての柱補強部分 ・図示による()		・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての柱補強部分 ・図示による()		・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による()	<p>7. アンカーボルト (7.2.4)(7.3.2)</p> <p>・構造用アンカーボルト種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ABR400 ・ABR490 <p>・建方用アンカーボルト種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SS400 <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書 表7.2.3による <p>・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SS400 <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書 表7.2.3による <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() 	<p>17. 耐火被覆</p> <p>種類、材料、工法等</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>・耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・半乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・湿式ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火板張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材巻付け</td> <td>・高断熱ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ラス張りモルタル塗り</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火塗料</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>18. アンカーボルト等の設置等 (7.10.3)</p> <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>構造用アンカーフレームの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>建方用アンカーボルトの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A種 ・B種 <p>柱底均しモルタル厚さ及び工法の種別</p> <p>厚さ</p> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ※A種 ・B種 <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() 	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール				・半乾式吹付けロックウール				・湿式ロックウール			・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板			・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール			・ラス張りモルタル塗り	-			・耐火塗料	-			<p>8-5 1. 柱底均しモルタル及びグラウト材</p> <p>・柱底均しモルタル</p> <ul style="list-style-type: none"> ※無収縮モルタル <p>・グラウト材</p> <p>無収縮グラウト材の材質等</p> <p>混和材</p> <p>セメント</p> <p>砂</p> <p>無収縮グラウト材の品質及び試験方法</p> <p>コンシステンシー</p> <p>フリージング</p> <p>凝結時間</p> <p>無収縮性</p> <p>圧縮強度</p> <p>塩化物量</p> <p>試験方法</p> <p>8-6 1. 連続繊維シート</p> <p>連続繊維の材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭素繊維 ・アラミド繊維 <p>引張強度(含浸硬化後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・() N/mm² <p>ヤング係数(含浸硬化後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・() N/mm² <p>・下地処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひび割れ部改修範囲 ・図示による() ・工法の種類 <p>・柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>連続繊維補強材の強度試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引張強度試験 ※JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による <p>試験数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>・付着強度試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ※JIS A 6909 (建築用仕上塗材)による <p>試験数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>2. 仕上げ</p> <p>補強工事後の仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>8-7 1. 耐震スリット</p> <p>方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全 ・部分 <p>幅及び深さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>設置箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>2. 耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査</p> <p>既存撤去部の埋込み配管等の探査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする ・はつり出しによる <p>3. 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等</p> <p>・耐火材</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用箇所及び仕様 ・図示による() <p>・遮音材</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用箇所及び仕様 ・図示による() <p>撤去部の補修</p> <ul style="list-style-type: none"> ※撤去材と同一材で補修
補強工法	打設工法	部位																																																															
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示による()																																																															
	・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての増設壁 ・図示による()																																																															
	・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての増設壁 ・図示による()																																																															
・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接封鎖閉鎖フープ巻き工法)	・工法指定なし	・全ての柱補強部分 ・図示による()																																																															
	・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての柱補強部分 ・図示による()																																																															
	・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による()																																																															
	・工法指定なし	・全ての柱補強部分 ・図示による()																																																															
	・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての柱補強部分 ・図示による()																																																															
	・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による()																																																															
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																														
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール																																																																
	・半乾式吹付けロックウール																																																																
	・湿式ロックウール																																																																
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																																																
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール																																																																
・ラス張りモルタル塗り	-																																																																
・耐火塗料	-																																																																
<p>8-3 1. 鉄骨製作工場</p> <p>鉄骨製作工場の加工能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場()グレード以上 ・監督職員の承諾する工場 <p>2. 鉄骨製作工場における施工管理技術者</p> <p>※配置する</p> <p>3. 鋼材</p> <p>種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所(主要な部分)</th> <th>規格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> </table> <p>4. 高力ボルト</p> <p>高力ボルトの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※トルンア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>摩擦面の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修標準仕様書8.14.2(1)による。 <p>・すべり試験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 <p>すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。</p> <p>5. 普通ボルト</p> <p>ボルト及びナットの材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による <p>ボルトの規格は、JIS B 1180とする。</p> <p>ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。</p> <p>ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。</p> <p>ナットの規格は、JIS B 1181とする。</p> <p>ナットの種類は、六角ナット-0とし、材料は鋼とする。</p> <p>座金</p> <ul style="list-style-type: none"> ※JIS B 1256による <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ねじの呼び径+1.0mm <p>6. 溶融亜鉛めっき高力ボルト</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>摩擦面の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスト処理(表面粗度50µm Rz以上) ・りん酸塩処理 <p>・すべり試験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 <p>すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.20.5(1)(7)又は(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。</p>	種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格			・JISによる			・JISによる			・JISによる			・JISによる			・JISによる			・JISによる	<p>8. 溶接材料</p> <p>溶接材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による <p>9. スタッ</p> <p>種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>10. 製作精度</p> <p>鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※H12建告第1464号第二号イ(2)による <p>アンダーカットの寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※H12建告第1464号第二号イ(3)による <p>食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による <p>11. 仮組</p> <p>仮組を行う範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>12. 溶接作業を行う技能資格者技量付加試験</p> <p>試験の要領</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>13. 溶接接合</p> <p>開先の形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>・鋼製エンドタブの切断する部分</p> <p>切断する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>切断範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 <p>切断面の仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による <p>スカラップの形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>14. 入熱、バス間温度の溶接条件</p> <p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() ・柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 <p>15. 溶接部の試験</p> <p>平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 <p>受入検査による</p> <ul style="list-style-type: none"> ※抜き取り検査① ※抜き取り検査② <p>JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 <p>完全溶込み溶接部の超音波探傷試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 <p>16. 錆止め塗装</p> <p>塗料の範囲</p> <p>耐火被覆材の接着する面の塗装範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() <p>塗料の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたもの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 	呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	・16			・19			・22			<p>19. 鉄骨プレース設置後の仕上げ</p> <p>8-4 ①. あと施工アンカー</p> <p>材料等</p> <p>①金属系アンカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引張耐力 ・せん断耐力 アンカー本体の径及び埋込み長さ ・図示による() ・セット方式 ※本体打込み式改良型 接合筋の種類、径、長さ ・図示による() ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ・図示による() <p>※接着系アンカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引張耐力 ・せん断耐力 アンカーの種類 ※カプセル方式回転打撃式 接着剤の品質 ※有機系 ・無機系 アンカー筋の径及び埋込み長さ ・図示による() アンカー筋の種類 <p>アンカー筋の新設壁内への定着の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ・図示による() <p>2. 穿孔</p> <p>埋込み配管等の探査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋探知器(金属探知器)より探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする。 ・はつり出しによる <p>3. 施工確認試験</p> <p>試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※引張試験機による引張試験 確認強度 ・図示による(耐震補強共通図) <p>4. あと施工アンカー穿孔工法</p> <p>※改修標準仕様書8.12.1(2)による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震改修部位に使用するD13以上のあと施工アンカーは、ケーシング又はダイヤモンドビット等を用いた低騒音工法を採用する。 	<p>8-5 1. 柱底均しモルタル及びグラウト材</p> <p>・柱底均しモルタル</p> <ul style="list-style-type: none"> ※無収縮モルタル <p>・グラウト材</p> <p>無収縮グラウト材の材質等</p> <p>混和材</p> <p>セメント</p> <p>砂</p> <p>無収縮グラウト材の品質及び試験方法</p> <p>コンシステンシー</p> <p>フリージング</p> <p>凝結時間</p> <p>無収縮性</p> <p>圧縮強度</p> <p>塩化物量</p> <p>試験方法</p> <p>8-6 1. 連続繊維シート</p> <p>連続繊維の材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭素繊維 ・アラミド繊維 <p>引張強度(含浸硬化後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・() N/mm² <p>ヤング係数(含浸硬化後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・() N/mm² <p>・下地処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひび割れ部改修範囲 ・図示による() ・工法の種類 <p>・柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>連続繊維補強材の強度試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引張強度試験 ※JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による <p>試験数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>・付着強度試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ※JIS A 6909 (建築用仕上塗材)による <p>試験数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>2. 仕上げ</p> <p>補強工事後の仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>8-7 1. 耐震スリット</p> <p>方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全 ・部分 <p>幅及び深さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>設置箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>2. 耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査</p> <p>既存撤去部の埋込み配管等の探査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする ・はつり出しによる <p>3. 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等</p> <p>・耐火材</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用箇所及び仕様 ・図示による() <p>・遮音材</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用箇所及び仕様 ・図示による() <p>撤去部の補修</p> <ul style="list-style-type: none"> ※撤去材と同一材で補修 																													
種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格																																																															
		・JISによる																																																															
		・JISによる																																																															
		・JISによる																																																															
		・JISによる																																																															
		・JISによる																																																															
		・JISによる																																																															
呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																																															
・16																																																																	
・19																																																																	
・22																																																																	
<p>(株)池下建築設計</p> <p>事務所登録 宮城県 第21610219号</p>		<p>設計年月日</p> <p>調査者氏名</p> <p>設計者氏名</p> <p>池下 久幸</p> <p>一級建築士</p> <p>第280837号</p>	<p>工事名称</p> <p>令和5年度ひより台一丁目会館改修工事</p> <p>図面名称</p> <p>Scale</p> <p>特記仕様書(8)</p>	<p>全業</p> <p>図面 No</p> <p>A-4-2</p>																																																													

8-8 土工事及び地業工事	① 埋戻し及び盛土	材料及び工法 ・材料(掘削土再利用) 工法() ※改修標準仕様書表8.28.11による ・A種 適用場所() ・B種 適用場所() ・C種 適用場所() 土質() 受渡場所() ・D種 適用場所() (品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする)	9 環境配慮改修工事					
	2. 杭地業	支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端位置含む) ・図示による() 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 ・図示による() ・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ・図示による() ・杭の継手の箇所数、材料、工法等 ・図示による() ・杭の溶接継手 技能資格者の技量 ・図示による() 溶接部の確認 ・図示による() ・杭頭の処理 ・処理しない ・処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・図示による() ・杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの 杭の精度 水平方法の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・評定等の評価内容による 建て込み時の杭の鉛直度 ・1/100以内 ・評定等の評価内容による 記録する施工状況等 ・図示による()						
	③ 砂利地業	材料 ※再生クラッシャーラン ・切込砂利又は切込砕石 砂利厚さ <table border="1"> <tr> <th>厚さ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※60mm</td> <td>・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下</td> </tr> </table>		厚さ	適用箇所	※60mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下	環境配慮改修工事
	厚さ	適用箇所						
※60mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下							
④ 捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ <table border="1"> <tr> <th>厚さ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※50mm</td> <td>・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下</td> </tr> </table> コンクリートの種類 ・ ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm ² スラップ ※15cm又は18cm	厚さ	適用箇所	※50mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下			
厚さ	適用箇所							
※50mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下							

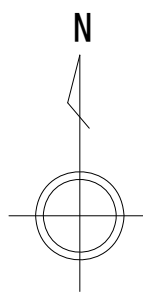
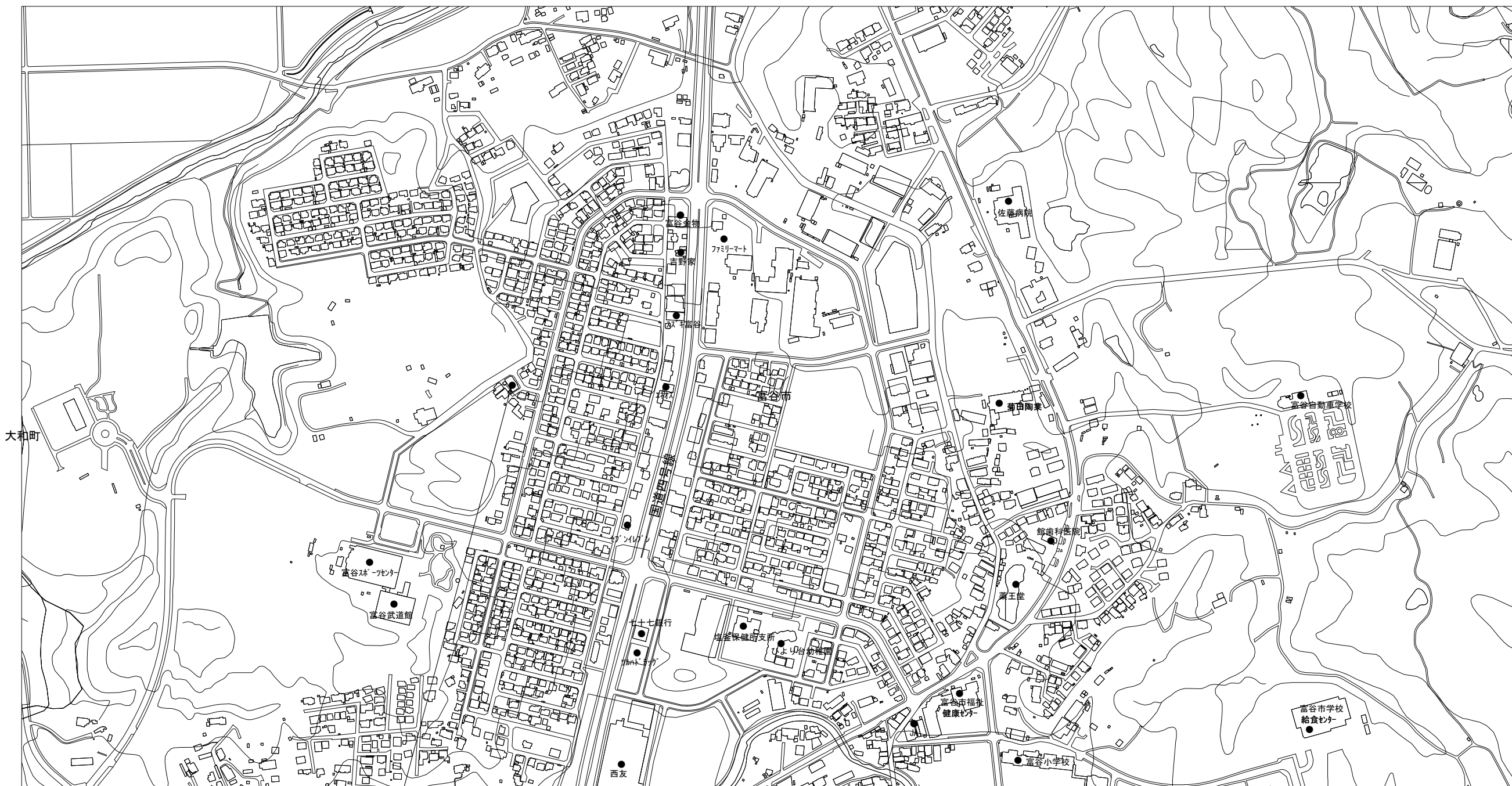
1. 石綿含有建材の除去工事	施工調査 <9.1.3~6> ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無を調査する。 調査範囲() 貸与資料() ・石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点																																								
適用	<table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数(各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 3</td> <td></td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 4</td> <td></td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 5</td> <td>処理作業中</td> <td>集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速(1m/s以下の位置) ・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 6</td> <td></td> <td>処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 7</td> <td>処理作業後(シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 8</td> <td>処理作業後(シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 9</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> </tbody> </table>	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数(各施工箇所ごと)	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・計 点	測定 2		調査対象室外部の付近	・計 点	測定 3		処理作業室内	・計 点	測定 4		セキュリティゾーン入口	・計 点	測定 5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速(1m/s以下の位置) ・計 点	測定 6		処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点	測定 7	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	・計 点	測定 8	処理作業後(シート撤去後)	処理作業室内	・計 点	測定 9		調査対象室外部の付近	・計 点
測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数(各施工箇所ごと)																																						
測定 1	処理作業前	処理作業室内	・計 点																																						
測定 2		調査対象室外部の付近	・計 点																																						
測定 3		処理作業室内	・計 点																																						
測定 4		セキュリティゾーン入口	・計 点																																						
測定 5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速(1m/s以下の位置) ・計 点																																						
測定 6		処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点																																						
測定 7	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	・計 点																																						
測定 8	処理作業後(シート撤去後)	処理作業室内	・計 点																																						
測定 9		調査対象室外部の付近	・計 点																																						
測定方法	・自動測定器による測定 測定名称 測定方法 ・測定 4 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・測定 5																																								
測定方法	・JIS K 3850-1に基づいた測定 <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量(L/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定 4</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>・測定 5</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)	・測定 4	25	5	30	・測定 5	47	10	120	・測定	47	10	240	・測定																							
測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)																																						
・測定 4	25	5	30																																						
・測定 5	47	10	120																																						
・測定	47	10	240																																						
・測定																																									
石綿含有建材の処理	・石綿含有吹き付け材の除去 除去対象範囲 ・図示による() 除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による 除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有吹き付け材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) ・石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の除去 除去対象範囲 ・図示による() 除去工法 ・破碎して除去 ・手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) ・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種)の除去 除去対象範囲 ・図示による() 隔離養生(負担不要)方法 ・図示による() 足場 ・図示による() 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) ・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の除去 除去対象範囲 ・図示による() 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せっこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)																																								

2. 断熱/防水改修工事	・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去 除去対象範囲 ・図示による() 除去工法 養生方法 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)						
3. 外断熱改修工事	石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ・図示による() 改修特記仕様書3章による。 <9.2.2~3> 断熱材 断熱材の種類 <9.2.1~4> 断熱材の厚さ(mm) 施工箇所 ・図示による() ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 外装材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	防火性能	備考			
種類	防火性能	備考					
4. 断熱・防露改修工事	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による 既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・有(mm) ・無 外装材の外壁への取付け ・図示による() 笠木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 <9.3.2~4> ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・厚さ(mm) ・施工場所 ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示による() ・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・厚さ(mm) ・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 ・厚さ (mm) ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法						

5. 屋上緑化改修工事	植栽基盤及び材料 <9.4.2~4> ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の種類等 ・図示による() 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・図示による() かん水装置 ・設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・												
6. 透水性アスファルト舗装改修工事	適用範囲:歩道 <9.5.2~5.9> 既存舗装の撤去及び再利用 ・図示による() 路床 路床の材料 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ※B種 ・C種 ・D種</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>※砂</td> <td>・図示による</td> </tr> </tbody> </table> (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ※行わない 路床安定処理 ・適用する ・適用しない 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号 ・1号) ・消石灰(・特号 ・1号) 添加量 ・ kg/m ³ (目標CBR ・3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験 ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m ² 以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm)以上 透水係数 ・1.5×10 ⁻¹ cm/sec以上 試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ※行わない 路床締固め度の試験 ※行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路盤 路盤の厚さ ・図示による() 路盤材料(改修標準仕様書表9.7.31による種別) ・クラッシャーラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシャーラン 再生粒度調整砕石 ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 ※図示による() 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ※行わない 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種	・図示による	・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂	・図示による	・フィルター層	※砂	・図示による
種別	材料	厚さ(mm)											
・盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種	・図示による											
・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂	・図示による											
・フィルター層	※砂	・図示による											

10 ユニット及びその他の工事	1. フリーアクセスフロア (20.2.2)	<p>施工箇所 構法 寸法 (mm) 高さ (mm) 耐震性能 所定荷重 表面仕上材</p> <p>・置敷式 ・支柱調整式</p> <p>・500×500</p> <p>・1.0G ・0.6G</p> <p>・3.000N ・5.000N</p> <p>・帯電防止床タイプ</p> <p>寸法精度</p> <p>※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による</p> <p>以下による</p> <p>パネルの長さの寸法精度</p> <p>()</p> <p>パネルの平面形状 (角度) の寸法精度</p> <p>()</p> <p>フリーアクセスフロアの高さの寸法精度</p> <p>()</p> <p>帯電防止性能</p> <p>・評価値 (U) ≥0.6以上</p> <p>・評価値 (U) ≥1.2以上</p> <p>感電防止性能</p> <p>漏えい抵抗 (R) ≥1×10⁹Ω</p>	6. 階段滑り止め (20.2.7)	<p>材種</p> <p>※ステンレス製</p> <p>・黄銅製押出型材</p> <p>・アルミニウム製押出型材</p> <p>形状</p> <p>※タイヤ型 (タイヤの材質: ゴム又は合成樹脂合等)</p> <p>・タイヤレス型</p> <p>寸法 (幅)</p> <p>・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度</p> <p>取付け工法</p> <p>※接着工法</p> <p>・埋込み工法</p>	15. カーテンレール (20.2.16)	<p>材料による区分</p> <p>・アルミニウム及びアルミニウム合金の押し成型材</p> <p>※ステンレス製</p> <p>強さによる区分</p> <p>※10-90</p> <p>仕上げ</p> <p>※アルマイト</p> <p>形状</p> <p>※角形</p> <p>材種</p> <p>・集成材 (仕上げ:)</p> <p>※アルミニウム製 押出し型材 (市販品)</p> <p>標準仕様書表14.2.1による種別</p> <p>※BC-1種 ・BC-2種</p> <p>色合い</p> <p>・標準色 () ・特注色 ()</p> <p>・鋼製 (仕上げ:)</p>	27. 屋内掲示板	<p>枠の材質</p> <p>※アルミニウム製</p> <p>表面の材質</p> <p>※塩ビ発泡シート張り</p>
	2. 可動間仕切 (20.2.3)	<p>構造形式による種類 構成基材の種類 パネル表面仕上げ 遮音性 (dB/500Hz) 防火性能</p> <p>・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</p> <p>・PVC樹脂焼付又は7μm樹脂焼付 ・壁紙張り</p> <p>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</p> <p>・不燃</p> <p>パネル内に取付ける建具</p> <p>・有り (※図示による)</p> <p>・無し</p> <p>パネル内に取付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。</p> <p>表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。</p> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放出量</p> <p>※F☆☆☆☆</p>	7. 黒板及びホワイトボード (20.2.9)	<p>・黒板</p> <p>区分</p> <p>※焼き付け</p> <p>種類</p> <p>※鋼製黒板</p> <p>・ほうろう黒板</p> <p>色</p> <p>※緑</p> <p>・ホワイトボード</p>	16. ブラインドボックス及びカーテンボックス	<p>材種</p> <p>・集成材 (仕上げ:)</p> <p>※アルミニウム製 押出し型材 (市販品)</p> <p>標準仕様書表14.2.1による種別</p> <p>※BC-1種 ・BC-2種</p> <p>色合い</p> <p>・標準色 () ・特注色 ()</p> <p>・鋼製 (仕上げ:)</p>	28. 洗面カウンター	<p>材種</p> <p>・メラミン樹脂化粧板張り (心材: 集成材)</p> <p>・人工大理石</p> <p>奥行き (mm)</p> <p>・約450 ・約600</p>
	3. 移動間仕切 (20.2.4)	<p>走行方向 操作方法による種類 パネル圧接装置の種類 総厚さ (mm) パネル表面材の種類 遮音性 (dB/500Hz)</p> <p>・平行方向移動式 ・二方向移動式</p> <p>・手動式 ・電動式</p> <p>・フック式 ・ハットル式</p> <p>・鋼板</p> <p>・焼付塗装</p> <p>・壁紙張り</p> <p>・36未満</p> <p>※36以上</p> <p>パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。</p> <p>ハンガーレールの取付け下地の補強</p> <p>※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する</p> <p>・図示による</p> <p>パネルをランナーに取り付ける部品</p> <p>※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの</p> <p>ハンガーレール及びランナー</p> <p>※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの</p>	8. 鏡 (20.2.10)	<p>取付け箇所 ()</p> <p>寸法 (mm)</p> <p>・図示による</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>※5</p>	17. 天井点検口	<p>材種</p> <p>※アルミニウム製</p> <p>寸法</p> <p>・450×450</p> <p>・600×600</p> <p>形式</p> <p>※一般形</p> <p>・屋内外用</p> <p>・屋内内用</p> <p>・額縁タイプ</p> <p>・目地タイプ</p> <p>・内枠</p> <p>・目地タイプ</p>	29. 防煙垂れ壁	<p>材質</p> <p>※鋼製</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>※6.8</p> <p>高さ (mm)</p> <p>※500</p> <p>備考</p> <p>アルミ製枠付き</p> <p>・可動式</p> <p>種類</p> <p>※不燃布 (不燃認定品)</p> <p>高さ (mm)</p> <p>※500</p> <p>備考</p> <p>ガイドレール</p> <p>※固定式 (壁埋込型)</p> <p>・可動式 (天井収納型)</p> <p>・回転降下式</p> <p>鋼板製又はアルミ製</p> <p>高さ (mm)</p> <p>※500</p> <p>備考</p> <p>表面仕上げ</p> <p>※天井材張り</p>
	4. トイレブース (20.2.5)	<p>表面材の種類 脚部種類 ドアエッジ</p> <p>・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</p> <p>※幅木タイプ</p> <p>※製造所の仕様による</p> <p>・アルミニウム製</p> <p>・ステンレス製</p>	9. 表示 (20.2.11)	<p>衝突防止表示</p> <p>・設置する (設置場所: ※図示による)</p> <p>形状・寸法 (・30φ)</p> <p>材質 (※ステンレス製)</p> <p>・設置しない</p> <p>誘導標識、非常用進入口等の表示</p> <p>※消防法に適合する市販品</p> <p>室名札、ビクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による)</p> <p>※図示による</p>	18. 床点検口	<p>材種</p> <p>※アルミニウム製</p> <p>寸法</p> <p>・450×450</p> <p>・600×600</p> <p>形式</p> <p>※一般形</p> <p>・密閉形</p> <p>・屋内外用</p> <p>・屋内内用</p> <p>・鍵付き</p> <p>備考</p> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである。</p>	30. 屋外掲示板	<p>照明器具</p> <p>・有り ・無し</p> <p>施錠</p> <p>・有り ・無し</p> <p>製造所</p>
	5. 手すり (20.2.6)	<p>材料の種類及び仕上げ</p> <p>○SUS304 表面処理 ※HL程度</p> <p>・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき</p> <p>(※標準仕様書表14.2.2による種別 () 種)</p> <p>○アルミニウム 表面処理</p> <p>(※標準仕様書表14.2.1による種別 () 種)</p> <p>色合い ・標準色 () ・特注色 ()</p> <p>手すりの握り部分</p> <p>材種 表面仕上げ 直径 (mm) 取付け箇所 備考</p> <p>○集成材 (材種:) ・クリアラッカー</p> <p>○35程度</p> <p>・45程度</p> <p>○ビニル製</p> <p>○35程度</p> <p>・45程度</p>	10. タラップ (20.2.12)	<p>材質及び仕上げ</p> <p>・SUS304 (スリップ止め加工 ※あり ・なし)</p> <p>・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき</p> <p>(※標準仕様書表14.2.2による種別 (※C種 ・ 種))</p>	19. くつふきマット	<p>材種</p> <p>※塩化ビニル又はゴム製</p> <p>・硬質アルミニウム合金製</p> <p>・ステンレス鋼 (SUS304) 製</p> <p>受け枠</p> <p>※ステンレス鋼 (SUS304)</p> <p>・硬質アルミニウム合金</p> <p>備考</p>	31. 収納家具	<p>合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放出量</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>材質、形状、寸法</p> <p>※図示による</p>
	21. 旗竿	<p>形式 操作方法 操作方法の種類 スラットの種類 スラット幅 ホックス・レールの材種 幅・高さ</p> <p>・横形</p> <p>・手動</p> <p>※ギヤ式</p> <p>・コード式</p> <p>・操作棒式</p> <p>※アルミニウム合金製</p> <p>※25</p> <p>※鋼製</p> <p>・図示による</p> <p>・電動</p> <p>・縦形</p> <p>・手動</p> <p>※2本操作コード式</p> <p>・1本操作コード式</p> <p>・アルミスラット</p> <p>・クロススラット</p> <p>・80</p> <p>・100</p> <p>※アルミニウム合金製</p> <p>・図示による</p> <p>・電動</p>	11. 煙突ライニング (20.2.13)	<p>適用安全使用温度</p> <p>※鋼製ユニット煙突 (煙突用成形ライニング材)</p> <p>工法</p> <p>※鋼製ユニット煙突 (煙突用成形ライニング材)</p>	20. 流し台ユニット	<p>材種</p> <p>・流し台</p> <p>・コンロ台</p> <p>・つり戸棚</p> <p>・水切り</p> <p>寸法 (mm)</p> <p>W D H</p> <p>・1200</p> <p>・1500</p> <p>・1800</p> <p>・600</p> <p>・550</p> <p>・600</p> <p>・650</p> <p>・800</p> <p>・850</p> <p>市販品</p> <p>トラップ付き</p> <p>天板ステンレス製</p> <p>市販品</p> <p>バックガード有り</p> <p>天板ステンレス製</p> <p>市販品</p> <p>ステンレス製</p> <p>・1段式</p>	1. 一般事項	<p>11 総 2. 測定対象化学物質</p> <p>3. 測定方法</p> <p>4. 測定する室</p> <p>5. 測定結果等報告書の提出</p> <p>6. その他</p>
	22. 旗竿受金物	<p>縦型ブラインドのスラットの材質</p> <p>・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ</p> <p>・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工</p>	12. ブラインド (20.2.14)	<p>形式 操作方法 操作方法の種類 スラットの種類 スラット幅 ホックス・レールの材種 幅・高さ</p> <p>・横形</p> <p>・手動</p> <p>※ギヤ式</p> <p>・コード式</p> <p>・操作棒式</p> <p>※アルミニウム合金製</p> <p>※25</p> <p>※鋼製</p> <p>・図示による</p> <p>・電動</p> <p>・縦形</p> <p>・手動</p> <p>※2本操作コード式</p> <p>・1本操作コード式</p> <p>・アルミスラット</p> <p>・クロススラット</p> <p>・80</p> <p>・100</p> <p>※アルミニウム合金製</p> <p>・図示による</p> <p>・電動</p>	21. 旗竿	<p>材種</p> <p>※アルミニウム合金製</p> <p>形式</p> <p>※テーパー式</p> <p>・同一断面式</p> <p>高さ (m)</p> <p>操作方法</p> <p>※ハンドル式</p> <p>・ロープ式</p> <p>固定方法</p> <p>・埋込式</p> <p>・ベース式</p> <p>・バンド式</p> <p>備考</p>	2. 測定対象化学物質	
	23. 車止めさく	<p>縦型ブラインドのスラットの材質</p> <p>・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ</p> <p>・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工</p>	13. ロールスクリーン (20.2.15)	<p>操作方法 スクリーンの材種 その他の材料 幅・高さ 取付け箇所 品質等</p> <p>・スプリング式</p> <p>・コード式</p> <p>・電動式</p> <p>・ガラス繊維製</p> <p>・合成・天然繊維製</p> <p>・木製</p> <p>※製造所の仕様</p> <p>・図示による</p>	22. 旗竿受金物	<p>材種</p> <p>・ステンレス製 (SUS 304)</p>	3. 測定方法	
	24. フェンス	<p>スクリーンの仕様</p> <p>消防法で定める防炎性能の表示があるもの</p> <p>形式 開閉操作 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付け箇所</p> <p>・シングル</p> <p>・ダブル</p> <p>・片引き</p> <p>・引分け</p> <p>・手引き</p> <p>・ひも引き</p> <p>・電動</p> <p>・つまみひだ</p> <p>・箱ひだ、片ひだ</p> <p>・アレンひだ</p> <p>・図示による</p>	14. カーテン (20.2.16)	<p>生地仕様</p> <p>消防法で定める防炎性能の表示があるもの</p> <p>暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり</p> <p>※300mm以上</p>	23. 車止めさく	<p>形式 材種 高さ (mm) 操作時間</p> <p>・上下式鎖内蔵式</p> <p>・標準品</p> <p>・スプリング式</p> <p>・ステンレス製</p> <p>柱径、肉厚 (mm)</p> <p>高さ (mm)</p>	4. 測定する室	
	25. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み	<p>積み方</p> <p>※谷積み ・布積み</p> <p>目塗り</p> <p>・図示による</p> <p>伸縮調整目地</p> <p>材種</p> <p>・図示による</p> <p>厚さ</p> <p>・図示による</p>	25. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3)	<p>種類</p> <p>・花こう岩</p> <p>・凝灰岩</p> <p>種類</p> <p>品質区分</p> <p>備考</p> <p>・間知石</p> <p>・コンクリート間知ブロック</p> <p>・A</p> <p>・B</p>	24. フェンス	<p>フェンスの種類</p> <p>・ビニル被覆エキスパンドフェンス</p> <p>・樹脂塗装メッシュフェンス</p> <p>・鋼管フェンス</p> <p>・アルミフェンス</p> <p>高さ</p> <p>・図示による</p>	5. 測定結果等報告書の提出	
26. 鋼製書架及び物品棚	<p>種類</p> <p>・鋼製書架</p> <p>・鋼製物品棚</p> <p>JIS S 1039 の規格による</p> <p>JISによる種類</p> <p>・1種 ・2種 ・3種</p> <p>・4種 ・5種 ・6種</p>	26. 鋼製書架及び物品棚	<p>種類</p> <p>規格等</p> <p>JISによる種類</p> <p>・1種 ・2種 ・3種</p> <p>・4種 ・5種 ・6種</p>	25. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み	<p>種類</p> <p>・花こう岩</p> <p>・凝灰岩</p> <p>種類</p> <p>品質区分</p> <p>備考</p> <p>・間知石</p> <p>・コンクリート間知ブロック</p> <p>・A</p> <p>・B</p>	6. その他		

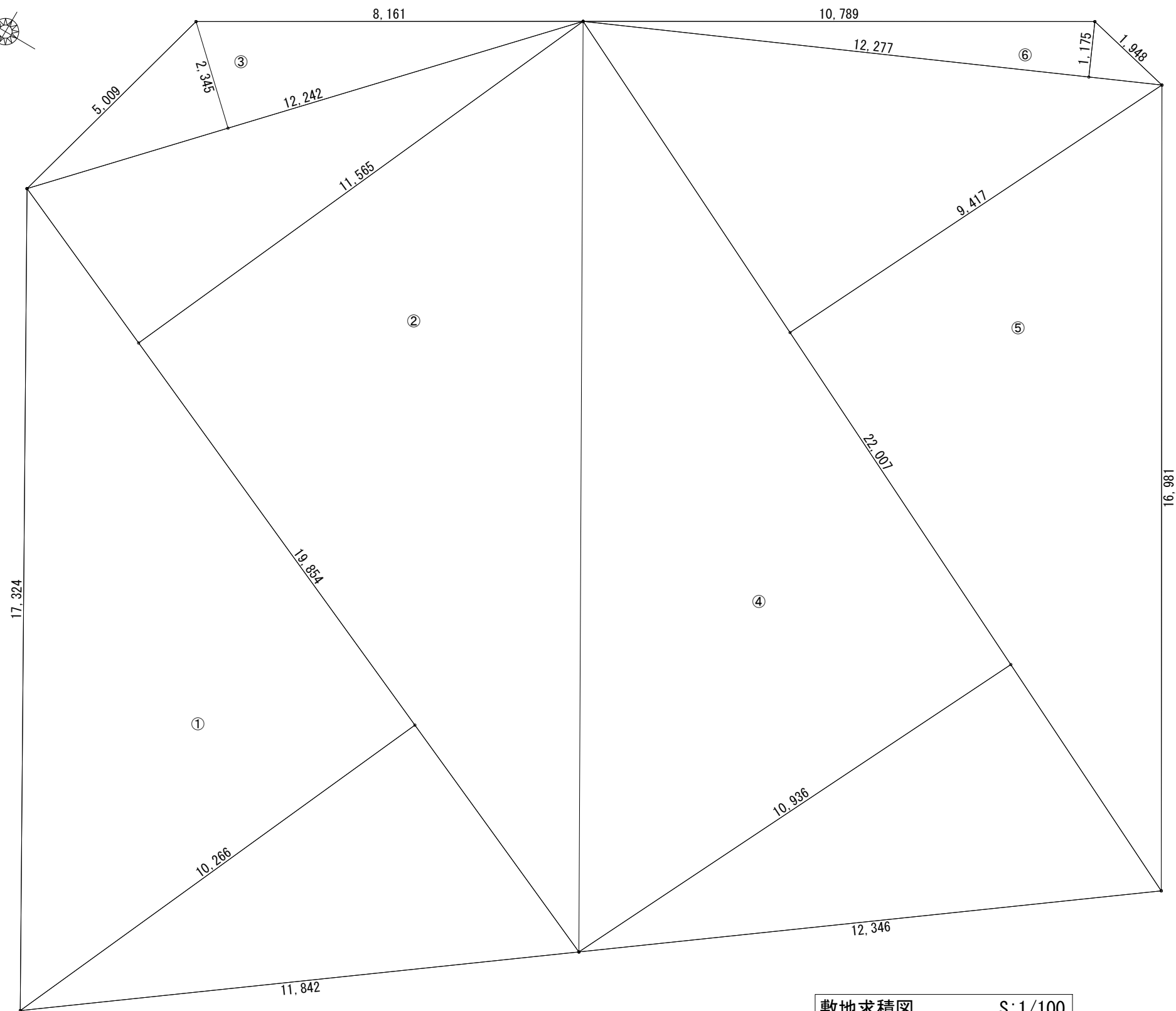
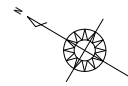
至 大和町・大崎市方面



至 仙台市方面

申請地：富谷市ひより台一丁目23-1
ひより台一丁目会館

工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 付近見取図	図面 No. A-7
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺	

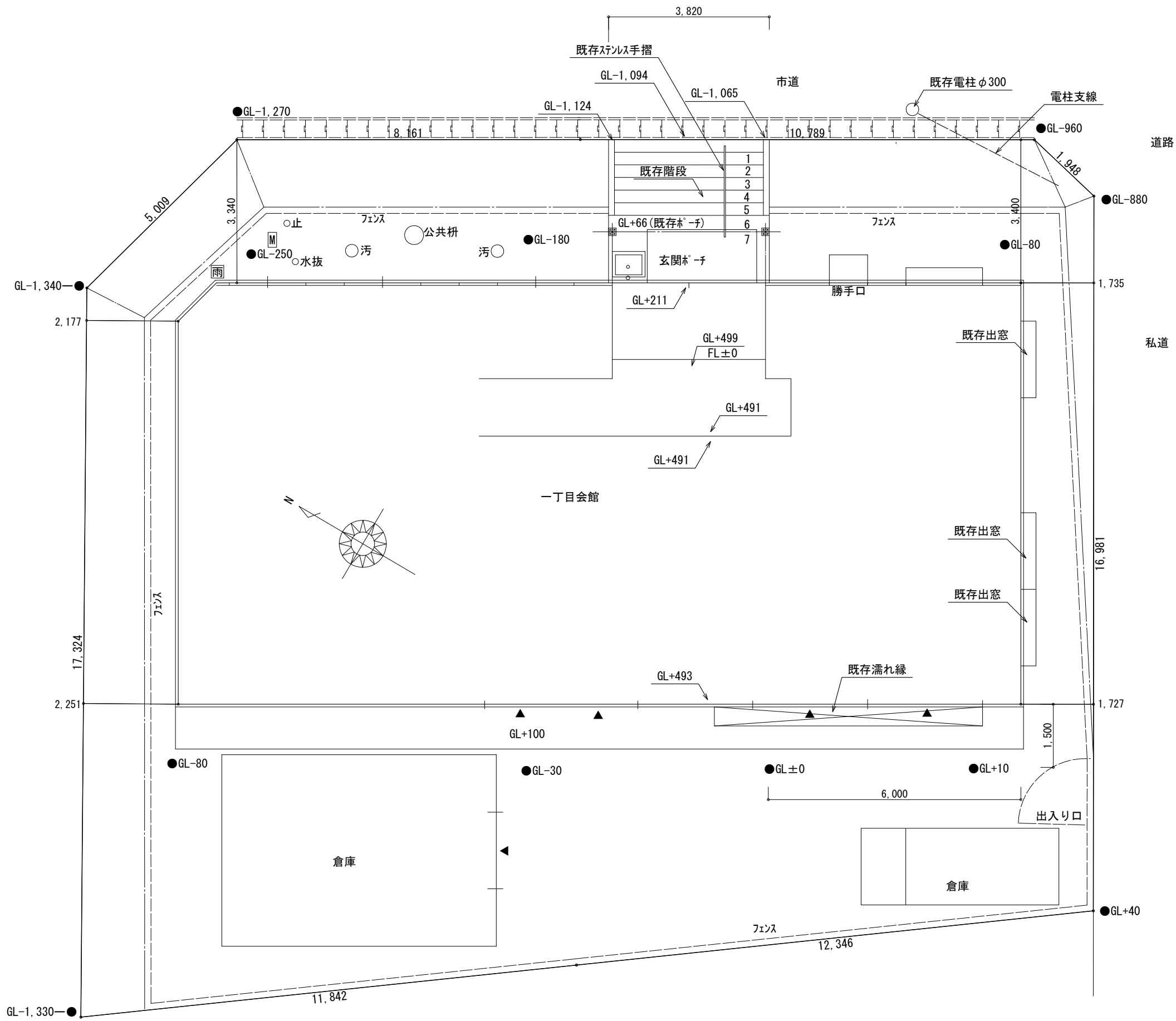


敷地求積図 S:1/100

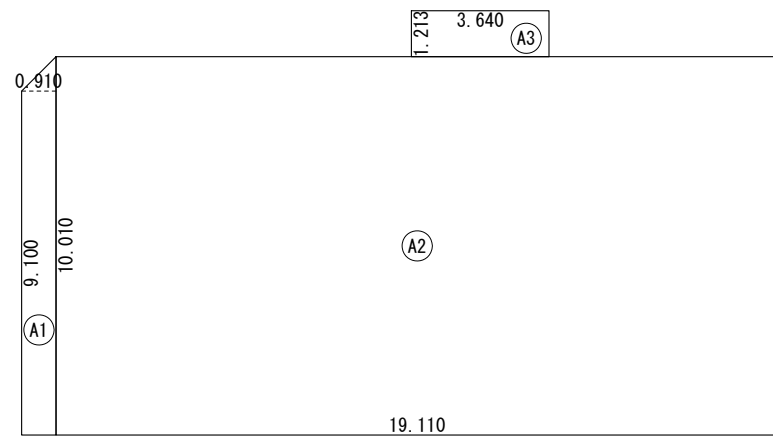
敷地面積算定表

番号	底辺	×	高さ	=	
①	19.854	×	10.266	=	203.8211
②	19.854	×	11.565	=	229.6115
③	12.242	×	2.345	=	28.7074
④	22.007	×	10.936	=	240.6685
⑤	22.007	×	9.417	=	207.2399
⑥	12.277	×	1.175	=	14.4254
			倍面積	=	924.4738
		×	1/2	=	462.23 m ²

工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 敷地求積図	図面No. A-8
		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	
備考						



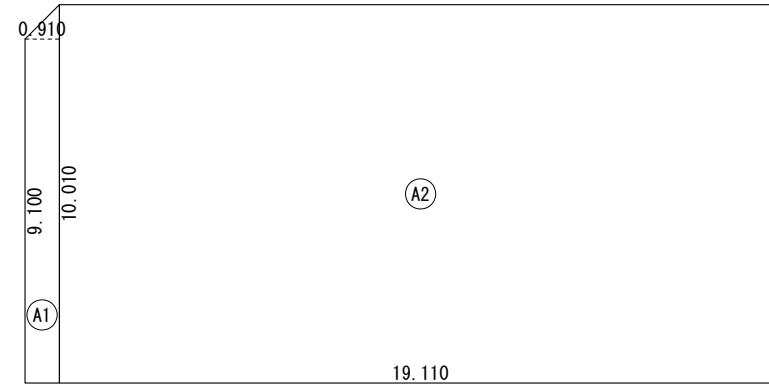
工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	管理者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	設計者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	担当者 	図面名 既存 敷地図、建物配置図	図面No. A-9
備考 	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ</small>	日付	日付	日付	縮尺 1/100	



建築面積求積図 S:1/200

建築面積表			
	形状	計算式	面積
Ⓐ	台形	$(9.100+10.010) \times 0.910 \div 2.0$	8.695050
Ⓑ	矩形	19.110×10.010	191.291100
Ⓒ	矩形	3.640×1.213	4.415320
面積	計 (㎡)		204.40
	(坪)		61.83

丸め 切り捨て



1階 床面積求積図 S:1/200

床面積表<1階>			
	形状	計算式	面積
Ⓐ	台形	$(9.100+10.010) \times 0.910 \div 2.0$	8.695050
Ⓑ	矩形	19.110×10.010	191.291100
面積	計 (㎡)		199.98
	(坪)		60.49

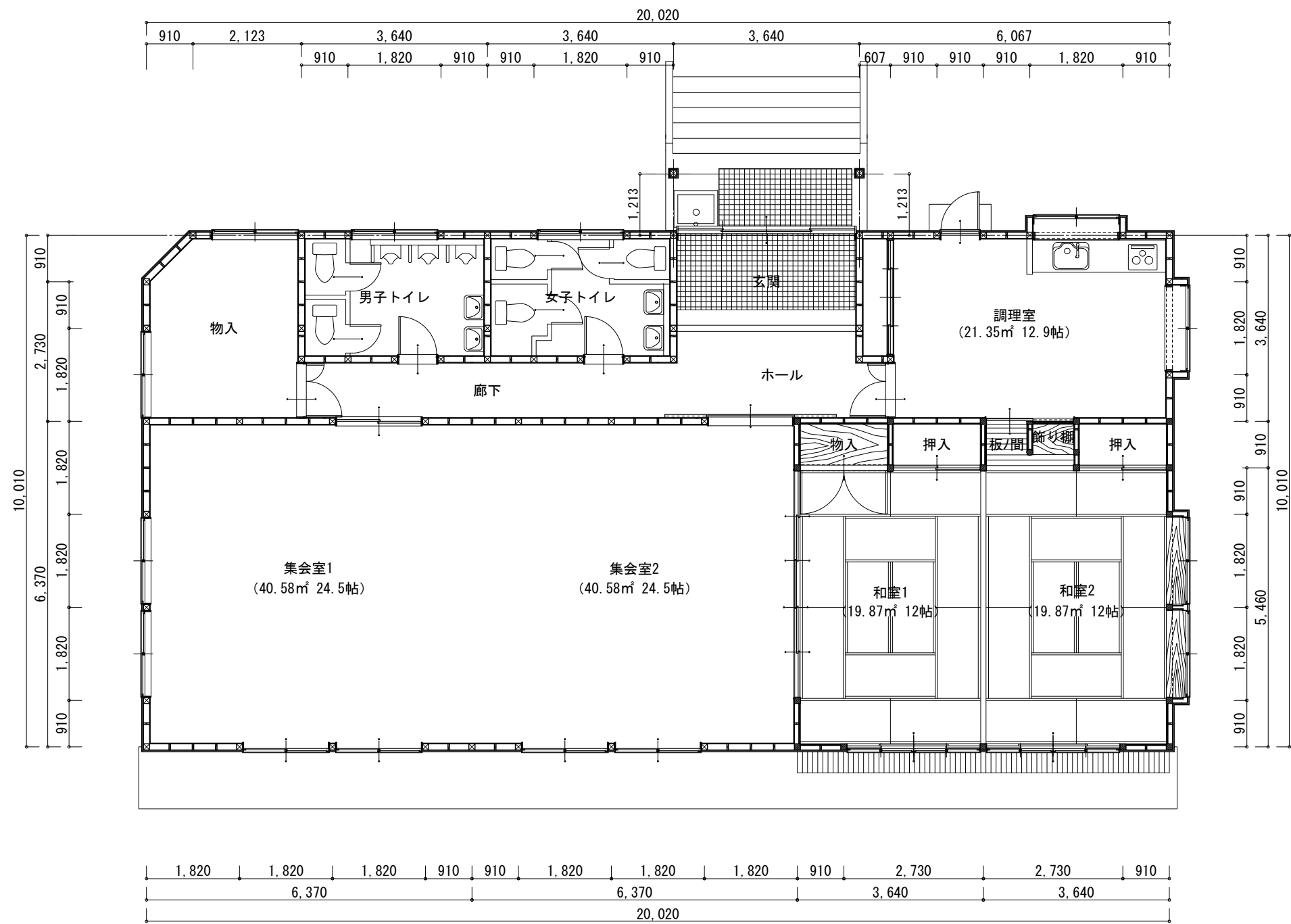
丸め 切り捨て

工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 建物面積表	図面No. A-10
		日付	日付	日付	縮尺 1/100	
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ					

外部仕上表	屋根	コロニアル葺き 不燃(個)第1003号 ルーフィング+野地板ア12		断熱材その他	(断熱材) ・木床組部分：グラスウール t=50 ・外気に接する壁：グラスウール t=100 ・外気に接する天井：グラスウール t=100 土台・軸組外壁面のGL+1000迄は防腐・防蟻処理
	鼻隠し・破風	セテリボード ア12 アクリル系吹付タイル			
	軒裏	ケイカル板塗装仕上 換気口：有孔板			
	外壁	防火サテイング ア12			
	外部建具	カラーアルミサッシ : ブロンズ色			
	雨樋	軒樋：塩ビ丸樋			
	犬走り	コンクリート金鍍仕上げ			
	玄関ポーチ	磁器質100角タイル			
	基礎	鉄筋コンクリート 布基礎			
	足洗い場	モルタル金ゴテ仕上げ、鋼製グレーチング			
	屋外階段	コンクリート刷毛引き仕上げ ステンレス手摺			
その他	木製看板				

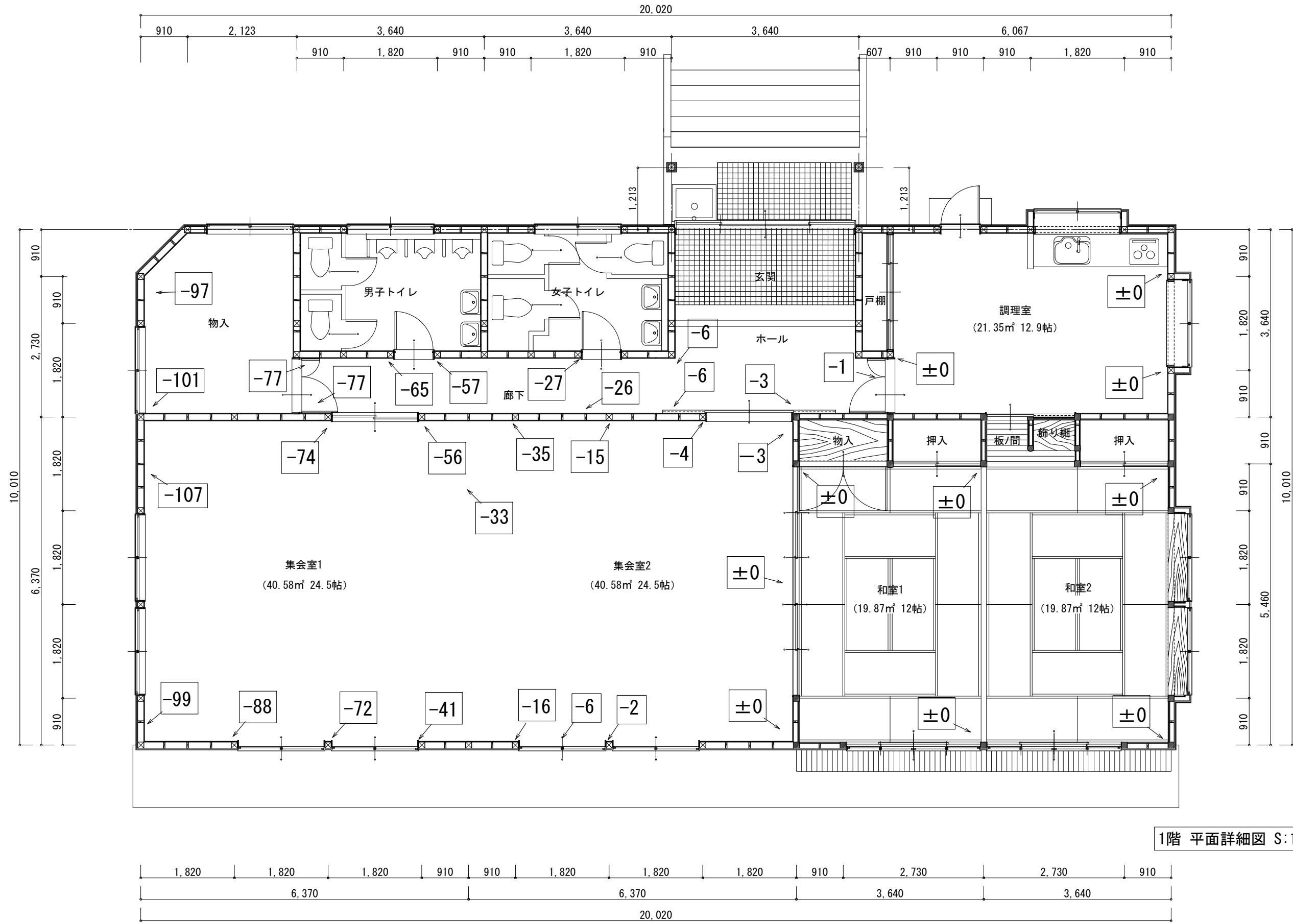
内部仕上表	室名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考
	玄関	ポーチ：磁器質100角タイル	木製框、式台、付け框	石膏ボード 712 ビニルクロス	ミネラートン ア12	2,460	
	玄関ホール	フローリング合板 712	木製OP H70	石膏ボード 712 ビニルクロス	ミネラートン ア12	2,350	造り付け下駄箱、メガホン・消火器
	集会室	フローリング合板 712	木製OP H70	石膏ボード 712 ビニルクロス	ミネラートン ア12	2,700	カーテンボックス・ブラインド、換気扇2カ所、消火器2台
	物入	フローリング合板 712	木製OP H70	石膏ボード 712 ビニルクロス	ジプトーン ア9	2,400	
	調理室	長尺塩ビ床材 下地：合板ア12	木製OP H70	石膏ボード 712 ビニルクロス 準不燃0003 一部ステンレス貼(下地：スレート板ア6×2)	ジプトーン ア9 準不燃2005	2,270	流しセット、吊戸棚、LPGガスコンロ
	和室	畳敷ア55 下地：荒床板ア15	畳寄せ	石膏ボード 712 ビニルクロス	貼査合板 W-455	2,450	
	押入	ア5.5 T1ベニヤ	押縁	石膏ボード 79	石膏ボード 79		
	床の間	合板地板、床框、落し掛、床柱	雑巾摺	石膏ボード 712 ビニルクロス	貼査合板 W-455		
	男・女洗面トイレ	8分タイル 下地 土間コンクリート t=90		壁：石膏ボードア12にOP塗装仕上 腰壁：タイル貼り100角 合板ア12下地	ジプトーン ア9	2,350	各便器、各洗面台、換気扇 ペーパーホルダー、トイレース間仕切(合板フラッシュ戸) H=1.8m

工事名	令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 既存 建物仕上表	図面No. A-11
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555		日付	日付	日付	縮尺	



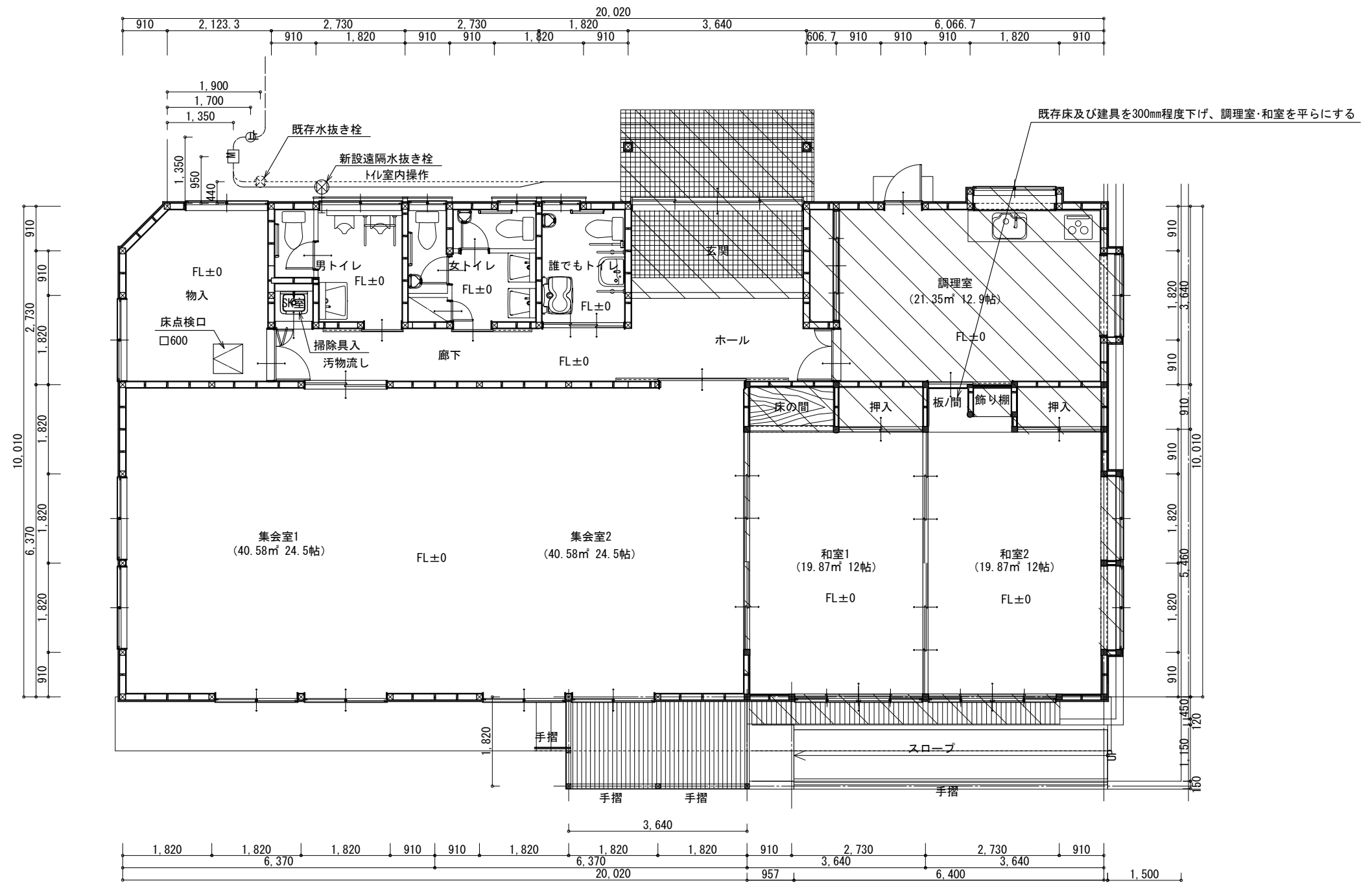
1階 平面詳細図 S:1/100

工事名	令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名	既存 平面図	図面No.	A-12
備考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺	1/100		

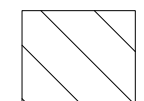


1階 平面詳細図 S:1/75

工事名 令和5年度 ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	管理者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	設計者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	担当者 	図面名 既存 床レベル測量図	図面No. A-13
備考 	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ</small>	日付 	日付 	日付 	縮尺 1/75	

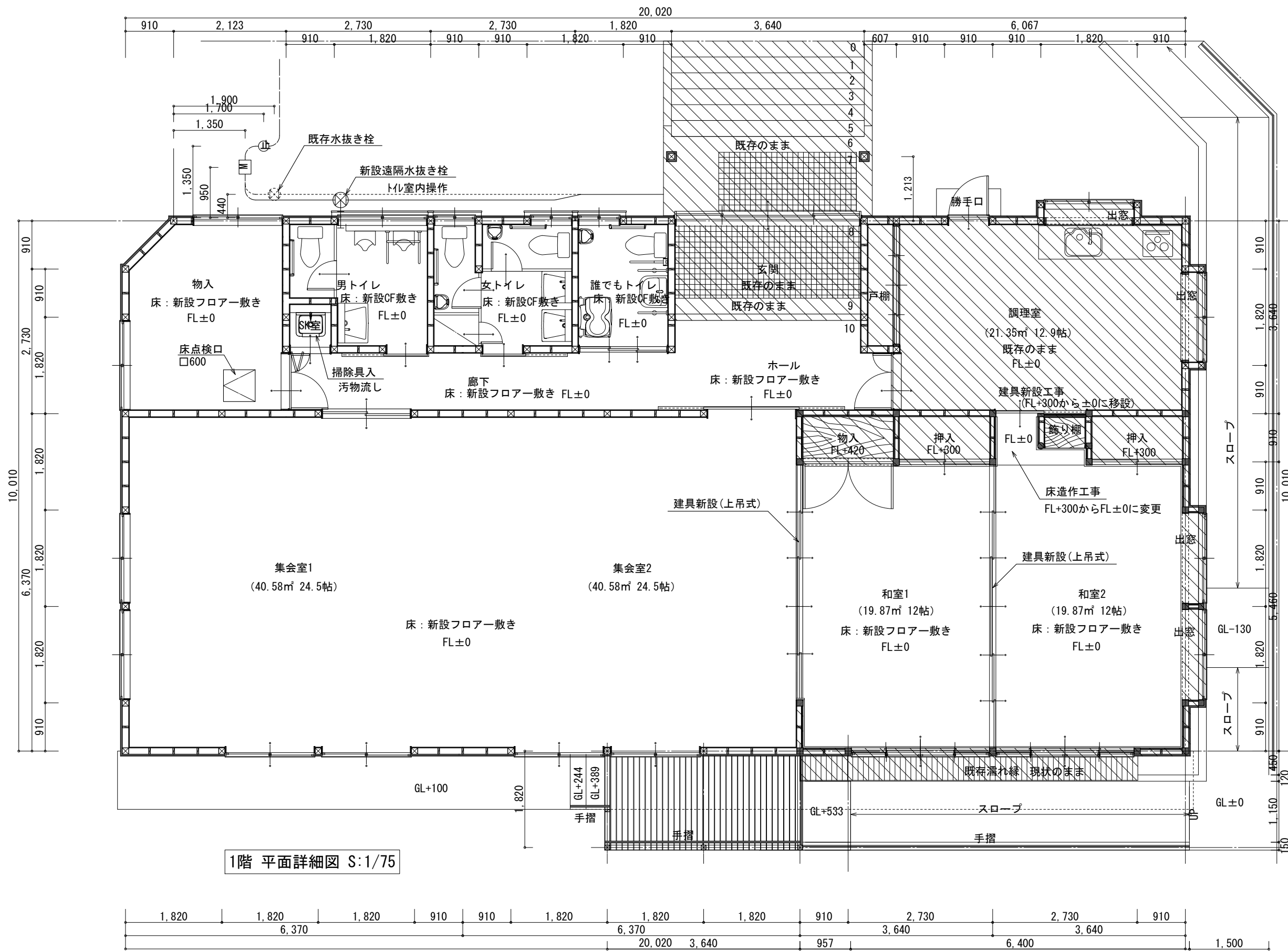


1階 平面詳細図 S:1/100



既存のままの範囲を示す

工事名	令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 改修 平面図	図面No. A-14-1
備考	2023.12.11	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/100	

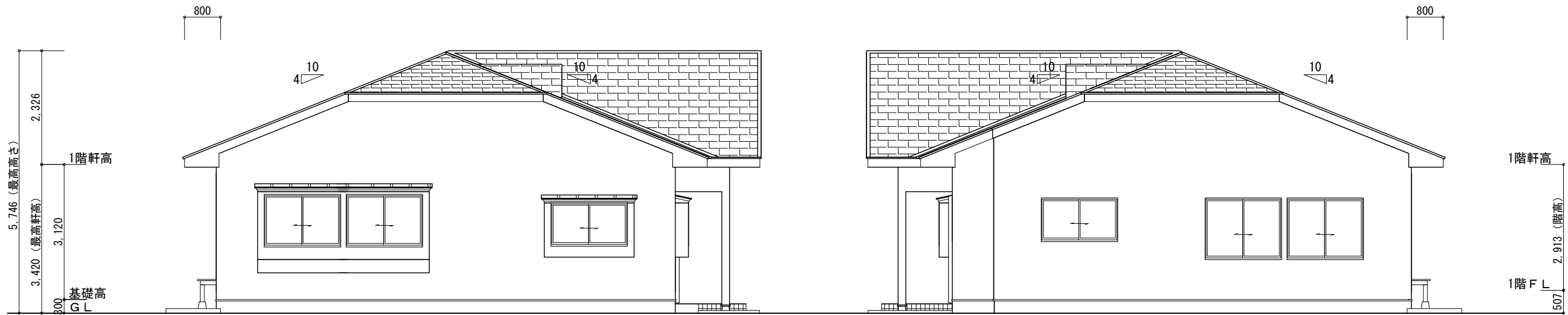


1階 平面詳細図 S:1/75

工事名 令和5年度 ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 改修 平面詳細図	図面No. A-14-2
		日付	日付	日付	縮尺 1/75	
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ					

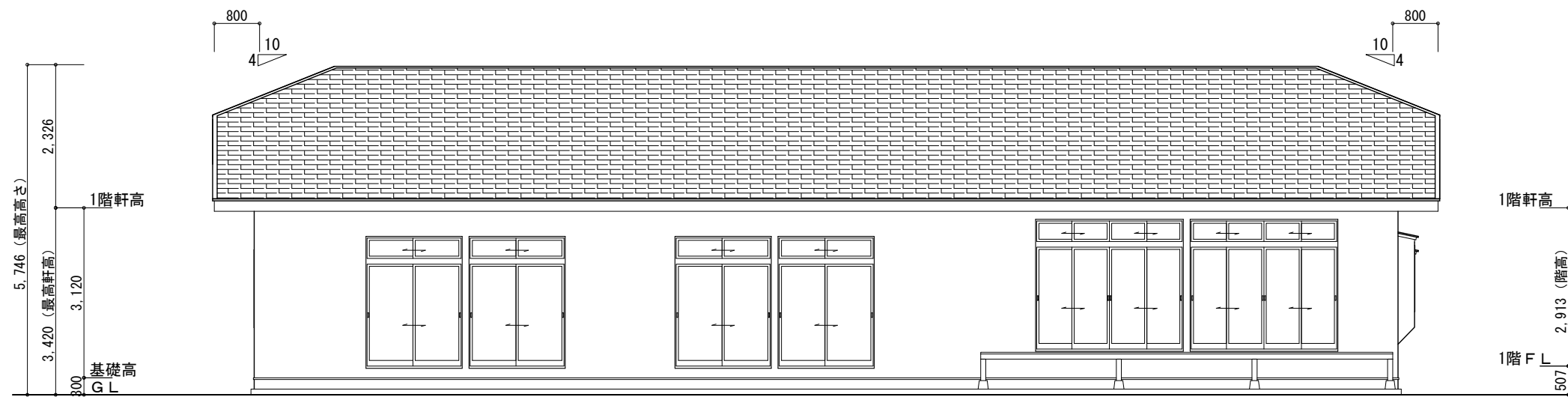


東側 立面図 S:1/100



南側 立面図 S:1/100

北側 立面図 S:1/100



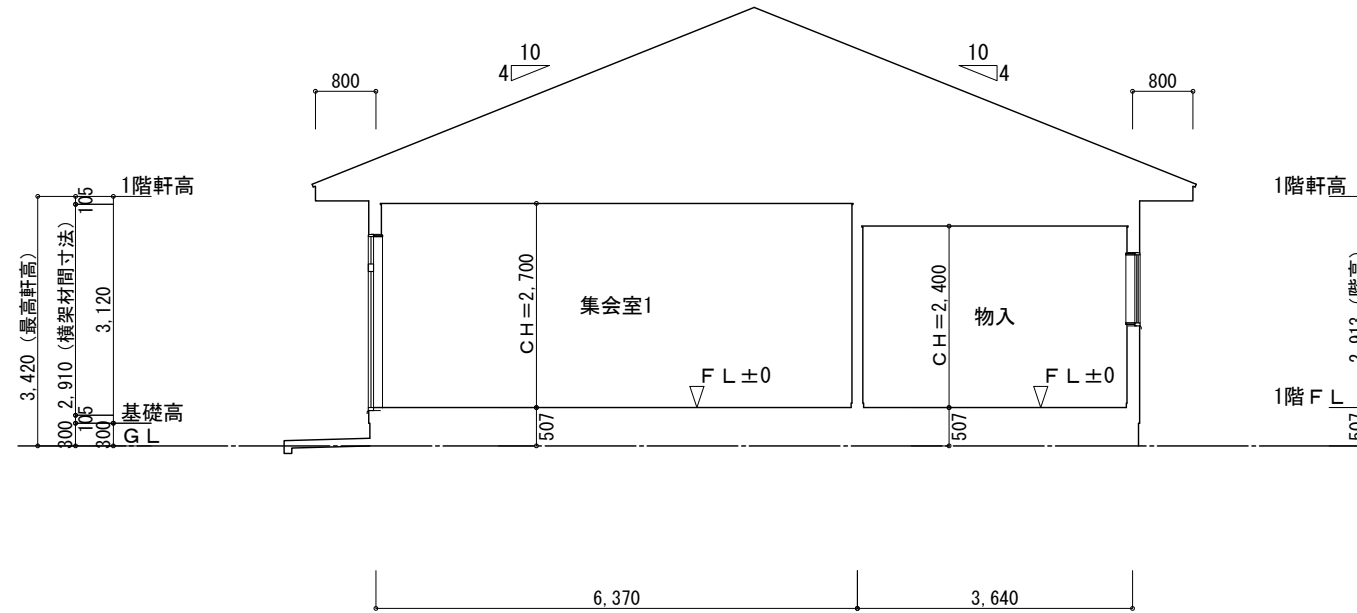
西側 立面図 S:1/100

※既存建物に傾き有り、外壁亀裂有り。

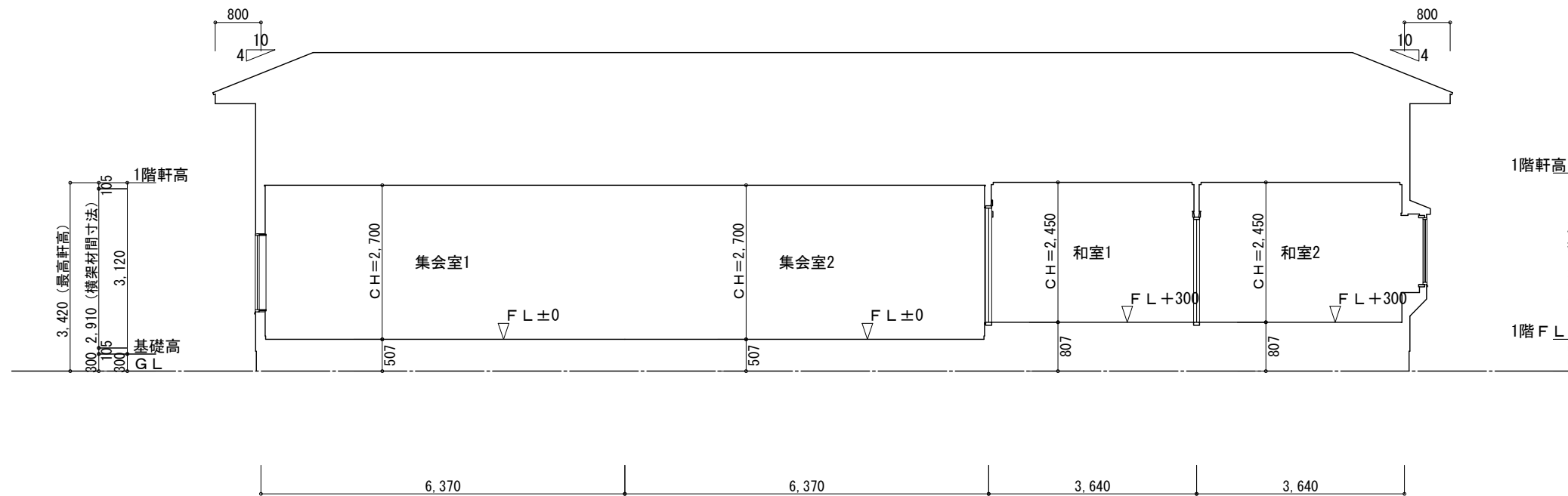
工事名	令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 既存 立面図	図面No. A-15
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		日付	日付	日付	縮尺 1/100	



工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	管理者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	設計者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	担当者 日付	図面名 改修 立面図	図面 No. A-16
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ</small>	日付	日付	日付	縮尺 1/100	

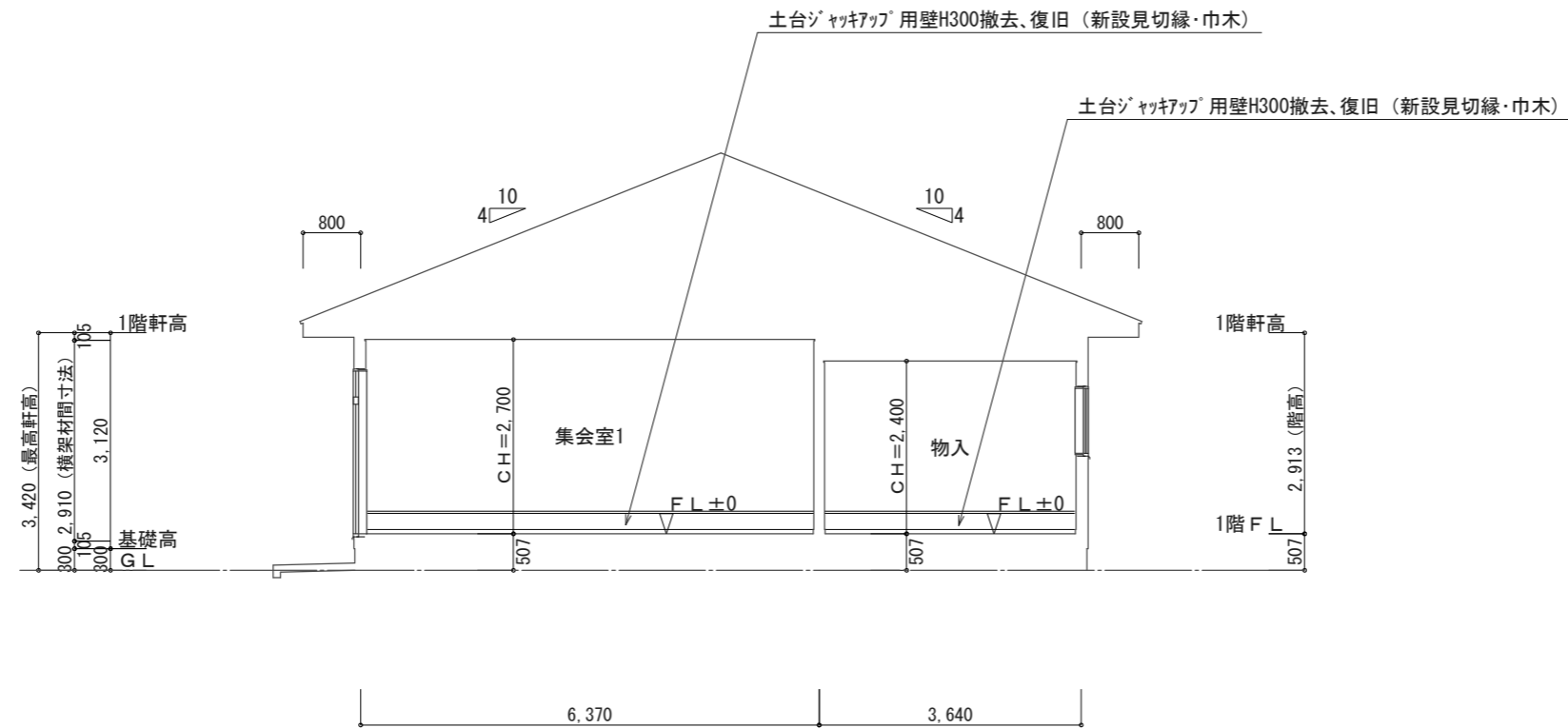


1面 断面図 S:1/100

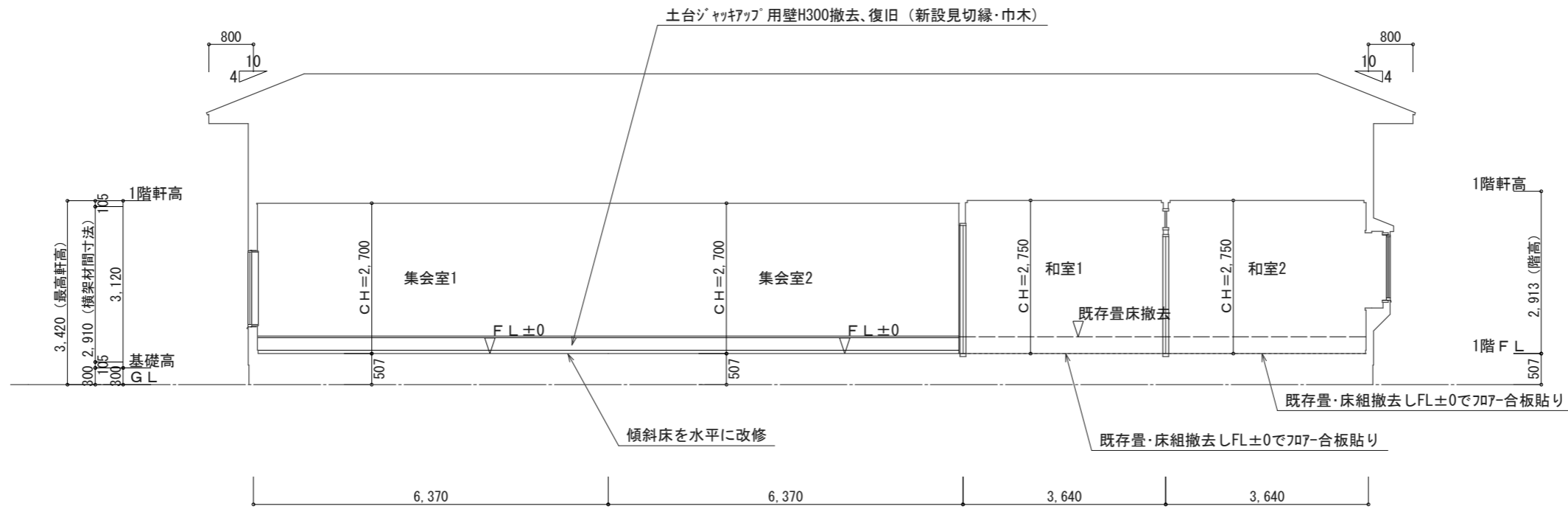


2面 断面図 S:1/100

工事名	令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 既存 断面図	図面No. A-17
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		日付	日付	日付	縮尺 1/100	

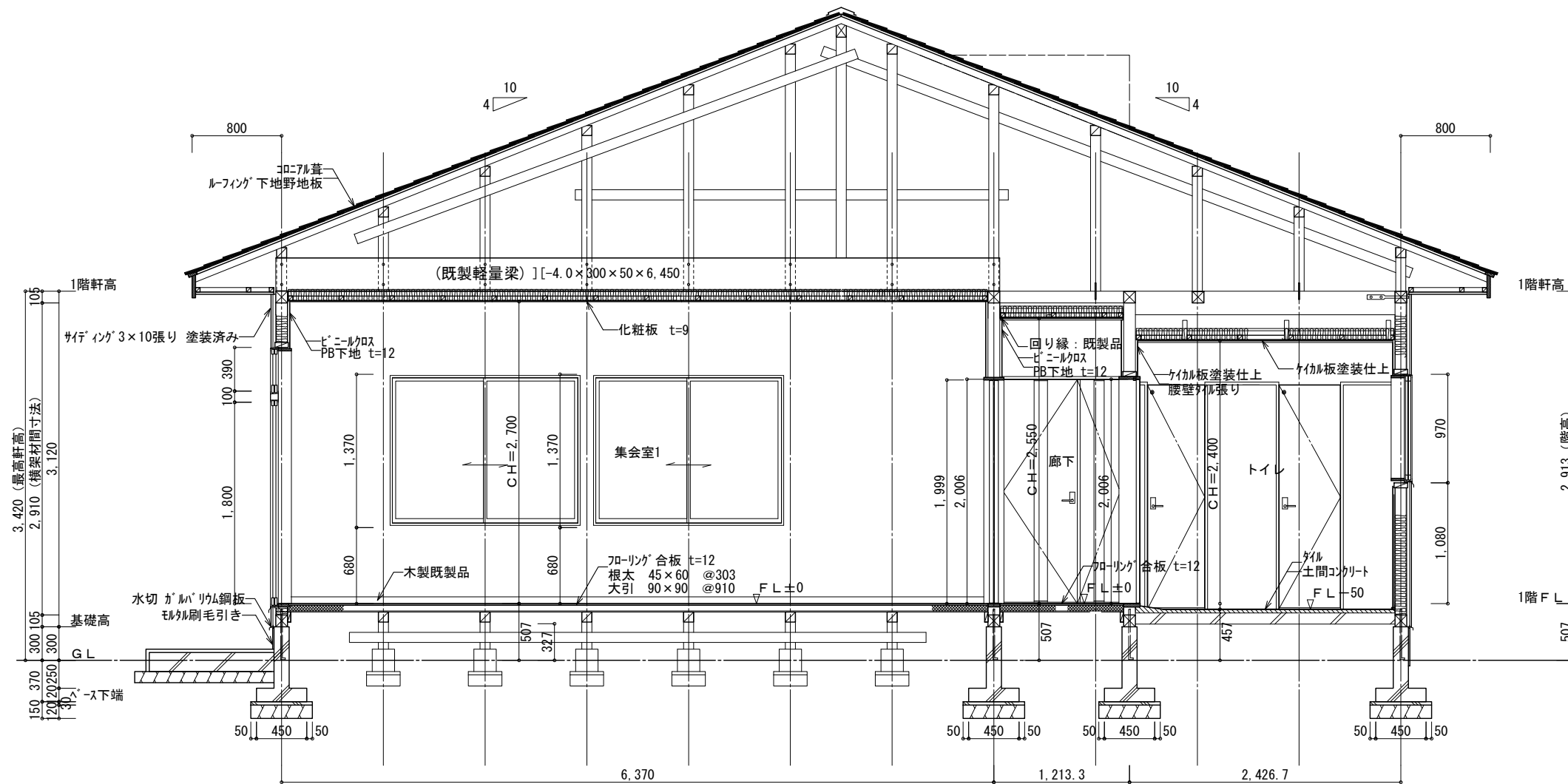


1面 断面図 S:1/100

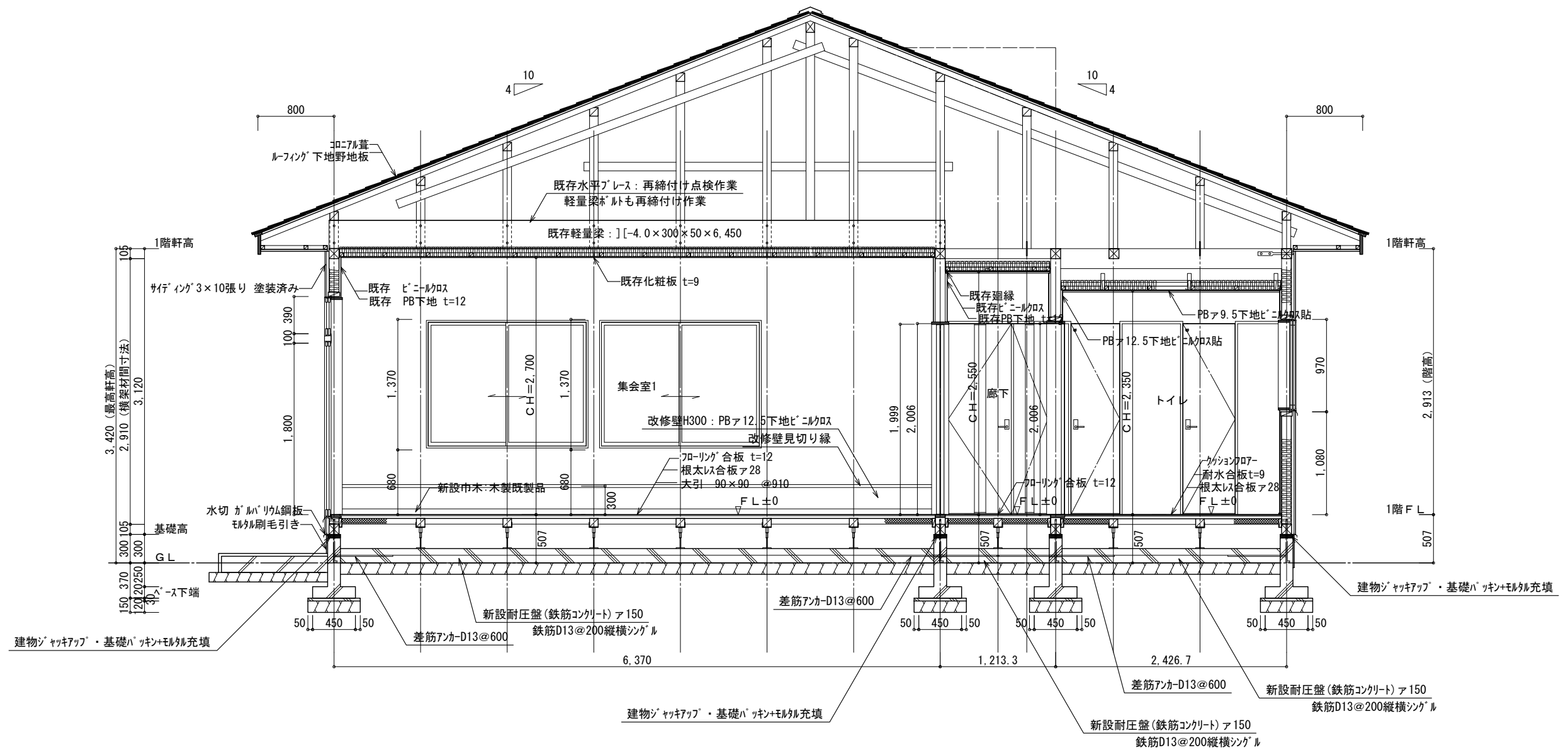


2面 断面図 S:1/100

工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 改修 断面図	図面No. A-18
		日付	日付	日付	縮尺 1/100	
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ					

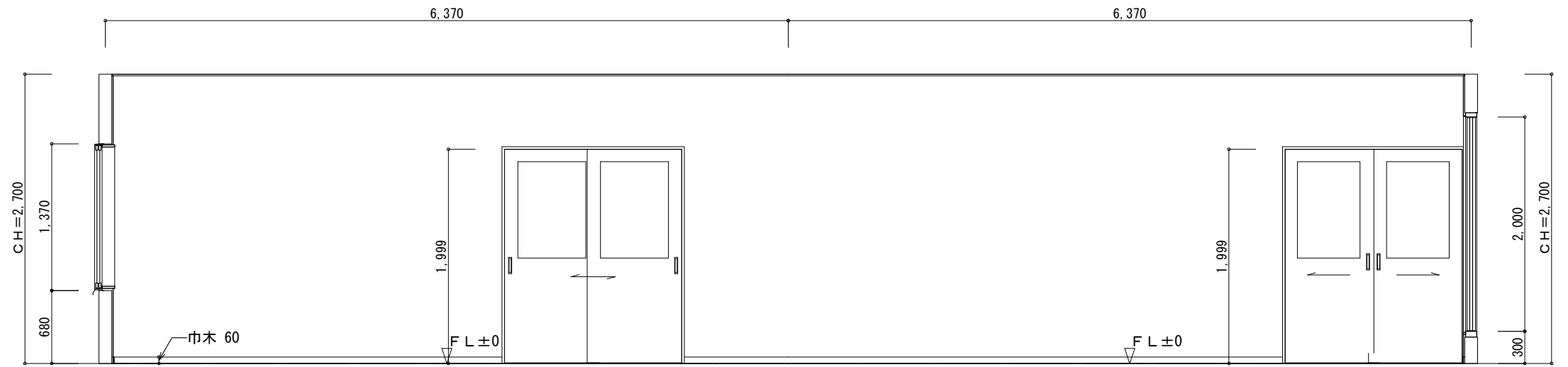


工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	管理者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	設計者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	担当者 	図面名 既存 矩計図	図面No. A-19
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ</small>	日付	日付	日付	縮尺 1/50	

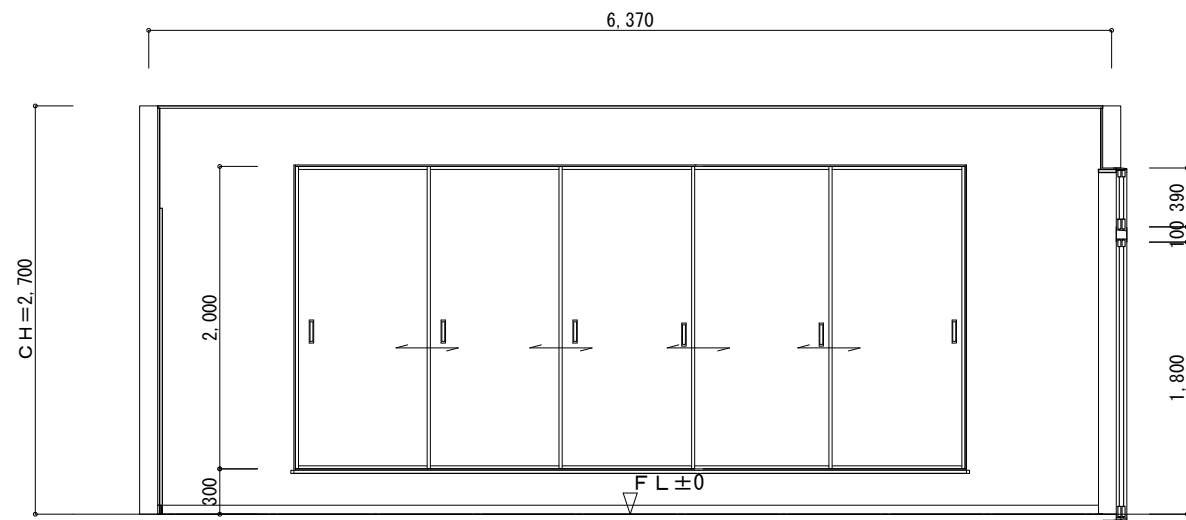


工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	管理者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	設計者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	担当者 	図面名 改修 矩計図	図面No. A-20
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ</small>	日付	日付	日付	縮尺 1/50	

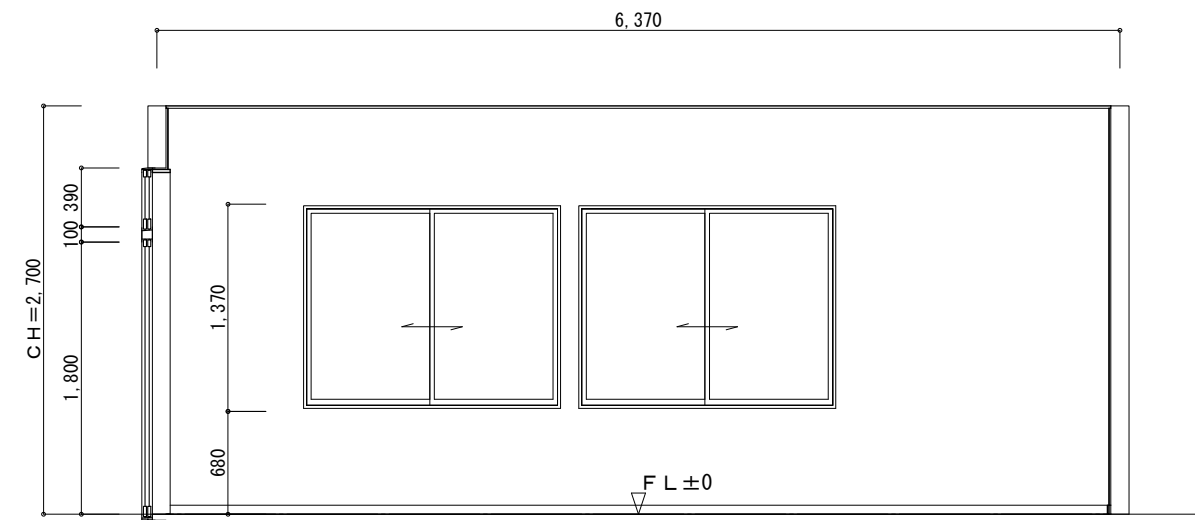
部屋名	集会室1
床	フローリング 合板 t=12
巾木	木製既製品
壁	ビニルクロス
腰壁	
天井	ビニルクロス
廻縁	木製既製品
備考	



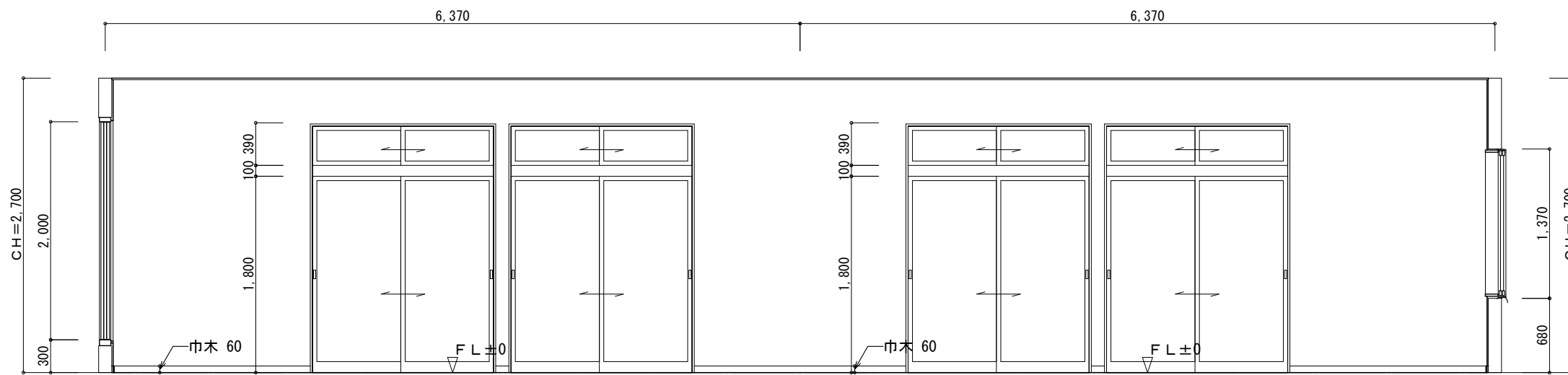
1面 集会室1・集会室2



2面 集会室1・集会室2



4面

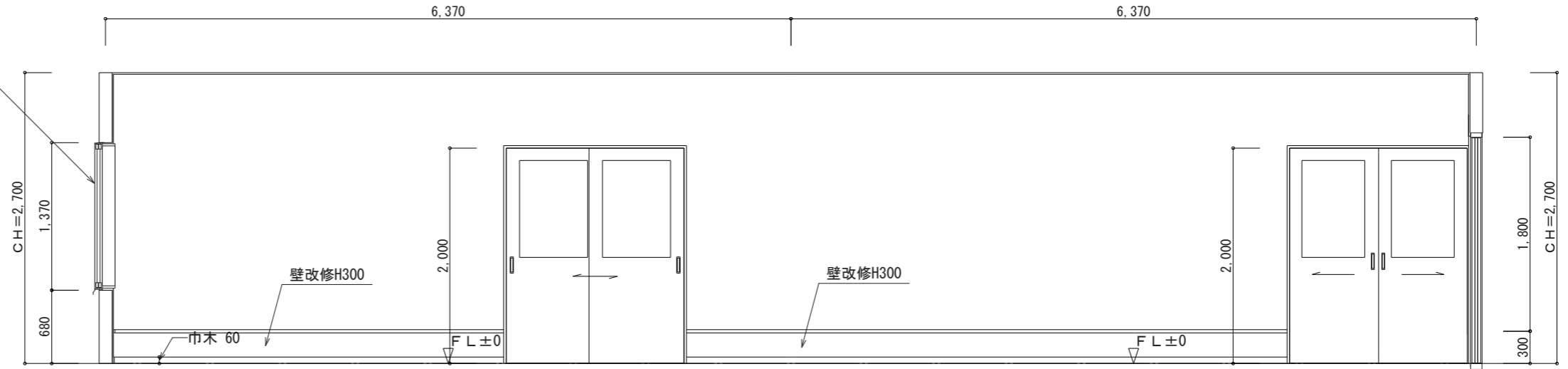


3面 集会室1・集会室2

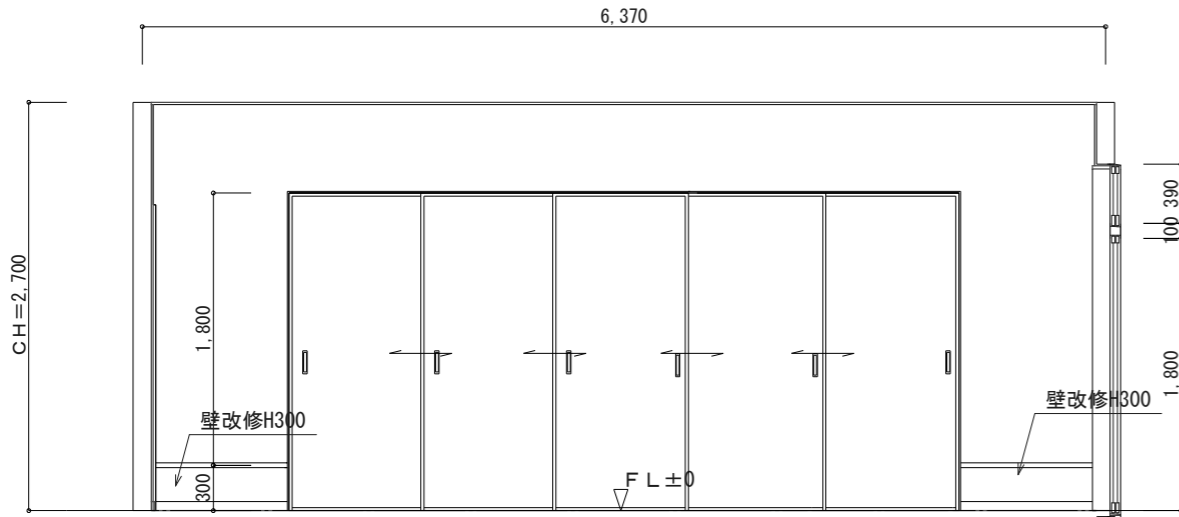
工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 既存 展開図 (集会室)	図面No. A-21
		日付	日付	日付	縮尺 1/50	
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ					

部屋名	集会室1
床	新設70-リング合板 t=12
巾木	新設木製既製品
壁	改修部分のみビニールクロス
腰壁	
天井	既存のまま
廻縁	木製既製品のまま
備考	

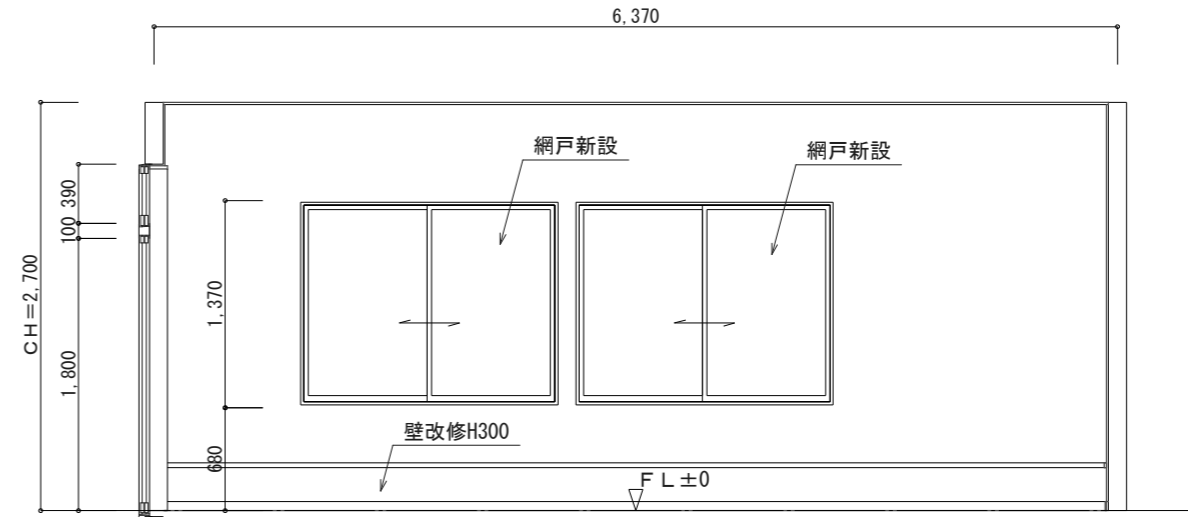
網戸新設



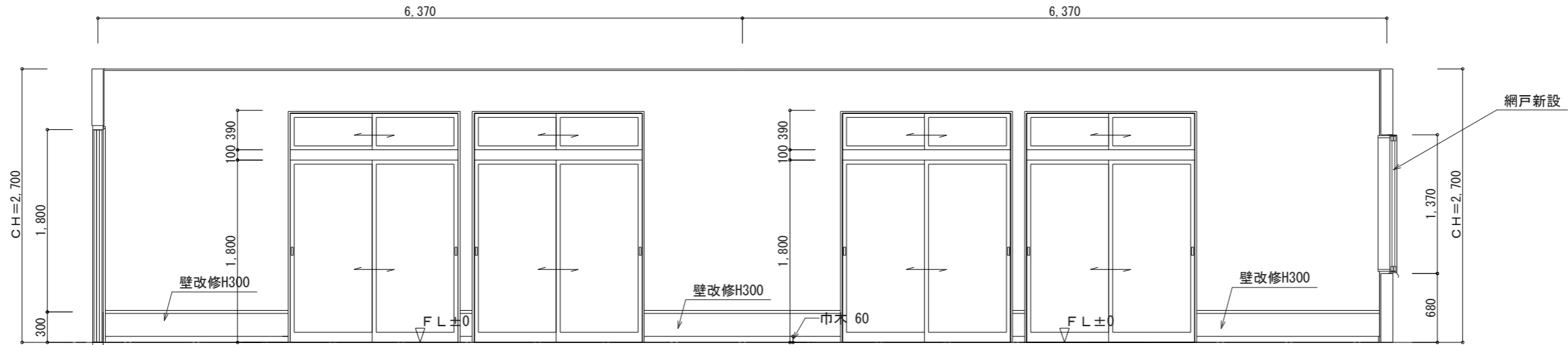
1面 集会室1・集会室2



2面 集会室1・集会室2



4面



3面 集会室1・集会室2

工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事

備考

(株)池下建築設計

事務所登録 宮城県 第21610219号

宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3

TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ

管理者

池下 久幸
一級建築士
第280837号

日付

設計者

池下 久幸
一級建築士
第280837号

日付

担当者

日付

図面名

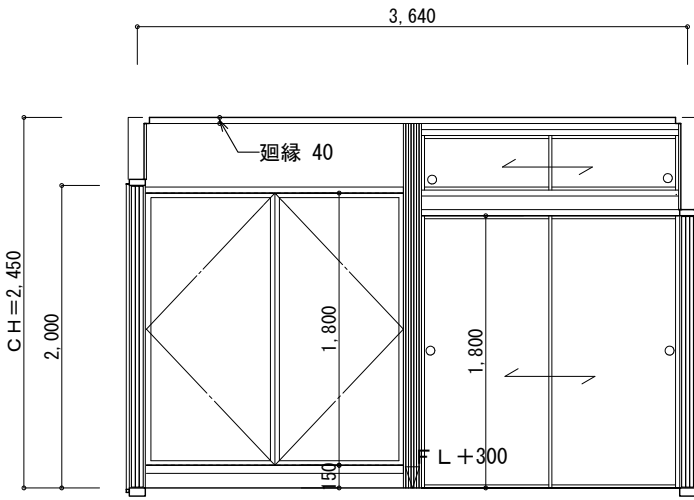
改修 展開図 (集会室)

縮尺 1/50

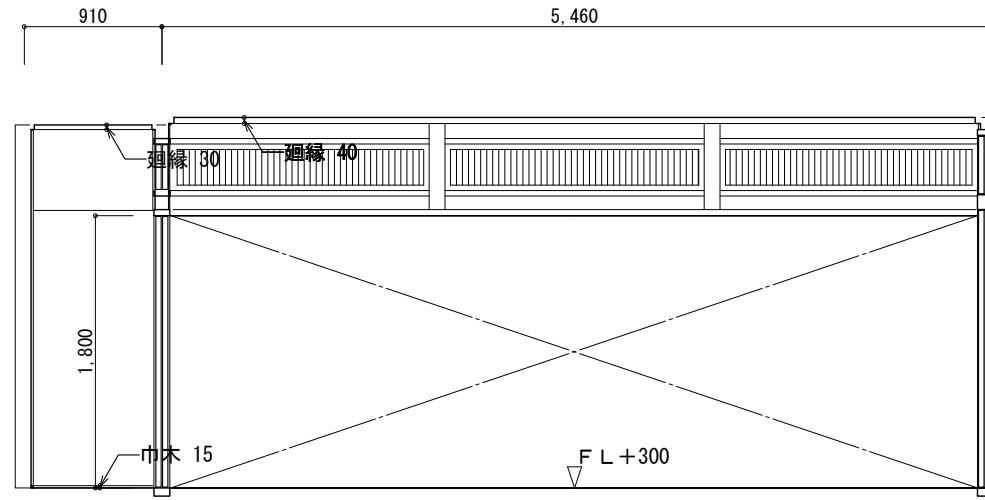
図面No.

A-22

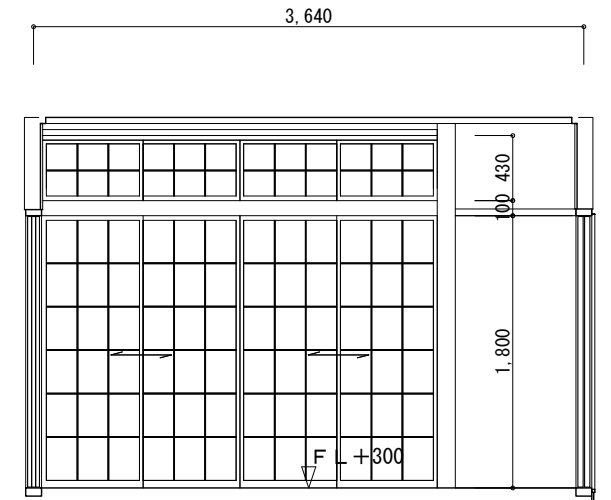
部屋名	和室1、2
床	畳
巾木	畳寄せ
壁	ジュク繊維壁
腰壁	
天井	杉柎敷目地天井 ラミネート
廻縁	木製
備考	



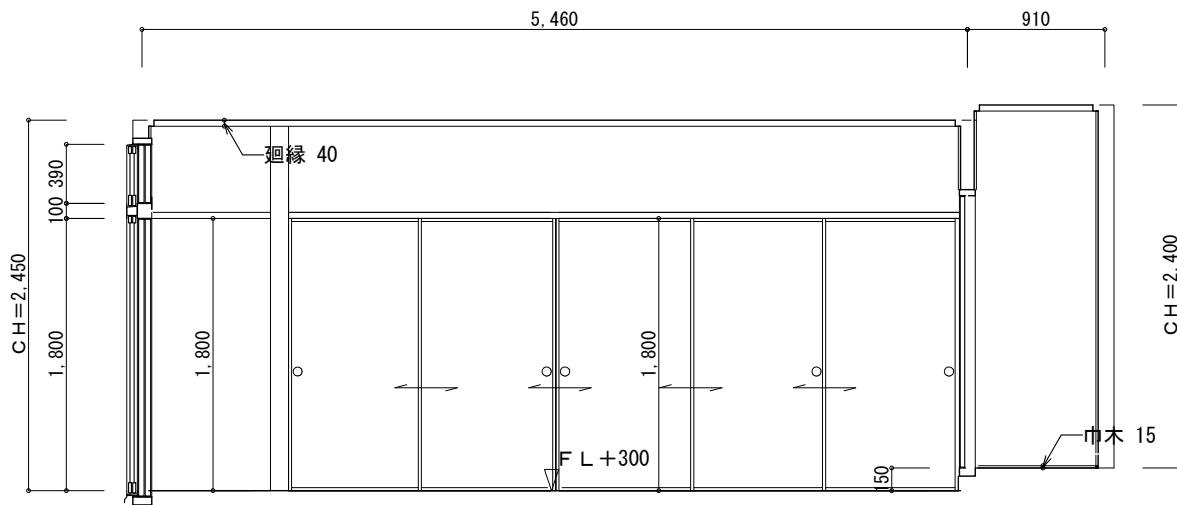
1面 和室1・押入・床の間



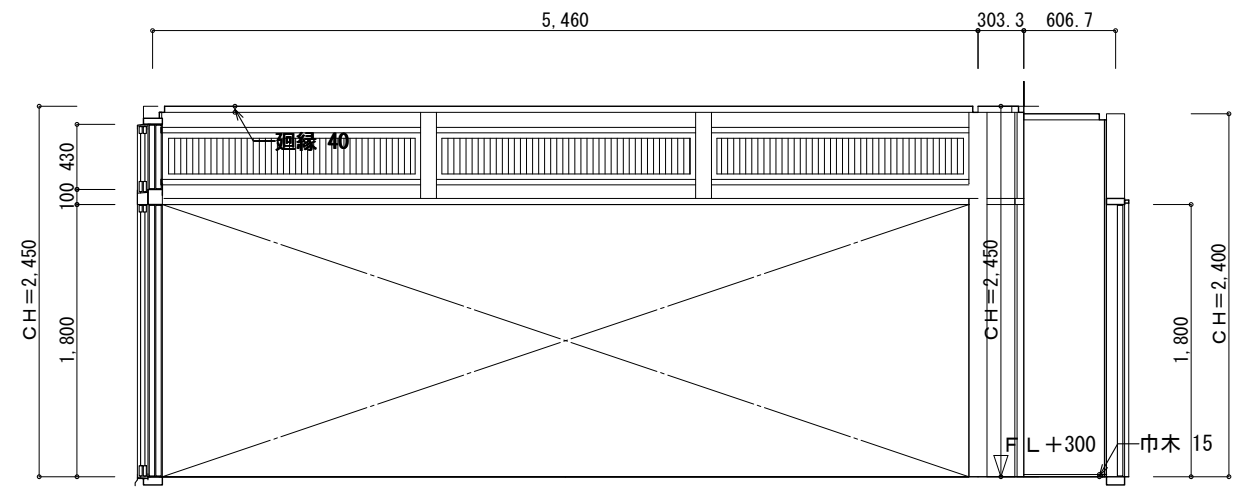
2面



3面

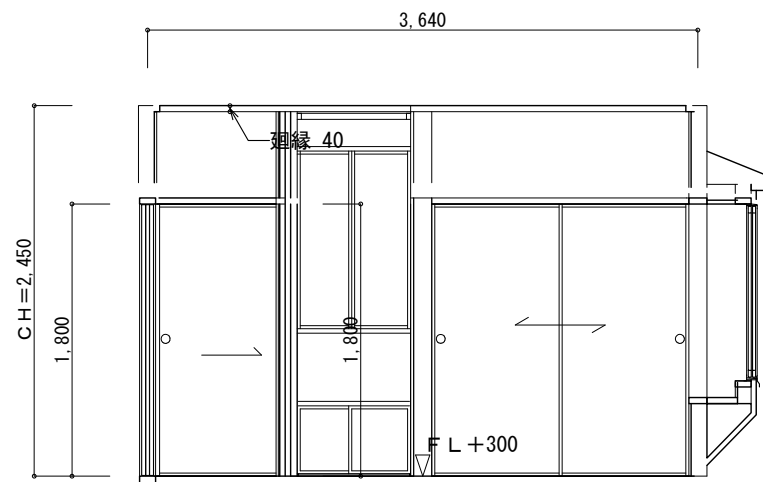


4面

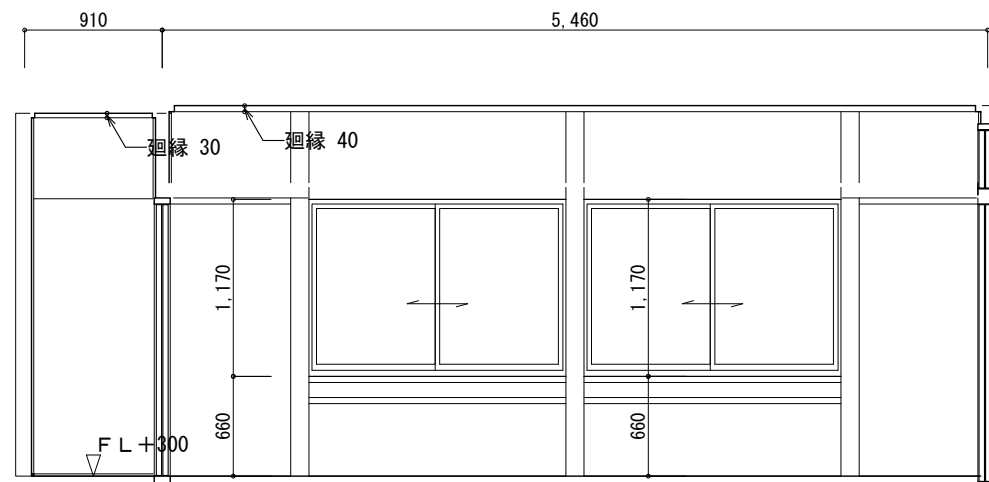


4面

和室2・板/間・押入・飾り棚

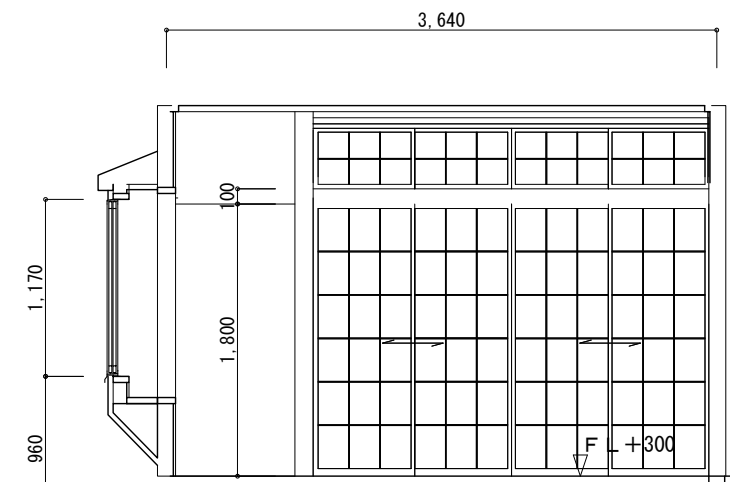


1面



2面

和室2・板/間・押入・飾り棚



3面

工事名	令和5年度ひより台一丁目会館改修工事
備考	

(株)池下建築設計	
事務所登録 宮城県 第21610219号	
宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3	
TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	

管理者	池下 久幸
	一級建築士 第280837号
日付	

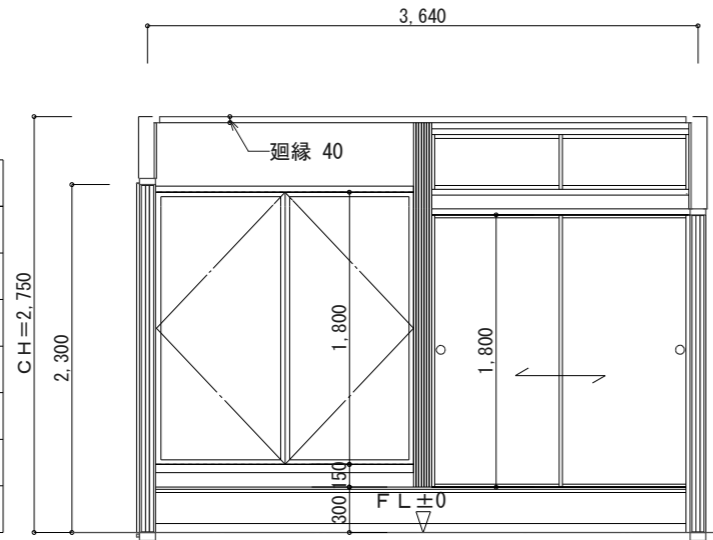
設計者	池下 久幸
	一級建築士 第280837号
日付	

担当者	
日付	

図面名	既存 展開図 (和室)
縮尺	1/50

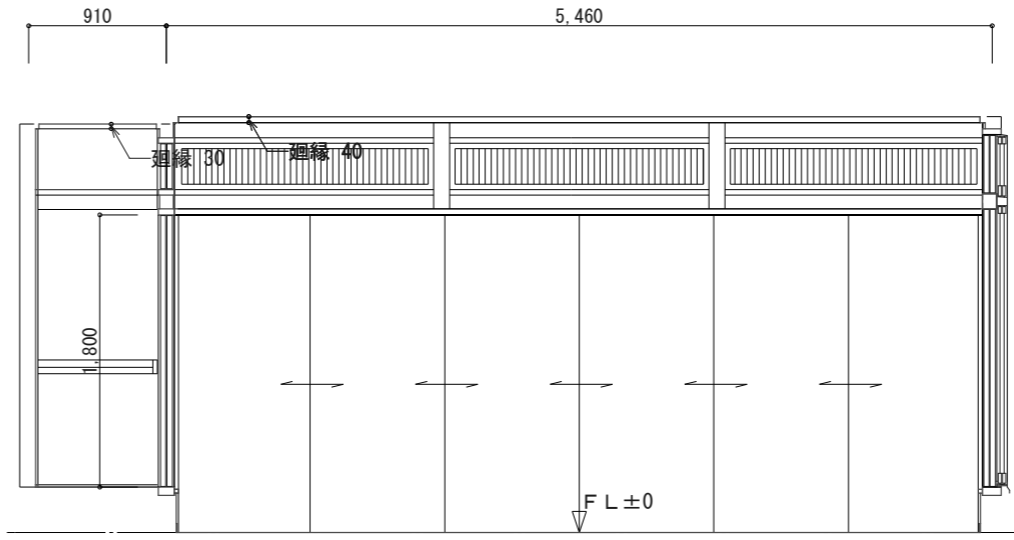
図面No.	A-23
-------	------

部屋名	和室1、2
床	畳撤去しフローア12
巾木	新設巾木
壁	既存セラミック繊維壁
腰壁	
天井	既存杉柵敷目地天井 ラミネート
廻縁	既存木製
備考	

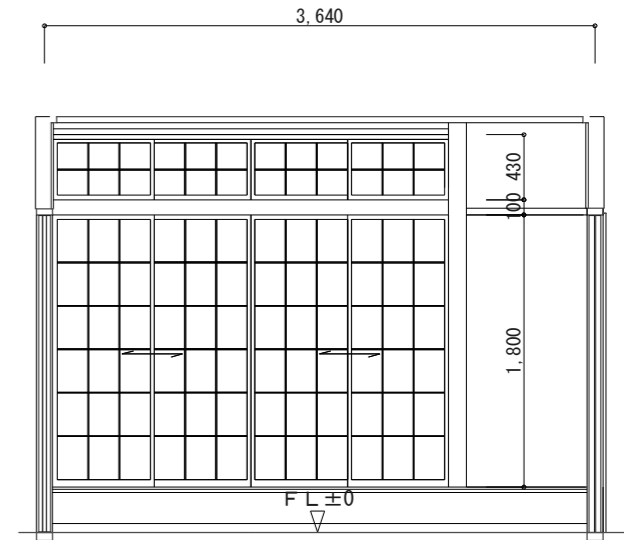


1面

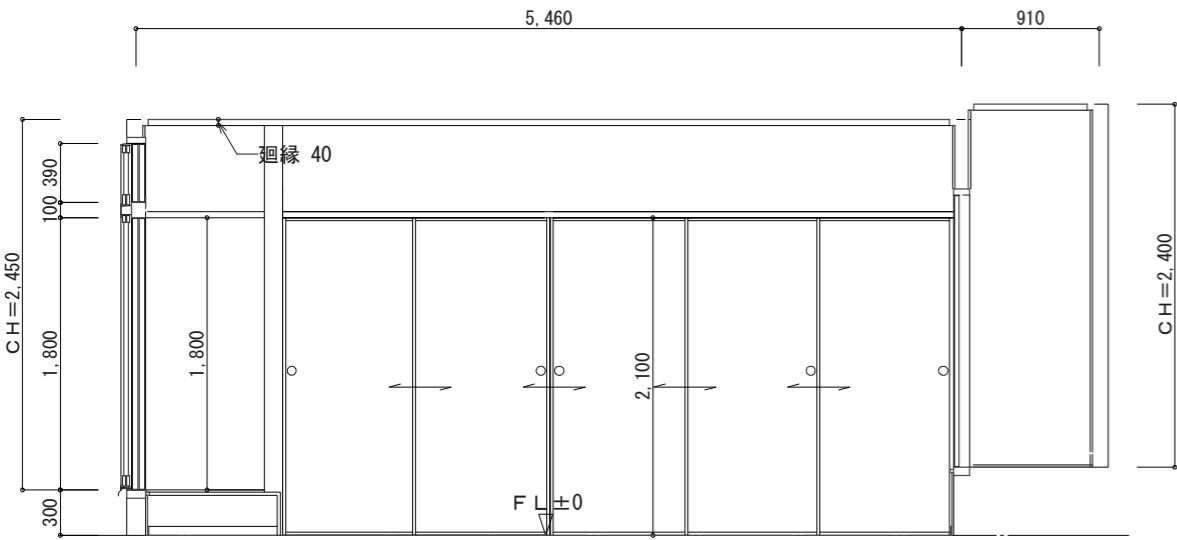
和室1・押入・床の間



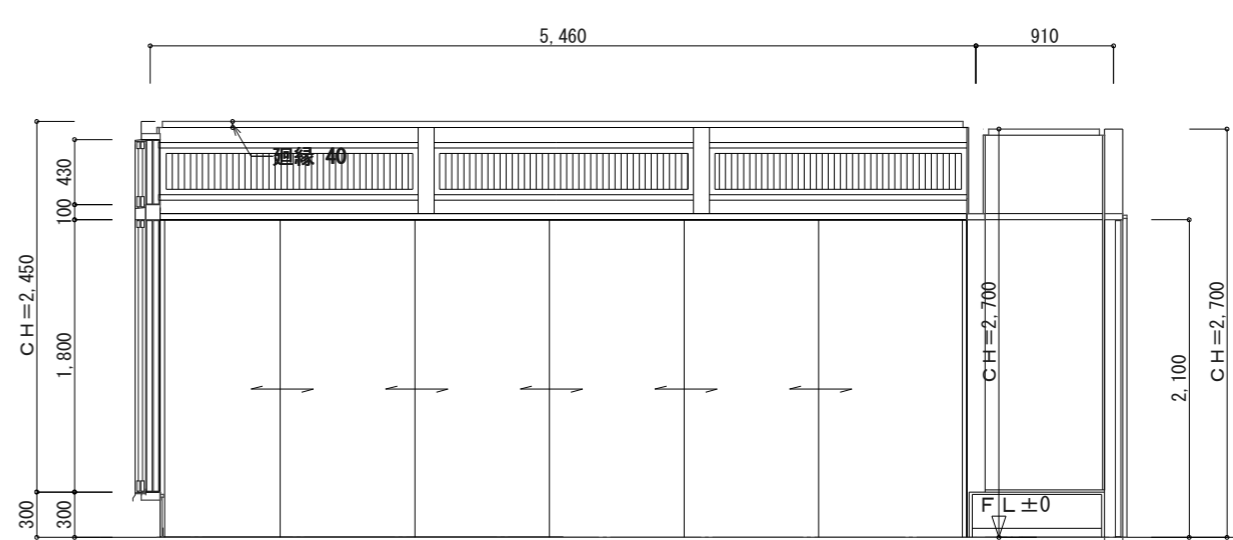
2面



3面

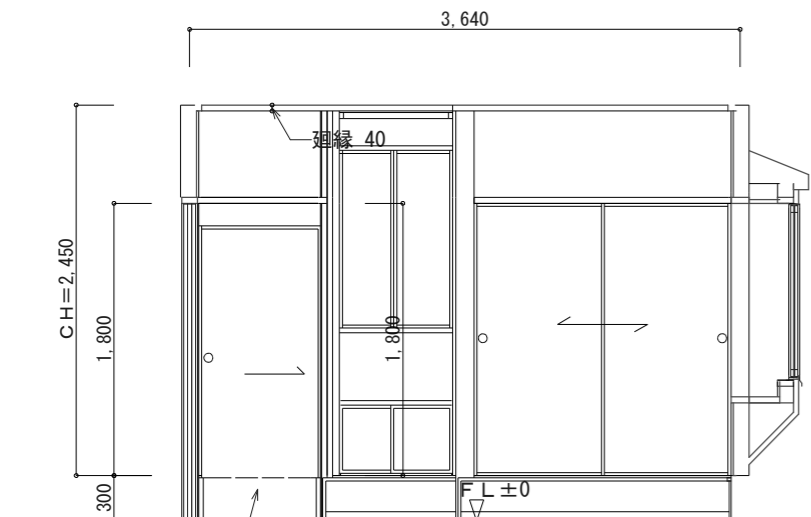


4面

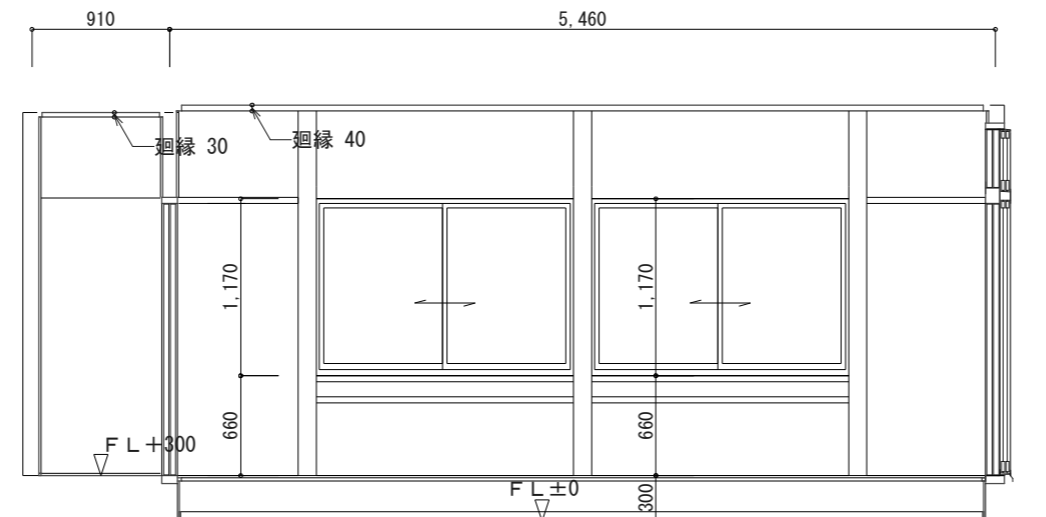


4面

和室2・板/間・押入・飾り棚

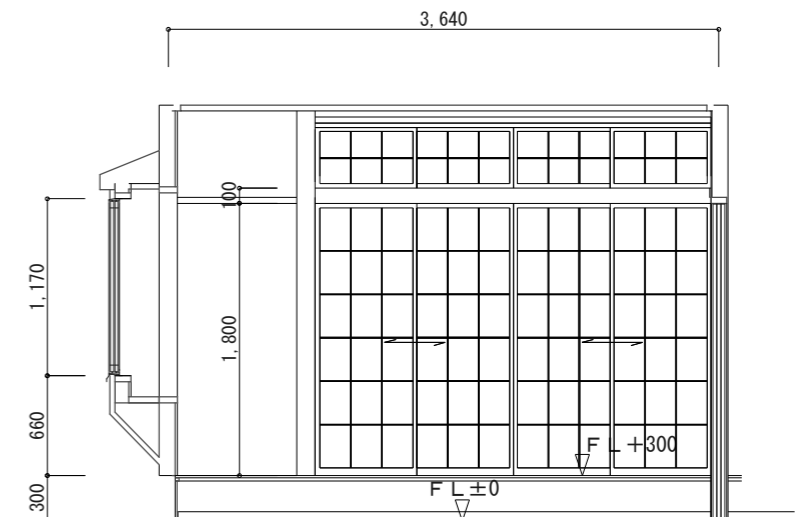


1面



2面

和室2・板/間・押入・飾り棚



3面

既存床レベル300下げる
既存片引き戸の高さ変更

工事名	令和5年度ひより台一丁目会館改修工事
備考	

(株)池下建築設計	
事務所登録 宮城県 第21610219号	
宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3	
TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	

管理者	池下 久幸 一級建築士 第280837号
日付	

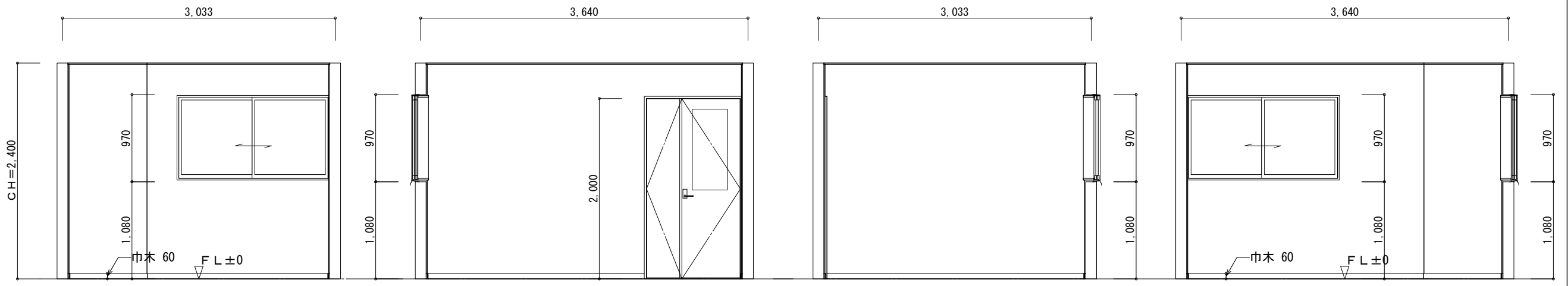
設計者	池下 久幸 一級建築士 第280837号
日付	

担当者	
日付	

図面名	改修 展開図 (和室)
縮尺	1/50

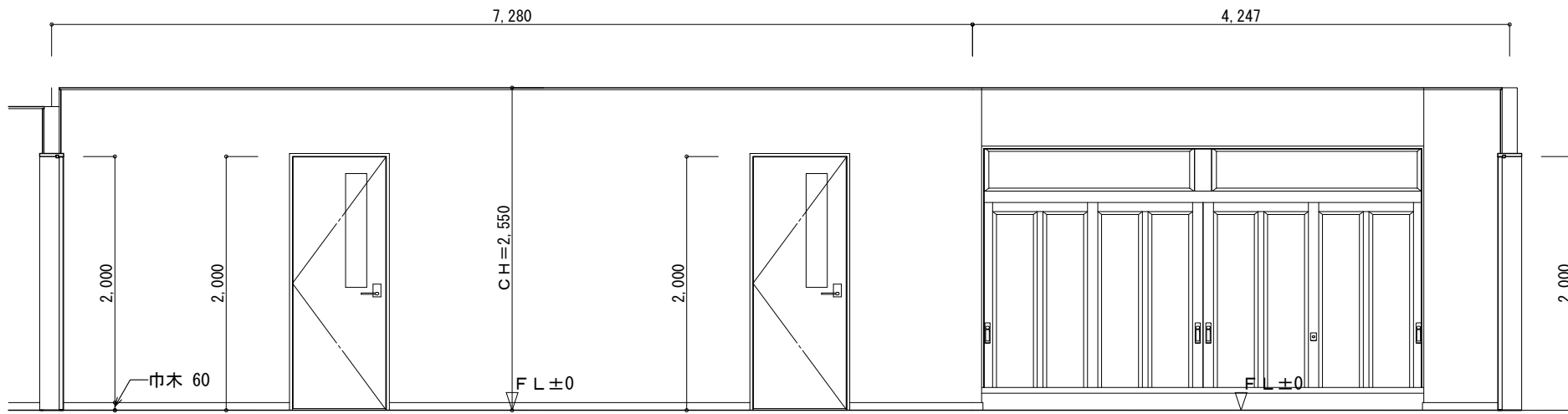
図面No.	A-24
-------	------

部屋名	物入
床	フローリング 合板 t=12
巾木	木製既製品
壁	ビニルクロス
腰壁	
天井	化粧板
廻縁	既製品
備考	

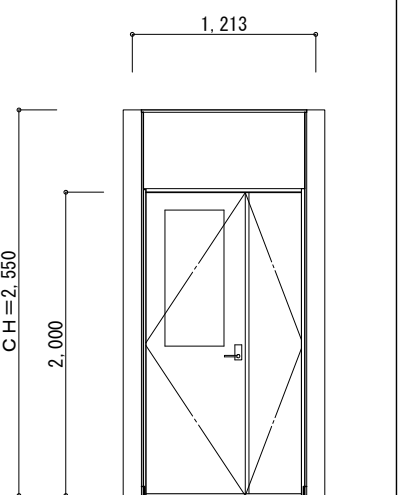


1面 2面 物入 3面 納戸 4面

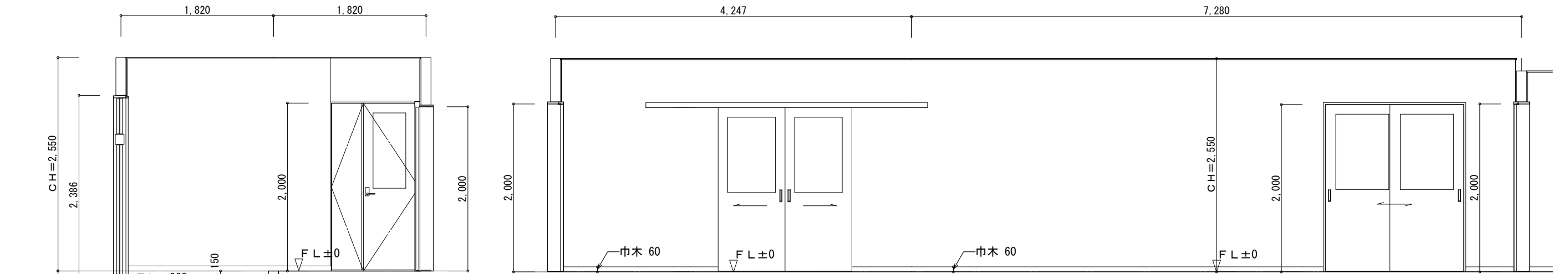
部屋名	廊下・ホール
床	フローリング 合板 t=12
巾木	木製既製品
壁	ビニルクロス
腰壁	
天井	化粧板
廻縁	既製品
備考	



部屋名	玄関
床	磁器質タイル 100×100
巾木	磁器質タイル 100×100
壁	ビニルクロス
腰壁	玄関巾木
天井	化粧板
廻縁	既製品
備考	下駄箱収納



1面 廊下・玄関・ホール 4面



2面 廊下・玄関・ホール 3面

工事名	令和5年度ひより台一丁目会館改修工事
備考	

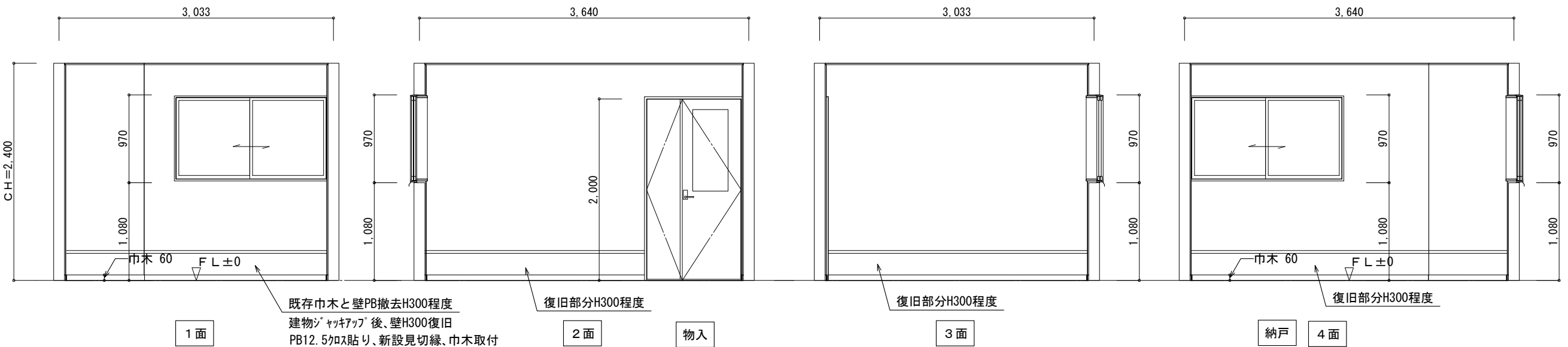
(株)池下建築設計	
<small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	
宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3	
<small>TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ</small>	

管理者	池下 久幸 一級建築士 第280837号
設計者	池下 久幸 一級建築士 第280837号
担当者	
日付	

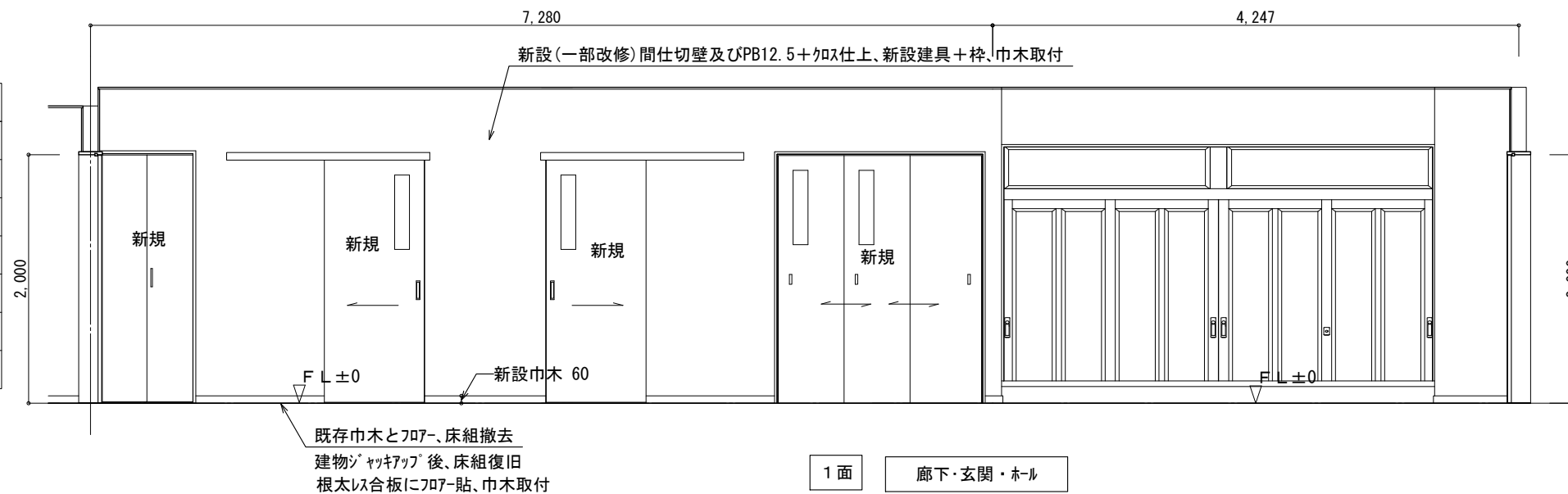
図面名	既存 展開図 (物入、廊下、玄関、ホール)
縮尺	1/50

図面 No.	A-25
--------	------

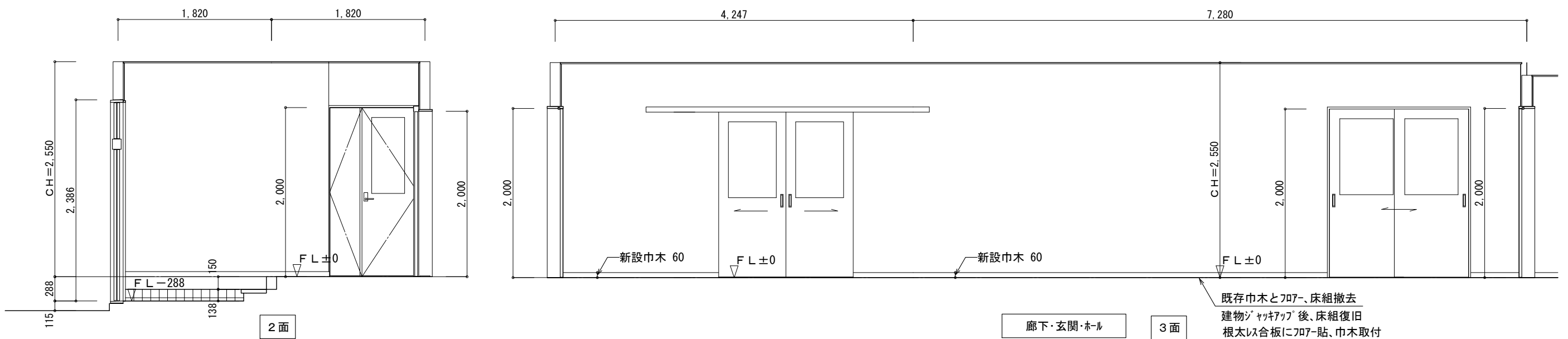
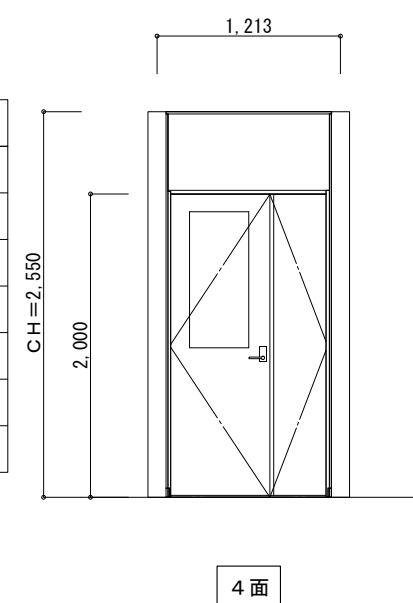
部屋名	物入
床	新設フローリング 合板 t=12
巾木	新設木製既製品
壁	ビニルクロス 貼り替え
腰壁	H300新設ビニルクロス 貼り
天井	既存化粧板
廻縁	既存既製品
備考	



部屋名	廊下・ホール
床	新設フローリング 合板 t=12
巾木	新設木製既製品
壁	ビニルクロス貼り替え
腰壁	
天井	既存化粧板
廻縁	既存既製品
備考	



部屋名	玄関
床	磁器質タイル 100×100
巾木	磁器質タイル 100×100
壁	ビニルクロス
腰壁	玄関巾木
天井	化粧板
廻縁	既製品
備考	下駄箱収納



工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事

備考

(株)池下建築設計
 事務所登録 宮城県 第21610219号
 宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3
 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ

管理者	池下 久幸 一級建築士 第280837号
設計者	池下 久幸 一級建築士 第280837号
担当者	
日付	

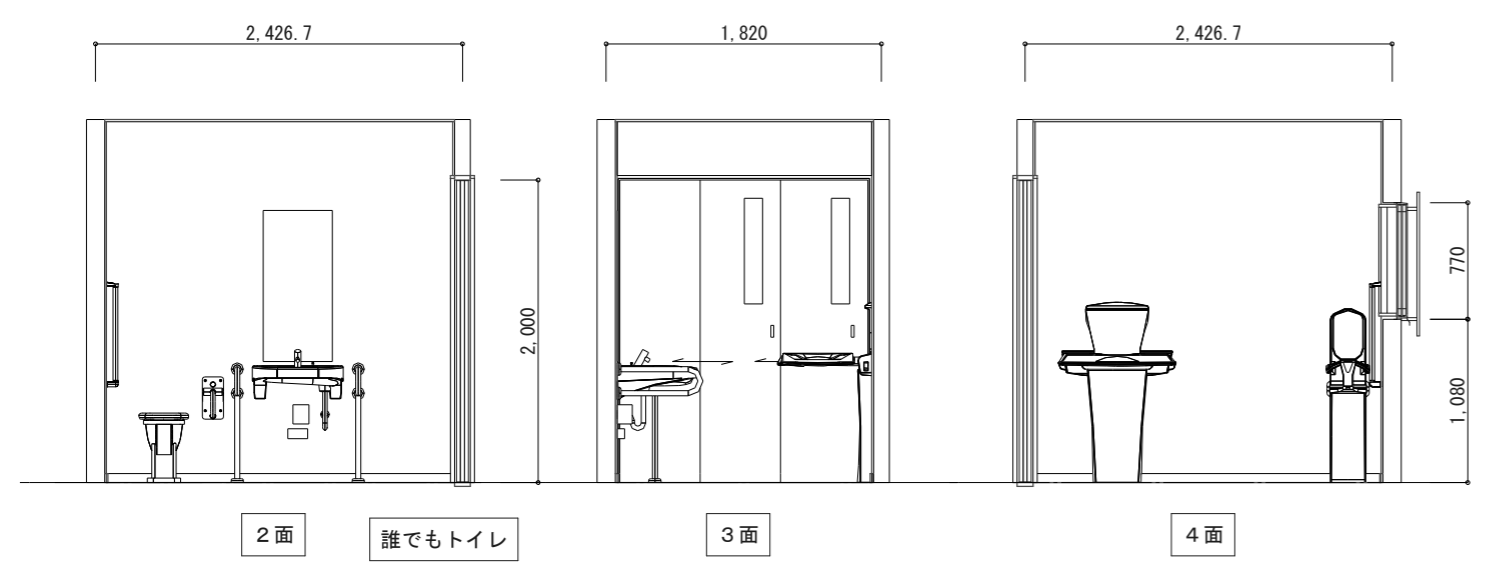
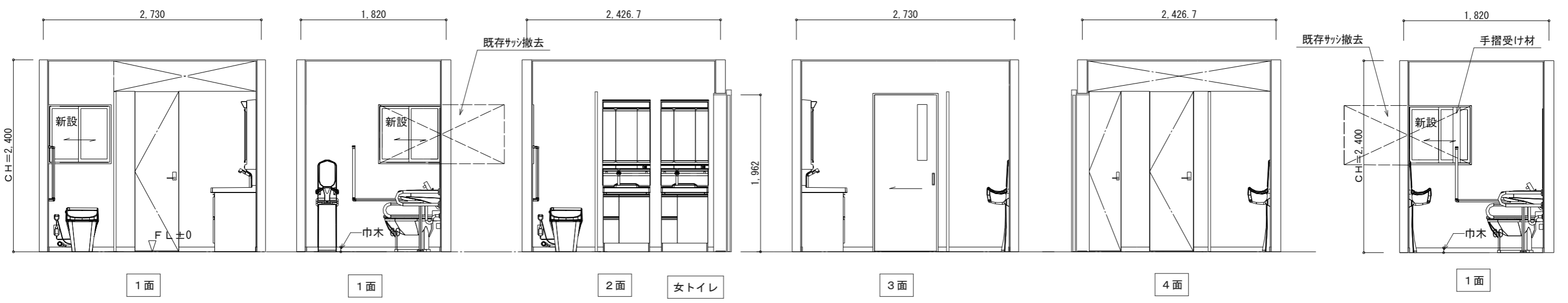
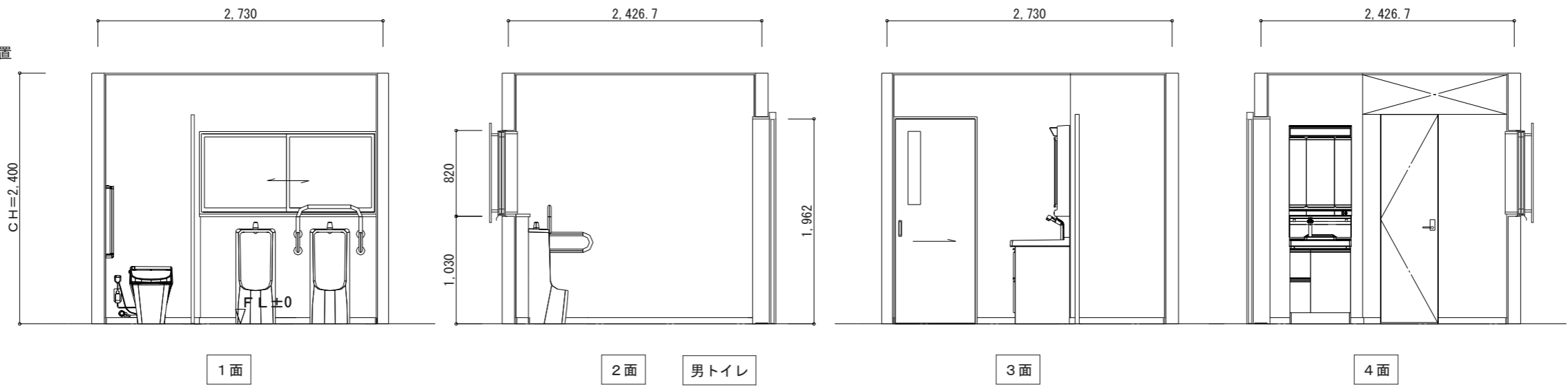
図面名 改修 展開図 (物入、廊下、玄関、ホール)

縮尺 1/50

図面 No. A-26

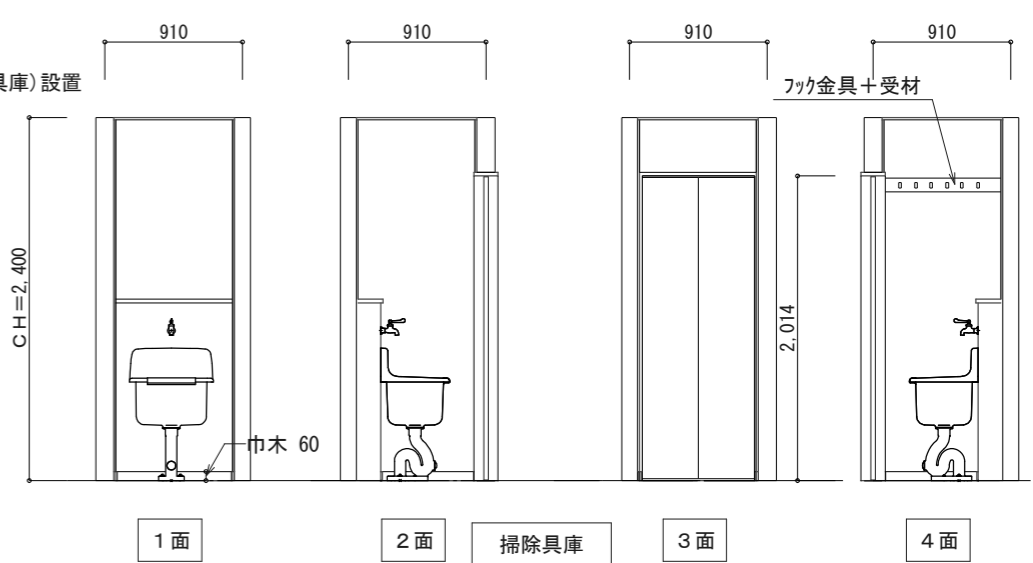
既存トイレ解体、新規各トイレ・掃除具庫設置

部屋名	男トイレ、女トイレ、誰でもトイレ
床	塩ビシート
巾木	ソフト巾木
壁	ビニルクロス
腰壁	
天井	ビニルクロス
廻縁	既製品
備考	

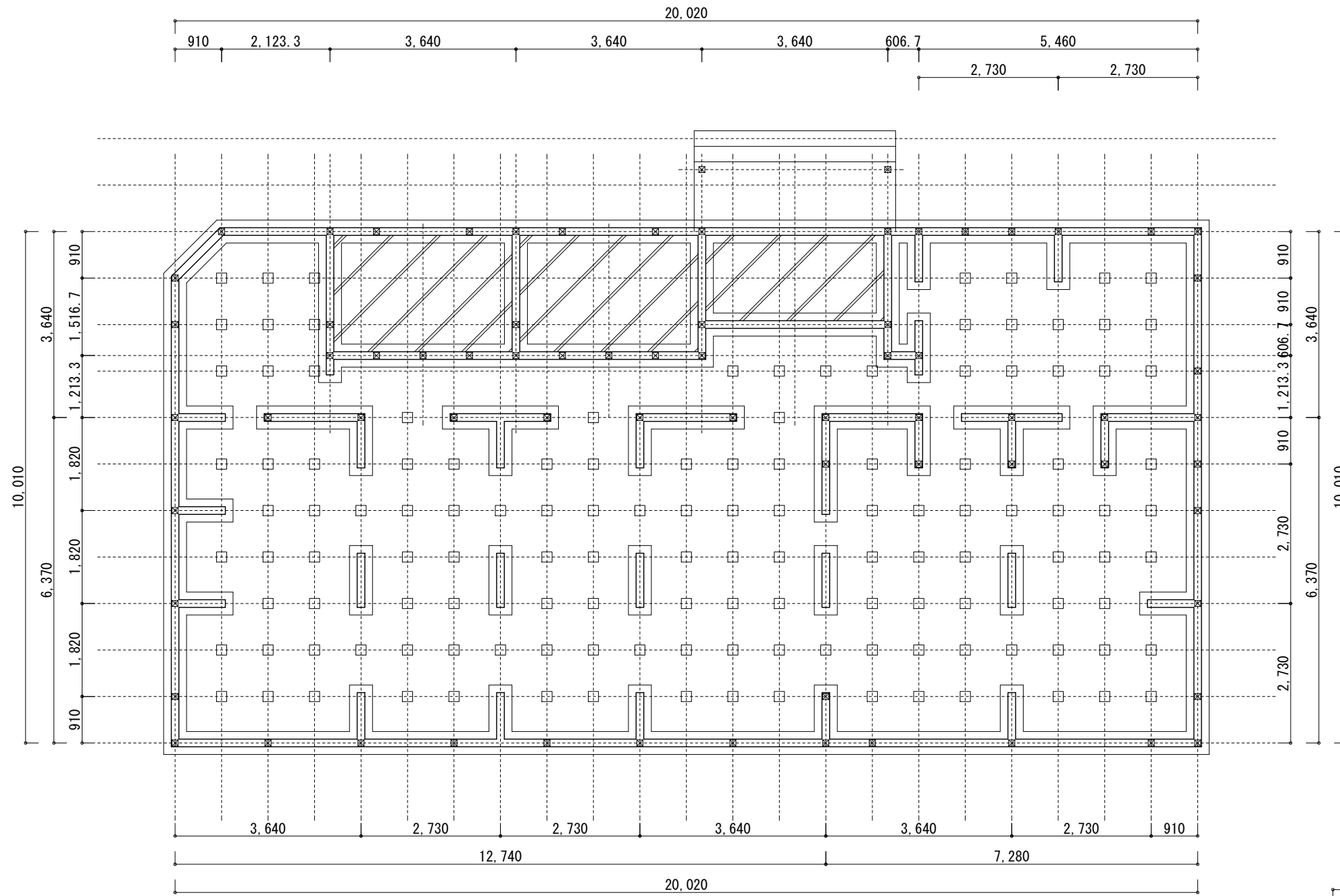


既存トイレ解体、新規各トイレ・SK室(掃除具庫)設置

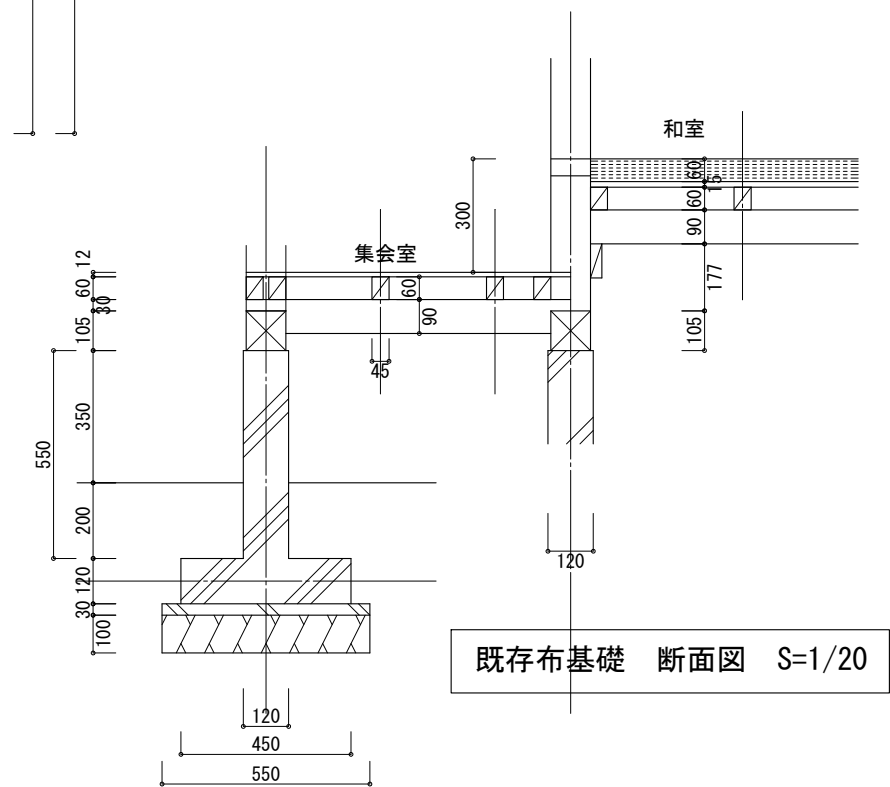
部屋名	SK室
床	塩ビシート
巾木	ソフト巾木
壁	ビニルクロス
腰壁	
天井	ビニルクロス
廻縁	既製品
備考	



工事名	令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 改修 展開図 (SK室、各トイレ)	図面 No. A-27
備考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/50	

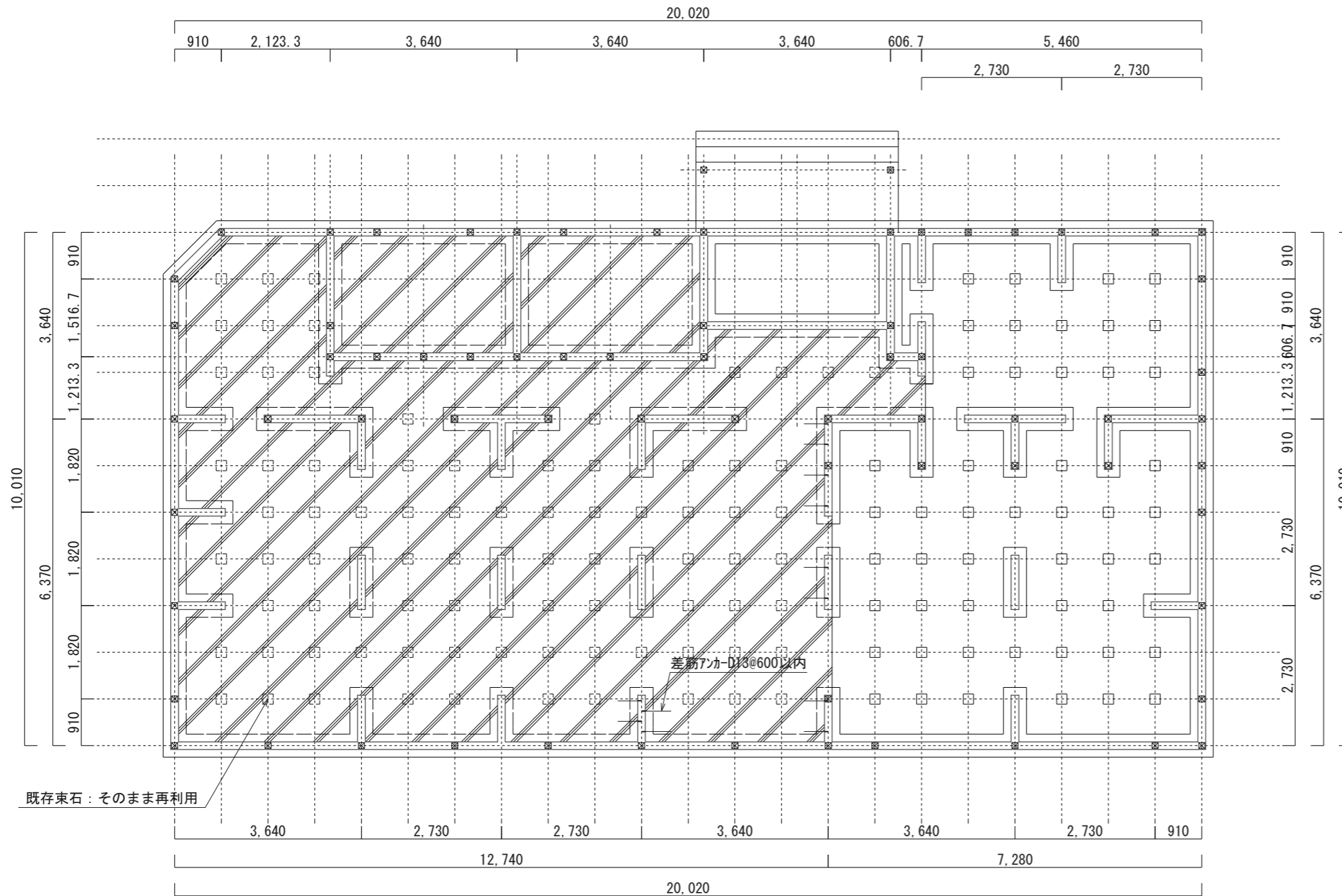
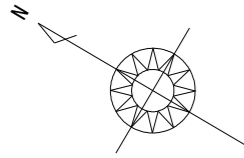


既存基礎伏図 S:1/100



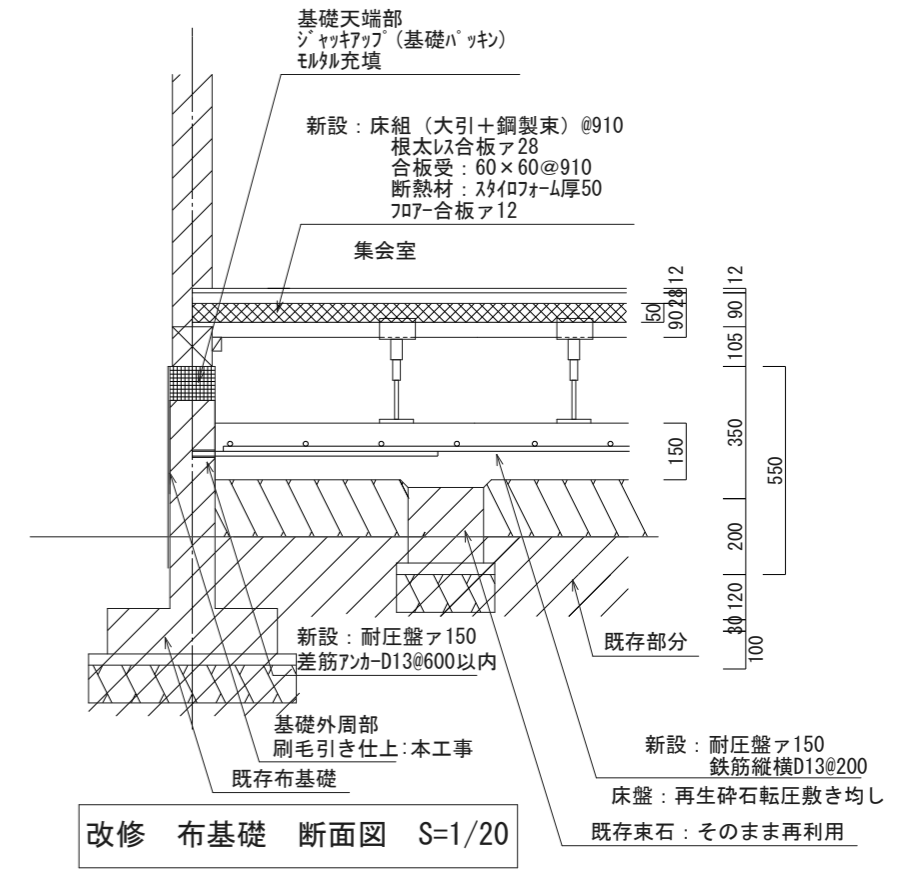
既存布基礎 断面図 S=1/20

工事名	令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 既存 基礎伏図	図面No. A-31
備考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/100、1/20	

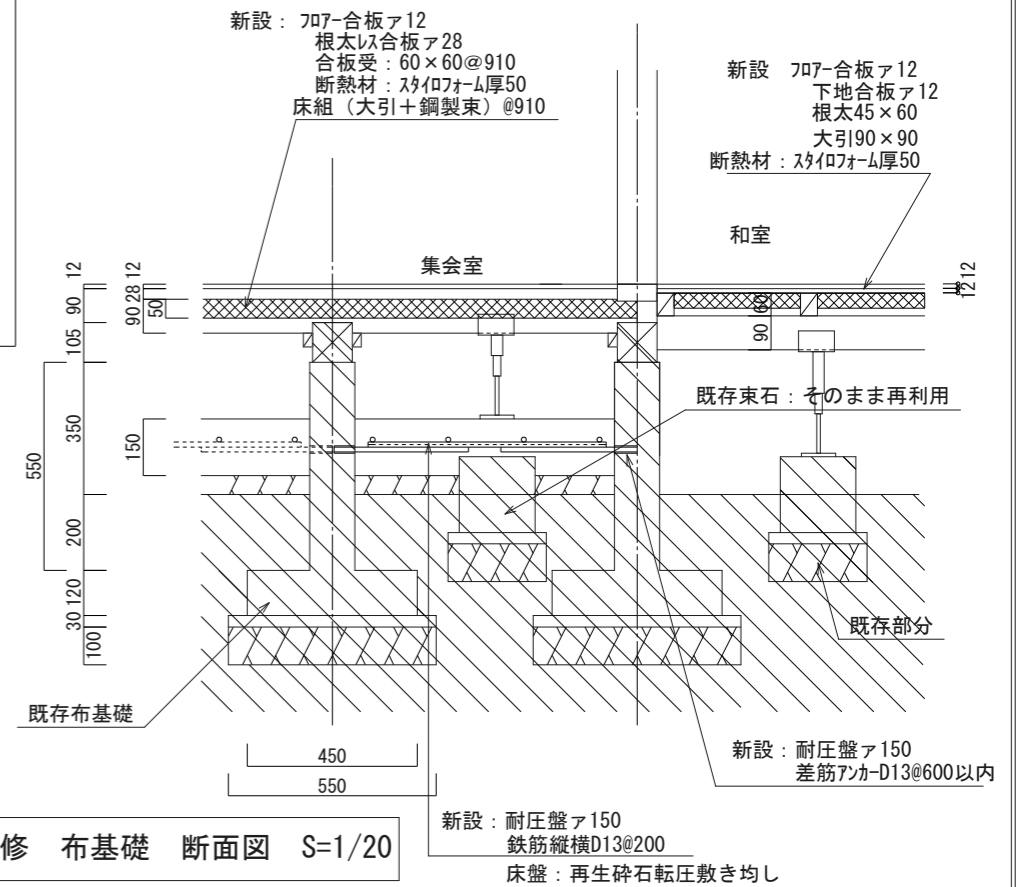


既存基礎伏図 S:1/100

特記仕様
 床下は、ポリシート(ア)0.1以上 重ね合せ250以上
 床レベルは地盤面を基準とする
 コンクリート強度: $F_c = 21N/mm^2$ 以上
 鉄筋: SD295A

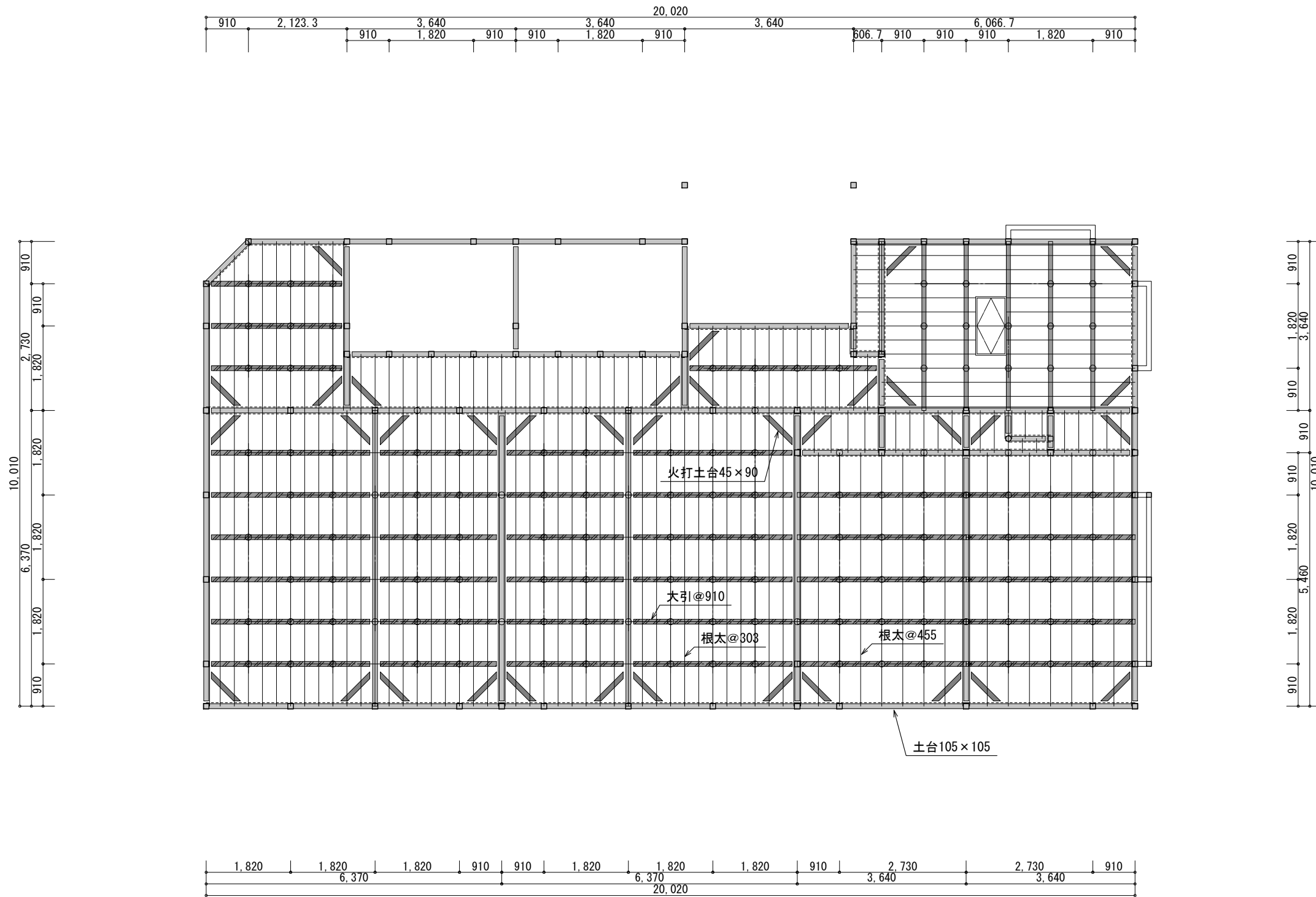


改修 布基礎 断面図 S=1/20



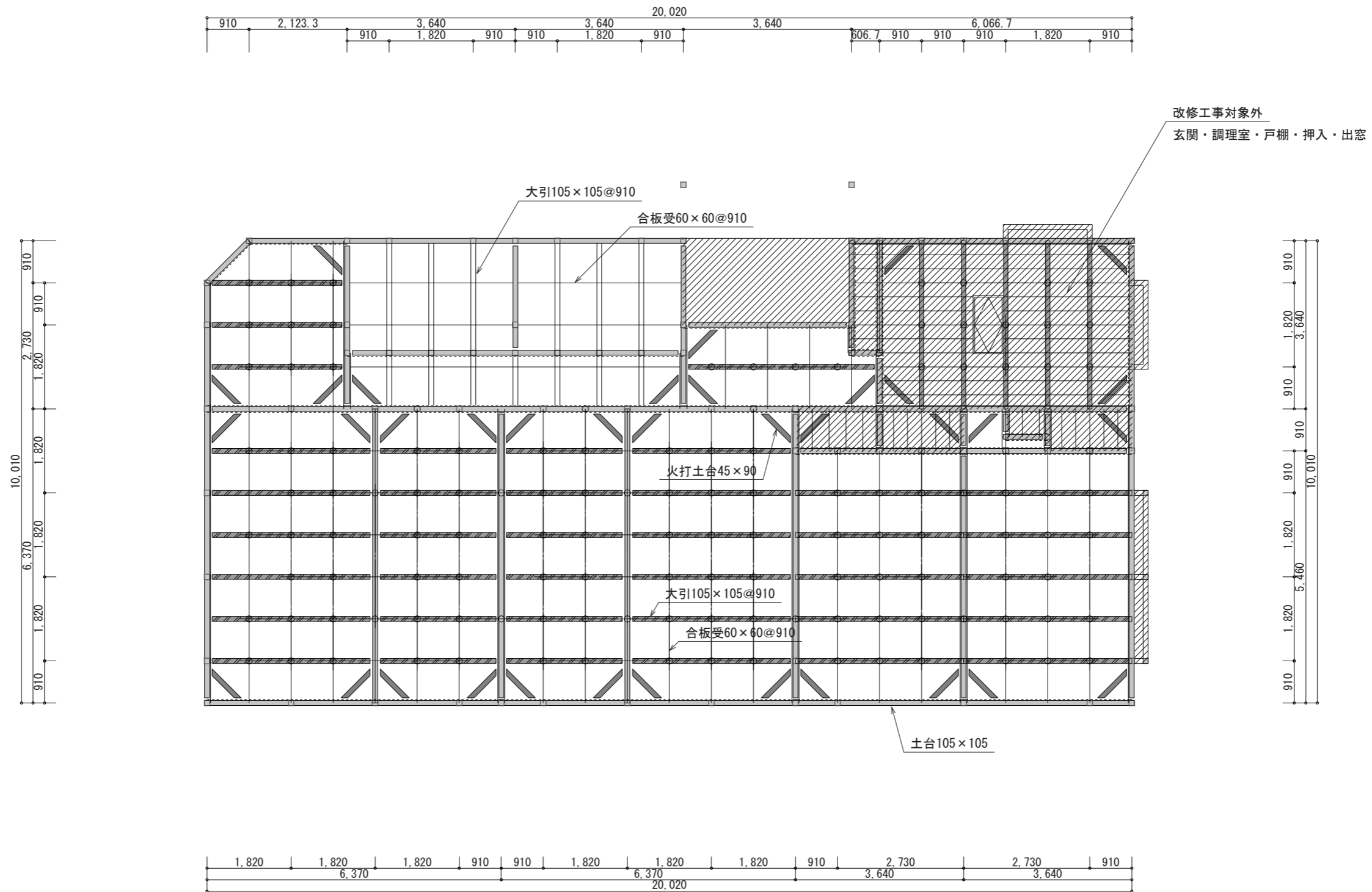
改修 布基礎 断面図 S=1/20

工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 改修 基礎伏図	図面 No. A-32
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/100、1/20	



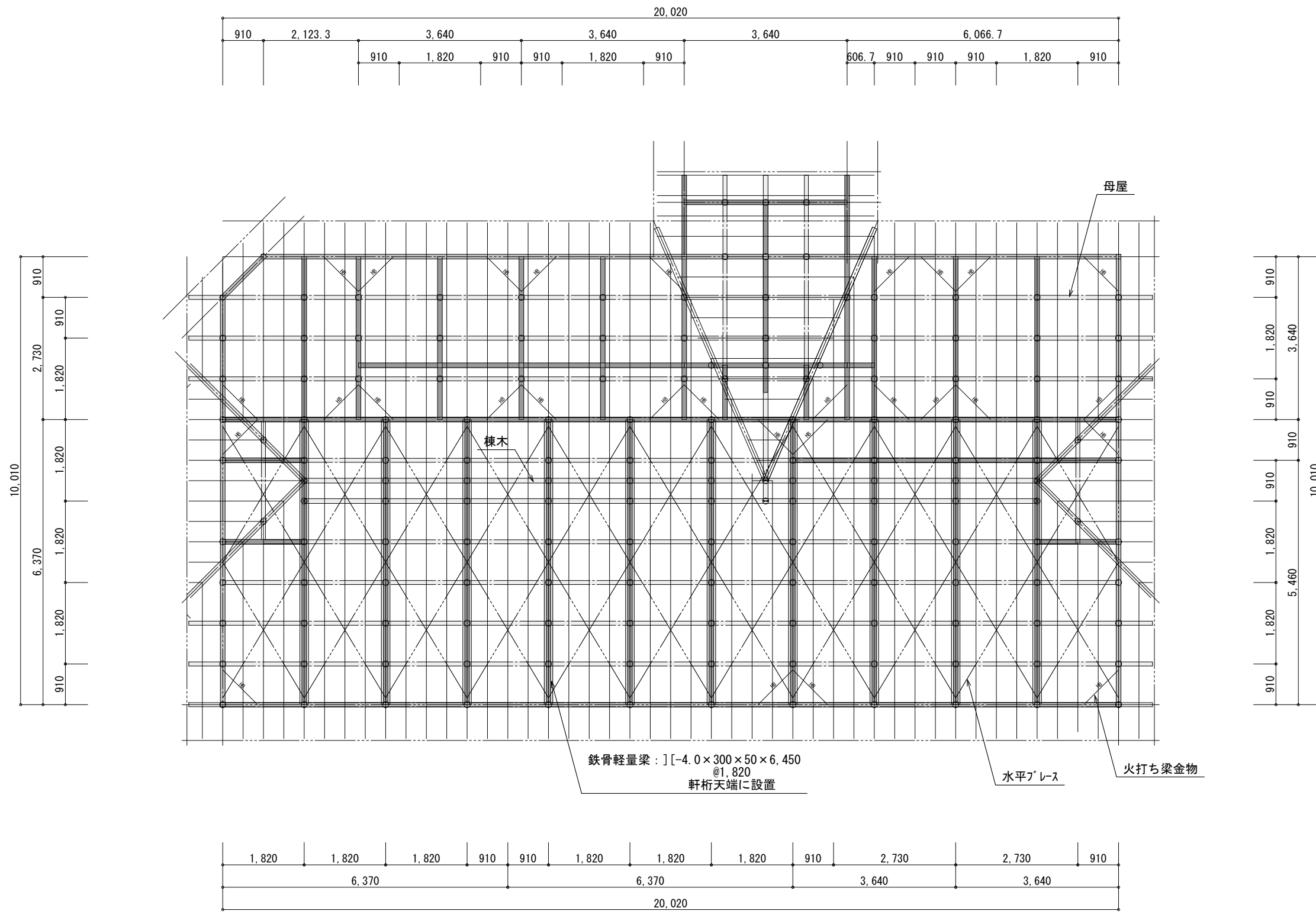
1階 床伏図 S:1/100

工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	管理者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	設計者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	担当者 	図面名 既存 床伏図	図面No. A-33
備考 	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ</small>	日付	日付	日付	縮尺 1/100	



1階 床伏図 S:1/100

工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	管理者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	設計者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	担当者 日付	図面名 改修 床伏図	図面No. A-34
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ</small>	日付	日付	日付	縮尺 1/100	

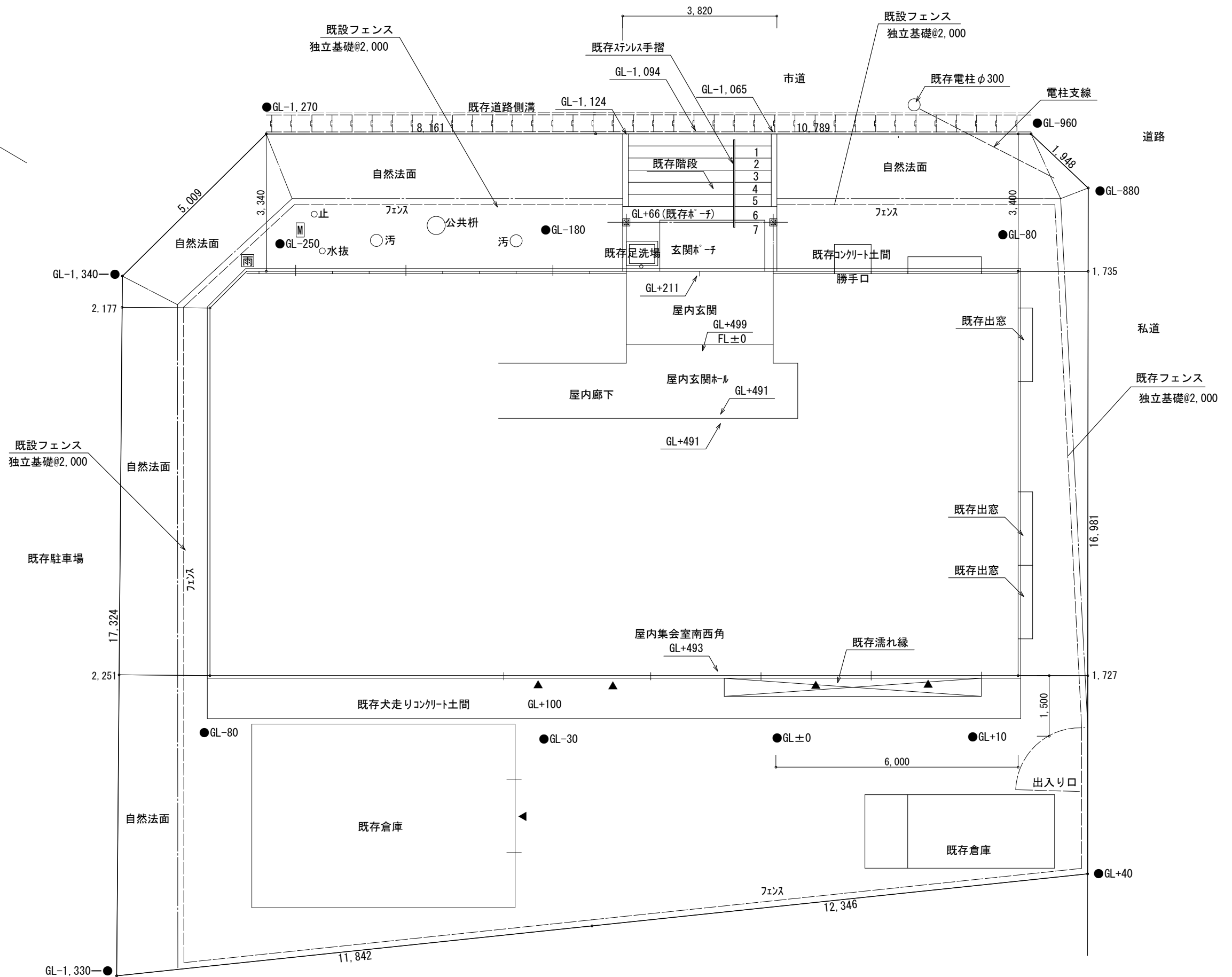
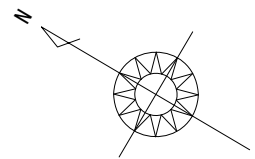


小屋伏図 S:1/100

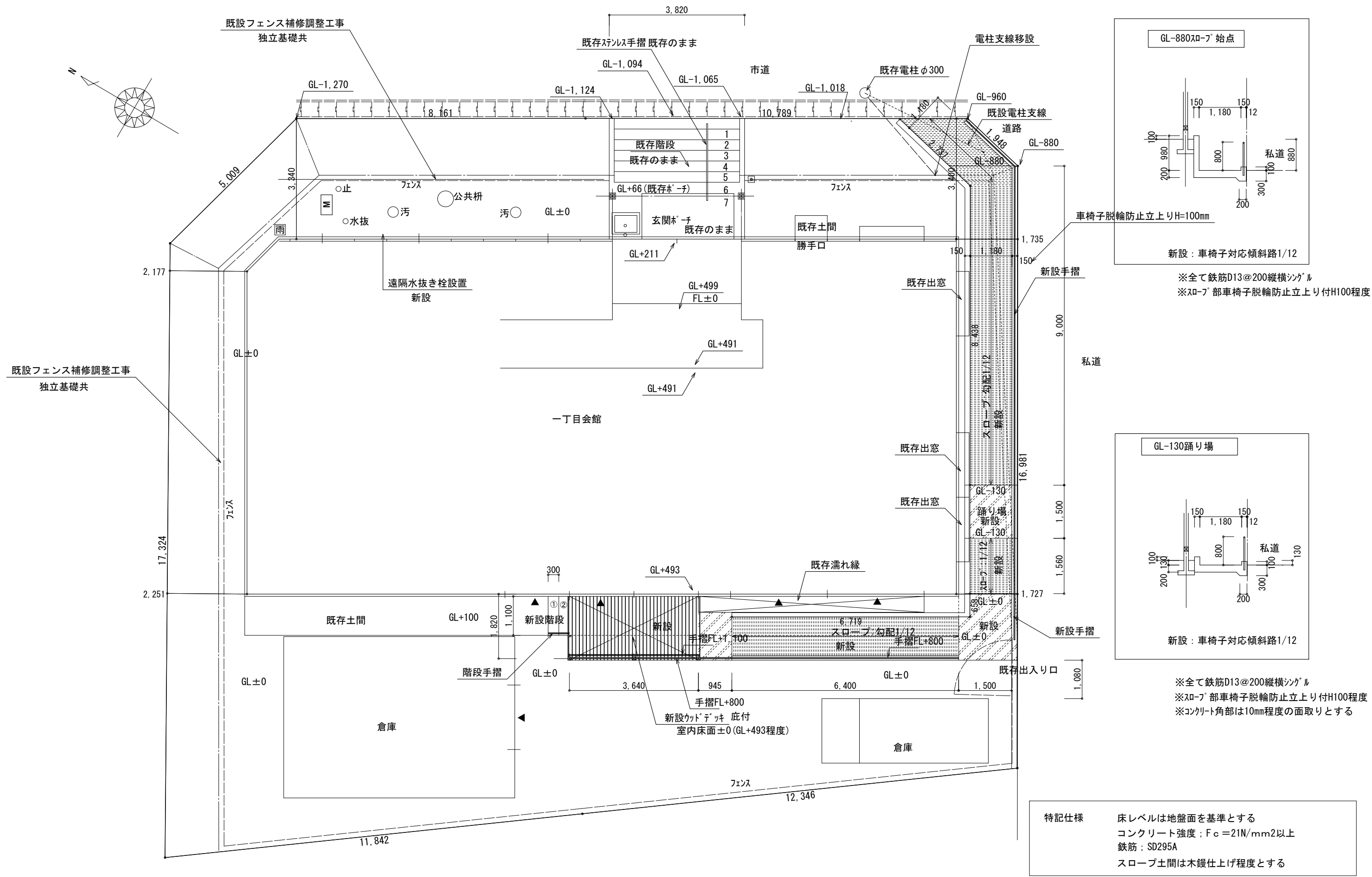
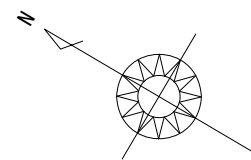
<p>工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事</p>	<p>(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号</p>	<p>管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号</p>	<p>設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号</p>	<p>担当者</p>	<p>図面名 既存 小屋伏図</p>	<p>図面No. A-35</p>
<p>備考</p>	<p>宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ</p>	<p>日付</p>	<p>日付</p>	<p>日付</p>	<p>縮尺 1/100</p>	

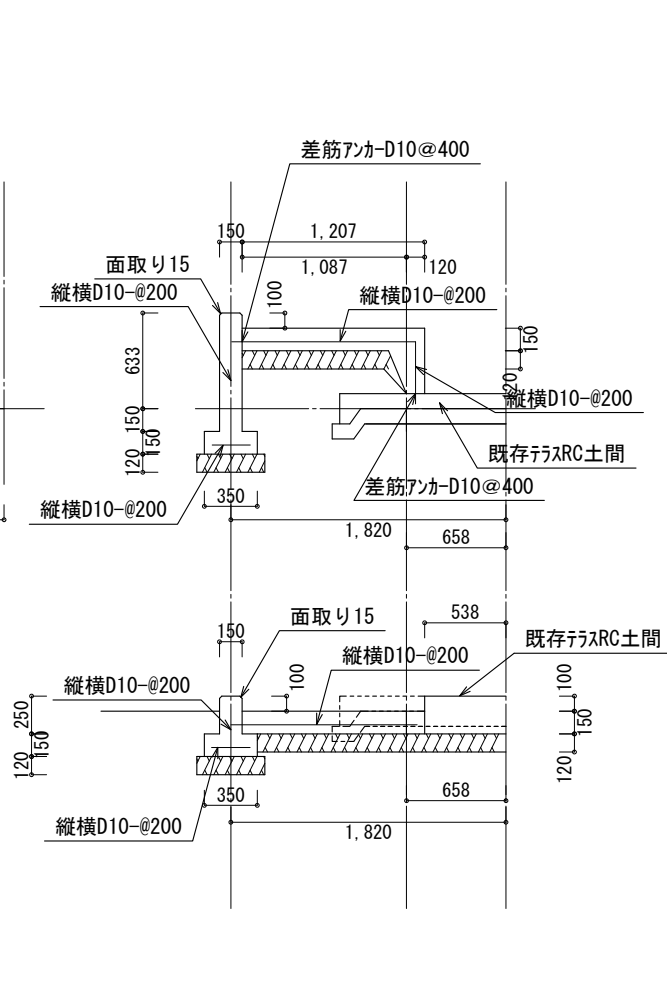
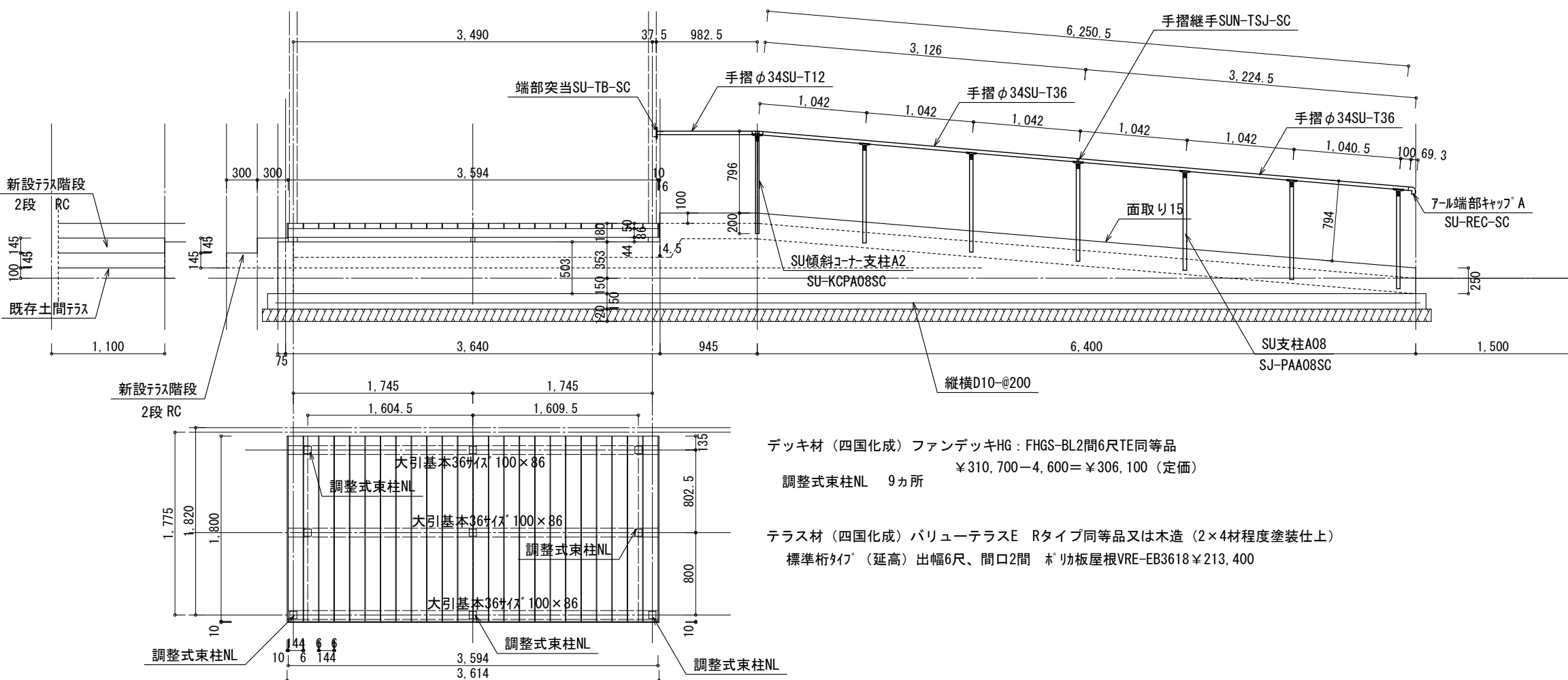
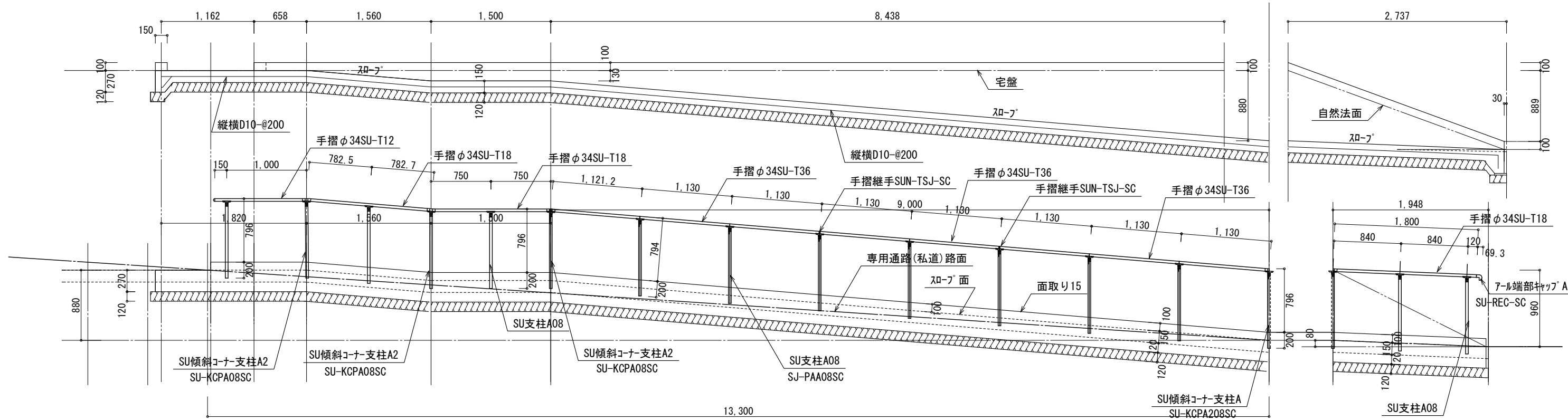
建築物解体工事特記仕様書【令和5年4月版】	防水工事	10. その他	2. 産業廃棄物広域認定制度の活用																																																																																																																							
<p>建築物解体工事特記仕様書【令和5年4月版】</p> <p>I 工事概要</p> <p>1 工事番号・名称 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事</p> <p>2 工事場所 富谷市ひより台一丁目23-1</p> <p>3 用途地域等 都市計画区域（内）外）用途地域（第一種低層住居専用地域）防火地域等（防火 準防火 指定なし 2条）その他の地域・地区（ ）</p> <p>4 主要用途 地区集会所</p> <p>5 敷地面積 462.23 m²</p> <p>6 工事の概要</p> <p>集会所各室床傾斜調整、段差解消の改修工事 屋外スロープ等による段差解消工事 敷地内既存工作物（外柵）の調整</p> <p>7 別途工事</p> <p>8 その他</p> <p>9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のみで構成する。 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書 ・ 電気設備工事特記仕様書 ・ 機械設備工事特記仕様書</p> <p>II 建築工事仕様</p> <p>1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)による。ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。 なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。</p> <p>2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の「」及び「<>」の表示番号は、それぞれ「解体共通仕様書」、「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>章 項 目 特 記 事 項</p> <p>1 ① 一般事項</p> <p>○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ○ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示</p> <p>2 ② 適用基準等</p> <p>○ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ○ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱 ○ 宮城県建築工事写真撮影要領(平成12年版)及び工事写真撮影ガイドブック</p> <p>3 ③ 工事実績情報(CORINS)の登録</p> <p>※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合） [1.1.4] 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない</p> <p>4 ④ 電気保安技術者</p> <p>・ 適用する ※ 適用しない [1.3.3]</p> <p>5 ⑤ 事故報告</p> <p>[1.3.8] 工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。</p> <p>6 技能士</p> <p>[1.6.2] ・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種（技能検定作業）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以下の該当工事</td> <td>・ 該当する作業がある以下の職種（作業）の全て</td> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>・ とび（とび作業）</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>・ 鉄筋施工（鉄筋組立作業）</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>・ 型枠施工（型枠工事作業）</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>・ とび（とび作業） ・ 鉄工（構造物鉄工作業）</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロック・処理バルコニー ・ 挿出成形セメント板工事</td> <td>・ ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ ALCパネル施工（ALCパネル工事作業）</td> </tr> </tbody> </table>	工事種目	技能検定職種（技能検定作業）	以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種（作業）の全て	仮設工事	・ とび（とび作業）	鉄筋工事	・ 鉄筋施工（鉄筋組立作業）	コンクリート工事	・ 型枠施工（型枠工事作業）	鉄骨工事	・ とび（とび作業） ・ 鉄工（構造物鉄工作業）	コンクリートブロック・処理バルコニー ・ 挿出成形セメント板工事	・ ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ ALCパネル施工（ALCパネル工事作業）	<p>⑦ 完成図等</p> <p>⑧ 完成写真</p> <p>⑨ 火災保険等</p> <p>2 ① 仮囲い</p> <p>仮</p> <p>② 騒音、防塵等の対策</p> <p>設</p> <p>③ 交通誘導員</p> <p>工</p> <p>④ 監督職員事務所</p> <p>⑤ 工事表示板</p> <p>事</p> <p>⑥ 工事用水</p> <p>⑦ 工事用電力</p> <p>⑧ 工事用通路</p> <p>事</p> <p>9. 足場等</p> <p>・ 防水施工（ ・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴムシート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルト防水工事作業 ・ FRP防水工事作業）</p> <p>石工事 ・ 石材施工（石張り作業）</p> <p>タイル工事 ・ タイル張り（タイル張り作業）</p> <p>木工事 ・ 建築大工（大工工事作業）</p> <p>屋根及びとい工事 ・ 建築板金（内外装板金作業） ・ かわらぶき（かわらぶき作業）</p> <p>金属工事 ・ 内装仕上施工（鋼製下地工事作業） ・ 建築板金（内外装板金作業） ・ バルコニー施工（金属バルコニー工事作業）</p> <p>左官工事 ・ 左官（左官作業）</p> <p>建具工事 ・ サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ ガラス施工（ガラス工事作業） ・ 自動ドア施工（自動ドア施工作業） ・ カーテンウォール施工（金属製カーテンウォール工事作業） ・ サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ ガラス施工（ガラス工事作業）</p> <p>塗装工事 ・ 塗装（建築塗装作業）</p> <p>内装工事 ・ 内装仕上施工（ ・ プラスチック系床仕上工事作業 ・ カーペット系床仕上作業 ・ 木質系床仕上工事作業 ・ ボード仕上工事作業） ・ 表装（壁装作業）</p> <p>排水工事 ・ 配管（建築配管作業）</p> <p>舗装工事 ・ 路面表示施工（ ・ 溶融バイントマトマカ工事作業 ・ 加熱バイントシマカ作業）</p> <p>植栽工事 ・ 造園（造園工事作業）</p> <p>当繕工事完成引渡要領（令和3年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課）により作成する。</p> <p>※ 白焼A4版折製本（黒表紙金文字入） 1部 ※ 白焼縮小（A3版）2つ折製本 1部 ※ 敷地の完成図面 JWM形式又はDXF形式のCADデータ及びPDFデータ CD2枚</p> <p>※ 作成する 宮城県建築工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原版（ネガ又は電子媒体）とともに監督職員に提出する。 なお、原版を電子媒体とする場合は、CD等で提出すること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>サイズ</th> <th>撮影箇所数</th> <th>部数</th> <th>提出様式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※カラー ・ 白黒</td> <td>※L ・ 2L ・ 六切り</td> <td>※宮城県写真 撮影要領の 完成写真枚数</td> <td>※1部 ・ 部</td> <td>※工用アルバムA4版 ポケット程度 ・ フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 作成しない</p> <p>工事事務物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ・ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手から工事事務物引渡しまで</p> <p>※ 設ける（位置、延長等は図示） ・ 万能鋼板 (H=) ・ 単管シート (H=) ・ 防音パネル (H=) ・ パネルゲート (W= H=) × 箇所 ・ シートゲート (W= H=) × 箇所 ・ 設け नाही</p> <p>※ 設ける（適用範囲、高さ等は図示） ・ 防音パネル ・ 防音シート ・ 養生シート ・ 設け नाही</p> <p>※ 配置する（日 × 人 = 人日） ・ 配置しない</p> <p>・ 設ける [2.3.1] ・ 既存建物内の一部を使用する。 ・ 構内に新設する（規模 m²程度） ・ 備え付ける備品（ ） ※ 設け नाही</p> <p>当繕工事における工事及びコスト表示要領（平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により設置する。 ※ 工事表示板 設置枚数 1枚 ・ 事業コスト表示板 設置枚数 枚 ※ 建設リサイクル法による標識を設置する。</p> <p>構内既存の施設 ※ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ・ 利用できない</p> <p>構内既存の施設 ※ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ・ 利用できない</p> <p>※ 指定しない ・ 指定する（図示）</p> <p>外部足場 ・ 設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲）<2.2.4> ・ とび（とび作業）<表2.2.1> ・ 設置しない ・ 設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲） ・ 設置しない</p>	分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式	※カラー ・ 白黒	※L ・ 2L ・ 六切り	※宮城県写真 撮影要領の 完成写真枚数	※1部 ・ 部	※工用アルバムA4版 ポケット程度 ・ フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)	<p>内部足場 ・ 設置する（ ・ ※脚立、足場板等） ・ 設置しない</p> <p>・ 材料、撤去材等の運搬方法 種別（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種） C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（ ）</p> <p>足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。</p> <p>・ 酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施錠できる小屋等に保管すること。 ・ 作業通路は、指定通路表示を行い、足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。 ・ 建物周辺は、粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。 ・ 工事に関係部分の出入の表示を行うこと。</p> <p>10. その他</p> <p>3. ① 解体工法</p> <p>② 施工計画書等</p> <p>[1.2.1~2]</p> <p>3. 杭</p> <p>杭の解体 ・ 行う（※杭頭から mまで ・ 全長） [3.9.2]</p> <p>杭の解体工法 ・ 引き抜き工法（ ・ 振動 ・ ケーシング ・ ） ・ 粉砕による解体</p> <p>4. 樹木等</p> <p>樹木の伐採伐根 ・ 行う（図示による） [3.11.1] 樹木の移植 ・ 行う（図示による）</p> <p>5. 地下埋設物の埋設配管</p> <p>地下埋設物及び埋設配管の解体 ・ 行う（図示による） [3.12.1]</p> <p>6. 解体後の整地</p> <p>解体後の埋戻し及び盛り土 [3.13.1] ○ 行う 埋戻し及び盛土の材料 (3.2.3)(表3.2.1) ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ○ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を現場内で破砕したも（粒径40mm以下）を使用する。 埋戻し範囲 ・ 図示による</p> <p>C種の場合 建設発生土受入れ量 m³ 発生場所 受入条件</p> <p>整地の高さ ・ 現状GL ・ 図示による</p> <p>⑦ 建設発生土の処理</p> <p>(3.2.5) ○ 構内指示の場所に敷きなす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。 ○ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地(km) 松江興業(18km) ・ 土壌汚染対策法に基づく特定有害物質の含有を調査する。 調査範囲及び項目 ※ 図示</p> <p>8. 有害物質含有調査</p> <p>4 1. 再資源化等</p> <p>[1.3.10] [4.4.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建設廃棄物の種類</th> <th>中間処理施設又は再資源化施設の名称等</th> <th>所在地(km)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート及び鉄からなる建設資材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アスファルト、コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・金属類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・小形二次電池</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>[4.4.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建設廃棄物の種類</th> <th>再資源化の有無</th> <th>再資源化施設の名称等</th> <th>所在地(km)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・蛍光ランプ</td> <td>・する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・HIDランプ</td> <td>・しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管・継手</td> <td>・する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガラス</td> <td>・しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>現場利用する再資源化された建設廃棄物 [4.4.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>利用する場所(箇所)等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート</td> <td>耐圧盤下部</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 鉄筋コンクリートを現地で破砕し、再生材クラッシャーラン(0~40)として利用する場合は、標準仕様書(表22.3.3)の再生材クラッシャーランによることとし、すりへり減量を50%以下にすること。</p>	建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地(km)	・コンクリート			・コンクリート及び鉄からなる建設資材			・アスファルト、コンクリート			・木材			・金属類			・小形二次電池			建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等	所在地(km)	・蛍光ランプ	・する			・HIDランプ	・しない			・硬質ポリ塩化ビニル管・継手	・する			・ガラス	・しない			種類	利用する場所(箇所)等	コンクリート	耐圧盤下部	<p>[4.4.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>所在地等(km)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 最終処分</p> <p>[4.4.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名称等</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・（管理型）（遮断型）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名称等</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>1~3の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること</p> <p>[4.5.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理施設名称等</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・CCA処理木材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><対象となる石膏ボード> 小名浜吉野石膏(株) いわき工場 昭和48年10月~平成9年4月の間に製造されたもの 平成4年10月~平成9年4月の間に製造されたもの 日東石膏ボード(株) 八戸工場</p> <p>[5.1.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>仕様等(型式、厚さ、数量)</th> <th>調査の範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 ・ 工事対象範囲</td> </tr> </tbody> </table> <p>[5.1.3][1.2.2]</p> <p>※ 種類別に具体的な処理計画を定め施工計画書に記載する。 特別管理産業廃棄物等の処理計画 特別管理産業廃棄物の種類 処分場の名称 所在地等(km) ・ 廃石綿</p> <p>3. PCBを含む機器類等</p> <p>PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器 ・ 有(数量は図示) [5.4.1] ・ 無</p> <p>PCB含有シーリング材 ・ 有(施工範囲は図示) [5.4.1] ・ 無</p> <p>PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないよう適切な容器に納めて適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員を通じて保管事業者に引き渡す。</p> <p>[7.3.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回収又は処分を行う副産物の種類</th> <th>対象機器名称</th> <th>回収業者又は処分場の名称等</th> <th>保管場所・処分場の所在地等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フロン ・ハロン ・イオン化式感知器 ・六フッ化硫黄(SF6)ガス</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	所在地等(km)			種類	受入施設名称等	所在地(Km)	備考					種類	受入施設名称等	所在地(Km)	備考					種類	処理施設名称等	所在地(Km)	備考	・CCA処理木材				・ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード				・				材 料 名	仕様等(型式、厚さ、数量)	調査の範囲			※ 図示 ・ 工事対象範囲	回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等	・フロン ・ハロン ・イオン化式感知器 ・六フッ化硫黄(SF6)ガス			
工事種目	技能検定職種（技能検定作業）																																																																																																																									
以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種（作業）の全て																																																																																																																									
仮設工事	・ とび（とび作業）																																																																																																																									
鉄筋工事	・ 鉄筋施工（鉄筋組立作業）																																																																																																																									
コンクリート工事	・ 型枠施工（型枠工事作業）																																																																																																																									
鉄骨工事	・ とび（とび作業） ・ 鉄工（構造物鉄工作業）																																																																																																																									
コンクリートブロック・処理バルコニー ・ 挿出成形セメント板工事	・ ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ ALCパネル施工（ALCパネル工事作業）																																																																																																																									
分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式																																																																																																																						
※カラー ・ 白黒	※L ・ 2L ・ 六切り	※宮城県写真 撮影要領の 完成写真枚数	※1部 ・ 部	※工用アルバムA4版 ポケット程度 ・ フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)																																																																																																																						
建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地(km)																																																																																																																								
・コンクリート																																																																																																																										
・コンクリート及び鉄からなる建設資材																																																																																																																										
・アスファルト、コンクリート																																																																																																																										
・木材																																																																																																																										
・金属類																																																																																																																										
・小形二次電池																																																																																																																										
建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等	所在地(km)																																																																																																																							
・蛍光ランプ	・する																																																																																																																									
・HIDランプ	・しない																																																																																																																									
・硬質ポリ塩化ビニル管・継手	・する																																																																																																																									
・ガラス	・しない																																																																																																																									
種類	利用する場所(箇所)等																																																																																																																									
コンクリート	耐圧盤下部																																																																																																																									
種類	所在地等(km)																																																																																																																									
種類	受入施設名称等	所在地(Km)	備考																																																																																																																							
種類	受入施設名称等	所在地(Km)	備考																																																																																																																							
種類	処理施設名称等	所在地(Km)	備考																																																																																																																							
・CCA処理木材																																																																																																																										
・ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード																																																																																																																										
・																																																																																																																										
材 料 名	仕様等(型式、厚さ、数量)	調査の範囲																																																																																																																								
		※ 図示 ・ 工事対象範囲																																																																																																																								
回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等																																																																																																																							
・フロン ・ハロン ・イオン化式感知器 ・六フッ化硫黄(SF6)ガス																																																																																																																										
		設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工事名称	全業	図面 No																																																																																																																			
		(株) 池下建築設計			池下 久幸	令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	A-36																																																																																																																			
		事務所登録 宮城県 第21610219号			一級建築士 第280837号																																																																																																																					
						図面名称	特記仕様書(1)																																																																																																																			

6 ア ス ベ ス ト 含 有 建 材 の 除 去	1. 石綿含有建材の除去工事	<p>施工調査</p> <p>※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲（※施工範囲全て 図示） 貸与資料（ ）</p> <p>・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロシドライト、トレモライト 分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th>定性分析方法</th> <th>定量分析方法</th> </tr> <tr> <th>JIS A 1481 または JIS A 1481-2</th> <th>JIS A1481-3または JIS A 1481-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示</p> <p>・石綿粉じん濃度測定 <9.1.1> 測定点 測定時期、場所及び測定箇所数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td rowspan="3">処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定4</td> <td rowspan="3">処理作業中</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定5</td> <td>集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）</td> <td>出口吹出し風速 1m/sec以下の位置</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定6</td> <td>処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後（シート養生中）</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>処理作業後シート</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定9</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 ・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定4</td> <td rowspan="2">粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量(L/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定4</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td rowspan="2">47</td> <td rowspan="2">10</td> <td rowspan="2">120</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹き付け材の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 ※9.1.3(2)(7)による 除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 固形化 除去した石綿含有吹き付け材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 破碎して除去 手ばらし 除去した石綿含有保温剤等の飛散防止 ※湿潤化 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 図示 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せっこうボード ※埋立処分（管理型最終処分場） ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 図示</p>	材 料 名	定性分析方法	定量分析方法	JIS A 1481 または JIS A 1481-2	JIS A1481-3または JIS A 1481-4	・	箇所	箇所	・	箇所	箇所	・	箇所	箇所	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 点	・	測定2	調査対象室外部の付近	・計 点	・	測定3	処理作業室内	・計 点	・	測定4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	・計 点	・	測定5	集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置	・	測定6	処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点	・	測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計 点	・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計 点	・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計 点	測定名称	測定方法	・測定4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	・測定5	測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)	・測定4	25	5	30	・測定5	47	10	120	・測定	・測定	47	10	240	・測定												
	材 料 名	定性分析方法		定量分析方法																																																																																													
		JIS A 1481 または JIS A 1481-2	JIS A1481-3または JIS A 1481-4																																																																																														
	・	箇所	箇所																																																																																														
	・	箇所	箇所																																																																																														
	・	箇所	箇所																																																																																														
	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数																																																																																												
	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 点																																																																																												
	・	測定2		調査対象室外部の付近	・計 点																																																																																												
	・	測定3		処理作業室内	・計 点																																																																																												
・	測定4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	・計 点																																																																																													
・	測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置																																																																																													
・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点																																																																																													
・	測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計 点																																																																																													
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計 点																																																																																													
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計 点																																																																																													
測定名称	測定方法																																																																																																
・測定4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																
・測定5																																																																																																	
測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)																																																																																														
・測定4	25	5	30																																																																																														
・測定5	47	10	120																																																																																														
・測定																																																																																																	
・測定	47	10	240																																																																																														
・測定																																																																																																	



工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	管理者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	設計者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	担当者 	図面名 既存 外構図	図面 No. A-40
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ</small>	日付	日付	日付	縮尺 1/100	





工事名 令和4年度 ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 新設 外構詳細図	図面No. A-42
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/30	

電気設備改修工事特記仕様書

I. 工事概要

- 1. 工事名 令和4年度 ひより台一丁目会館改修工事
2. 工事場所 富谷市 ひより台一丁目 地内
3. 建物概要

Table with 7 columns: 建物名称, 構造, 階数, 延べ面積(m2), 建築面積(m2), 消防法施行令別表第一による用途区分, 備考. Row 1: ひより台一丁目会館, 木造平屋建て, 1階, 199.98m2, 204.40m2, (1)-口.

4. 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

Table with 4 columns: 建物別及び工事種目, 屋外, 工事種別, 備考. Lists various equipment types like 電灯設備, 動力設備, etc.

- 5. 指定部分 ※ なし ・ あり (工期: 令和 年 月 日) (対象部分:)
6. 概成工期 ※ なし ・ あり (工事工期より 日前)

II. 特記仕様書

1. 一般事項

(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編、令和4年版）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編、令和4年版）、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編、令和4年版）」による。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は（ / ）図、建築工事の特記仕様書は（ / ）図による。

2. 特記事項

- (1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と⊗印の付いた場合は、共に適用するものとする。

Table with 2 columns: 章, 項目. Row 1: 適用基準等, 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ※ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱(最新版) ※ 宮繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成31年版) ...

一般共通事項

- ⑥ 施工計画書・施工図等
⑦ 手続き
⑧ 施工条件
⑨ 工事の一時中止
⑩ 工事実績情報の登録(CORINS)
⑪ 事故報告
⑫ 電気保安技術者
⑬ 工事に用電力、水、他
14. 工事に用仮設備
15. 監督職員事務所
16. 足場、さん橋類
17. 工事表示板
18. 工事に用通路
⑲ 発生材の処理等

⑥ 施工計画書・施工図等 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。工事の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員との承諾を受ける。

⑦ 手続き 工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上、受注者が遅滞なく処理する。なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。

⑧ 施工条件 別添の施工条件明示書による。

⑨ 工事の一時中止 工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、工事の続行に備え中止期間中における工事現場の管理計画書を提出すること。本計画書には、中止時点における工事の出来高、搬入材料及び建設機械器具等の調査、中止期間中の体制及び工事現場の維持管理に関する記事を記載すること。

⑩ 工事実績情報の登録(CORINS) 請負額が500万円以上の場合は、工事実績情報を登録する。受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員との確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を、監督職員に提出すること。

⑪ 事故報告 施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。

⑫ 電気保安技術者 電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。

⑬ 工事に用電力、水、他 本工事に必要な工事に用電力、水などの費用は引渡まですべて受注者の負担とする。

14. 工事に用仮設備 構内につくることが ※ できる ・ できない

15. 監督職員事務所 ※ 設けない ・ 設ける(号・・・建築工事)

16. 足場、さん橋類 ・ 別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。
なお、枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月改訂)によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。

17. 工事表示板 ※ 設置する 設置枚数 1枚
宮繕工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定)により設置する。
・ 設置しない

18. 工事に用通路 ※ 指定しない ・ 指定する(図示)

⑲ 発生材の処理
発生材の処理
・ 引渡しを要するもの ()
・ 特別管理産業廃棄物 (・ PCB使用機器)
受入施設名・所在地 :
・ 現場において再利用を図るもの ()
・ 再資源化を図るもの

Table with 4 columns: 種類, 受入施設名, 所在地(km), 備考. Lists waste disposal details.

・ その他安定型廃棄物 ()
受入施設名・所在地 :
・ その他管理型廃棄物 ()
受入施設名・所在地 :
PCBを含有する機器等については飛散、流出がないように適切な場所に保管し、工事完了後監督職員に引き渡す。

※ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構外搬出

20. 残土処理
21. 耐震施工
耐震施工における設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」((独) 建築研究所監修) による。本工事の施設分類は (・ 特定の施設 ・ 一般の施設) で地域係数は1とし、設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお、() 内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

Table with 5 columns: 設置場所, 設計用標準震度, 特定の施設, 一般の施設. Rows for 上層階, 中層階, 一階及び地下層.

重要機器類
・ 配電盤 ・ 発電装置 ・ UPS装置 ・ 直流電源装置
・ 交換機 ・ 受信機(自立型) ・ 中央監視装置 ・ 情報通信ラック
重量が100kg以下の軽量な機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く)においても、耐震を考慮し、据付等を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。

22. 風圧加重 ※ 風速60m/s ・ m/s
・ 雷保護設備受雷部 ・ 照明ポール・基礎 ・ テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト

Table with 3 columns: 池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号, 工事名称 令和4年度 ひより台一丁目会館改修工事, 図面番号
設計 池下久幸(一級建築士) 第280837号, 図面名称 電気設備改修工事特記仕様書①, E-1

23. 他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合、「各工事の工事区分表」による。																																																																																				
24. 保温、結露防止	外部に面する壁、天井でF P板（スタイロホーム等）打込み箇所に取り付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止処理を行う。																																																																																				
25. 電線類	本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。																																																																																				
26. 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は、P F管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。																																																																																				
27. 二種金属製可とう管	露出箇所 いんべい箇所	・ ビニル被覆あり ・ ビニル被覆なし ・ ビニル被覆あり ・ ビニル被覆なし																																																																																			
28. 電線本数、管路など	分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受け変更してもさしつかえない。																																																																																				
29. インサート	鋼鉄製とする。なお、床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。																																																																																				
30. 呼び線	長さ1m以上の通線しない電線管には、1. 2mm以上のビニル被覆鉄線を通線する。																																																																																				
31. フラッシュプレート	図面に特記なき場合、（ ※ 金属製（ステンレス・新金属も含む） ・ 樹脂製 ）とする。																																																																																				
32. フロアプレート・ベース	※ 水平高低調節付（空転防止リング付） ・ 銅合金製 ・ アルミ合金製																																																																																				
33. ハンドホール蓋	県章およびチェーン（ステンレス製）付のものとする。																																																																																				
34. 支持金物、固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また、振動をとまなう機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。																																																																																				
35. あと施工アンカー	施工方法 性能・施工確認	・ 接着系（ ※ 有機系 ・ 接着剤 ） ・ 金属拡張系（ ※ 本体打込式 ・ ） ※ 行わない ・ 行う																																																																																			
36. 接地極の種類・表示等	接地極は図面に特記なき場合、下表による。なお、E Bの長さは1, 5 0 0mmとする。 ただし、D=1 0は1, 0 0 0mm, W=3 0は1, 2 0 0mmとする。 装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。																																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>接 地 の 種 別</th> <th>記 号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接地極の規格、数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雷保護設備用接地</td> <td>E L A</td> <td>Ω以下</td> <td>E P × 2</td> </tr> <tr> <td>雷保護設備用接地</td> <td>E L A</td> <td>Ω以下</td> <td>E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 連一 組</td> </tr> <tr> <td>共同接地</td> <td>E A ・ E D ・ E L H</td> <td>1 0 Ω以下</td> <td>E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組</td> </tr> <tr> <td>共同接地</td> <td>E A ・ E C ・ E D</td> <td>1 0 Ω以下</td> <td>E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組</td> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>E A</td> <td>1 0 Ω以下</td> <td>E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>E B</td> <td>Ω以下</td> <td>E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 2</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>E C</td> <td>1 0 Ω以下</td> <td>E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組</td> </tr> <tr> <td>D種</td> <td>E D</td> <td>1 0 0 Ω以下</td> <td>E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>構内交換機（陽極）用</td> <td>E t</td> <td>Ω以下</td> <td>E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 組</td> </tr> <tr> <td>本配線盤の保安装置</td> <td>E A t</td> <td>1 0 Ω以下</td> <td>E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組</td> </tr> <tr> <td>電話引込口の保安器</td> <td>E D t</td> <td>1 0 0 Ω以下</td> <td>E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 1</td> </tr> <tr> <td>拡声増幅器</td> <td>E D a</td> <td>1 0 0 Ω以下</td> <td>E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 1</td> </tr> <tr> <td>防犯装置用</td> <td>E S</td> <td>Ω以下</td> <td>E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 組</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定用</td> <td>E o</td> <td>—</td> <td>E B (D = 1 0 又は W = 3 0) × 1</td> </tr> <tr> <td>避雷器用（低圧用）</td> <td>E L L</td> <td>1 0 Ω以下</td> <td>E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組</td> </tr> <tr> <td>避雷器用（高圧用）</td> <td>E L H</td> <td>1 0 Ω以下</td> <td>E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組</td> </tr> <tr> <td>避雷器用（モデム用）</td> <td>E M D</td> <td>1 0 0 Ω以下</td> <td>E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 1</td> </tr> <tr> <td>構造体接地</td> <td></td> <td></td> <td>建築構造体利用（通信用も含む）</td> </tr> </tbody> </table>	接 地 の 種 別	記 号	接地抵抗値	接地極の規格、数量	雷保護設備用接地	E L A	Ω以下	E P × 2	雷保護設備用接地	E L A	Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 連一 組	共同接地	E A ・ E D ・ E L H	1 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組	共同接地	E A ・ E C ・ E D	1 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組	A種	E A	1 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組	B種	E B	Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 2	C種	E C	1 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組	D種	E D	1 0 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 1					構内交換機（陽極）用	E t	Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 組	本配線盤の保安装置	E A t	1 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組	電話引込口の保安器	E D t	1 0 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 1	拡声増幅器	E D a	1 0 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 1	防犯装置用	E S	Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 組					測定用	E o	—	E B (D = 1 0 又は W = 3 0) × 1	避雷器用（低圧用）	E L L	1 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組	避雷器用（高圧用）	E L H	1 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組	避雷器用（モデム用）	E M D	1 0 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 1	構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）
接 地 の 種 別	記 号	接地抵抗値	接地極の規格、数量																																																																																		
雷保護設備用接地	E L A	Ω以下	E P × 2																																																																																		
雷保護設備用接地	E L A	Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 連一 組																																																																																		
共同接地	E A ・ E D ・ E L H	1 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組																																																																																		
共同接地	E A ・ E C ・ E D	1 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組																																																																																		
A種	E A	1 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組																																																																																		
B種	E B	Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 2																																																																																		
C種	E C	1 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組																																																																																		
D種	E D	1 0 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 1																																																																																		
構内交換機（陽極）用	E t	Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 組																																																																																		
本配線盤の保安装置	E A t	1 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組																																																																																		
電話引込口の保安器	E D t	1 0 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 1																																																																																		
拡声増幅器	E D a	1 0 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 1																																																																																		
防犯装置用	E S	Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 組																																																																																		
測定用	E o	—	E B (D = 1 0 又は W = 3 0) × 1																																																																																		
避雷器用（低圧用）	E L L	1 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組																																																																																		
避雷器用（高圧用）	E L H	1 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 3 連一 2 組																																																																																		
避雷器用（モデム用）	E M D	1 0 0 Ω以下	E B (D = 1 4 又は W = 4 0) × 1																																																																																		
構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）																																																																																		
37. 総合調整	各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。 ・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・ 照明装置 ・ 構内交換設備 ・																																																																																				
38. 塗装工事	下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※ 屋外 ※ 居室 ・																																																																																				
39. 山留め	切り取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。																																																																																				
40. 舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）2 2 章（舗装工事）及び建築工事監理指針（下巻）2 2 章（舗装工事）による。																																																																																				
41. はつり	既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。																																																																																				
42. 再使用機器	再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定のうち、取り付ける。																																																																																				
43. 撤去後の補修等	機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は、既存仕上げと同等とする。なお、施工に際し、既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は、原状に復旧する。																																																																																				

44. アスベスト	アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り、事前調査を実施し、調査結果を整理のうえ、監督職員へ報告すること アスベスト使用状況（ ）		
45. 有害物質の取り扱い	P C B（変圧器、コンデンサ、安定器等）、鉛・カドミウム（鉛蓄電池、小形二次電池等）、水銀、放射性物質（イオン化式感知器等）の有害物質の含有を搬出前に確認し、監督職員に報告書を提出するとともに、その処理方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り扱うこと。		
電 灯 設 備	① 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 分電盤類 ・ 機器類	
	② 電気方式	・ 幹線 単相3線式 1 0 0 / 2 0 0 V 5 0 H z ・ 分岐 単相3線式 1 0 0 / 2 0 0 V ・ 分岐 単相2線式 1 0 0 V 幹線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線	
	③ 施工方法	分岐 電灯 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他（ ） コンセント ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ フロアダクト配線 ・ その他（ ） 屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製	
	④ 照明器具	L E D ・ 一体型 ・ 直管型（JEL801） ・ 直管型（JEL802） ・ ダウンライト ・ その他	
	5. 防災用照明器具	・ 非常用照明器具（ ※ 電池内蔵形 ・ 電源別置形 ） ・ 誘導灯（ ※ L E D誘導灯 ・ 誘導標識 ）	
	6. 照度測定	照度測定は、原則、本工事範囲全てを行うものとするが、これにより難しい場合は監督職員との協議による。	
	7. ハイテンション アウトレット	※ 銅合金製 ・ アルミ製 ※ 飛び出し形 ・ 外部固定形	
	8. 人感センサプレート	照明の人感センサ制御を行う部屋には、注意プレートを設置する。	
	9. 予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器が4個以下の場合は（P F 2 2）を1本、5個以上の場合は（P F 2 2）を2本以上、天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には、1スパンにV E（3 6）2本を予備スリーブとして埋込む。	
動 力 設 備	1. 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 制御盤類	
	2. 電気方式	・ 幹線 三相3線式 2 0 0 V 5 0 H z ・ 分岐 三相3線式 2 0 0 V	
	3. 施工方法	幹線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他 分岐 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ その他 屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製	
	4. 警報盤	※ 壁掛形（電源装置 ※ 内蔵 ・ 別置） ・	
	5. 電磁閉閉器用押釦 （遠方操作用）	※ 埋込連用形配線器具 ・	
	6. 機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。	
	7. 電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。	
	8. 進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。	
	9. 電気自動車用充電装置	・ 機器類 ・ ・ 普通充電装置 電圧 相 V ・ 屋外型 ・ 屋内型 ・ 急速充電装置 直流電圧 V	
電 熱 設 備	1. 電気方式	幹線 相 線式 V 5 0 H z 分岐 相 線式 V	
	2. 施工場所及び面積	・ (m ²) ・ (m ²)	
池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号		工 事 名 称 令和4年度 ひより台一丁目会館改修工事	図面番号
設計 池下久幸（一級建築士） 第280837号		図 面 名 称 電気設備改修工事特記仕様書②	E-2

雷保護設備	1. 工事範囲 2. 受雷部 3. 避雷導線 4. 接地極 5. 測定用補助接地極	<ul style="list-style-type: none"> 受雷部 突針 引下げ導線 ※ 接地極埋設 設置 引下げ導線 棟上導体 構造体利用 構造体利用 (測定時期) 接地極埋設 ※ 回数 接地極埋設 ※ 回数 ※ 回数 			<table border="1"> <tr> <td>・ 監視カメラ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 駐車場管制設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 防犯・入退室管理</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	・ 監視カメラ							・ 駐車場管制設備							・ 防犯・入退室管理																																															
・ 監視カメラ																																																																			
・ 駐車場管制設備																																																																			
・ 防犯・入退室管理																																																																			
受変電設備	1. 工事範囲 2. 電気方式 3. 引込ケーブル 4. 配電盤 5. 主遮断装置 6. 高圧機器類 7. 変圧器 8. 進相用コンデンサ 9. リアクトル 10. 自動力率制御装置 11. 測定用補助接地極	<ul style="list-style-type: none"> 機器類 高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V EM-CET38° EM-CET60° EM-CE38°-3C EM-CE60°-3C 屋内形 屋外形 (防塵処理及び結露対策を施す) キュービクル式配電盤 高圧閉鎖配電盤 ※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器 (PFS) 高圧交流遮断器 (CB) 定格遮断電流 kA 油入式 モールド 手動 電動 電磁 単相変圧器 kVA 三相変圧器 kVA (油入式: JIS C4304-2013適合品 乾式: JIS C4306-2013適合品) ※ 低圧 高圧 油入式 モールド ガス式 6% 13% 油入式 モールド ※ メーターリレー形 静止形 設置 	通	2. 構内情報通信網設備 3. 情報表示設備 4. 映像・音響設備 5. 拡声設備 ⑥. 誘導支援設備 7. テレビ共同受信設備 8. テレビ電波障害 9. 監視カメラ設備 10. 駐車場管制設備 11. 防犯・入退室管理設備	ボックス 種類: 合成樹脂製, 金属製 10BASE-T, 100BASE-TX, 1000BASE-T 10GBASE-SR 親時計 回線 (※ 壁掛形, 自立形) 電子式チャイム組込, プログラムタイマ組込 増幅器 W VTR (DVD, BD, S-VHS) プロジェクタ (※ 前面投射式, 背面投射式) 音響設備 (CD, オーディオレコーダー) 一般放送用, 非常放送兼用 増幅器 W (※ 卓上形, キャビネットラック形) インターホン (トイレ等呼出装置, 音声誘導装置) テレビアンテナ (AU, CSBSA, CSA) 地上波アンテナマスト (※ 壁面取付形, 自立形) BSアンテナマスト (壁面取付形, 自立形) 電界強度測定及び受信調査 (※ 全チャンネル) 事前調査, 機器類 白黒方式 ※ カラー方式 伝送方式 (アナログ, ネットワーク) 管制盤, 検知器 (光線式, ループコイル式) 信号灯・警報灯, 券発機, カーゲート, カードリーダー 接地工事 (※ 本工事, 別途)																																																														
電力貯蔵設備	1. 直流電源装置 2. 交流無停電電源装置	※ 非常用照明器具電源, 受変電設備制御電源供用 蓄電池: 鉛蓄電池 (HS, CS, MSE), 長寿命形MSE アルカリ蓄電池 (AH, AMH) リチウムイオン電池 用途 (容量) 蓄電池: 鉛蓄電池 (HS, CS, MSE), 長寿命形MSE アルカリ蓄電池 (AH, AMH) リチウムイオン蓄電池		火災報知設備	1. 工事範囲 2. 火災報知装置 3. 非常警報装置 4. 自動閉鎖装置 5. ガス漏れ火災警報装置 6. 消火器類	配管, 配線, 機器類 壁掛形, 自立形 受信機 型級 回線 (アドレス) 複合盤 型級 回線 (火報 回線, 自動閉鎖 回線, ガス漏れ 回線) 副受信機 型級 回線 機器収容箱 専用形 (埋込形, 露出形) 屋内消火栓箱に組込み 感知器類 型用 総数 個 (自動試験機能付) 非常ベル (自動式サイレンを含む) 非常放送装置 連動制御器 自動閉鎖装置 (防火戸用, 防煙ダンパ用, 防火シャッター用) 感知器 受信機 回線 (都市ガス用, 液化石油ガス用) 単独 (壁掛形, 自立形) 火災受信機などの複合盤 検知器 併設, 連動 定格電圧 (AC100V, DC24V) ガス検知出力信号 (有電圧出力方式, 無電圧接点方式) 消火器 種別, 数量, 本 消火器収納箱 仕様, 材質, 数量, 面																																																													
発電設備	1. 工事範囲 2. 形式 3. 発電機 4. 原動機 5. 燃料 6. 太陽光発電装置 7. 系統連系	<ul style="list-style-type: none"> 機器類 簡易形 屋内形 屋外形 電気方式 相線式 50Hz 電圧 V 定格出力 kVA 運転時間 時間 種類: ディーゼル, ガスタービン ※ 電気式, 空気式 ラジエータ式, 水冷循環式 種類: 軽油, 灯油, A重油 燃料小出槽 L 主貯油槽: なし, あり (別途, 本工事) 太陽電池アレイ公称出力 kW パワーコンディショナ 相線式 定格電圧 V 定格出力 kW 自立運転: 有, 無 蓄電池: 有 (定格容量 kWh), 無 有, 無 	火災報知設備	1. 工事範囲 2. 監視制御対象設備 3. 表示操作盤 4. 監視制御装置	配管, 配線, 機器類 動力設備, 受変電設備, 発電設備, 火災報知設備 壁掛形, 自立形 組込み機器 構成機器: グラフィックパネル, 内照式液晶ディスプレイ, 操作卓 監視操作装置, 信号処理装置, 伝送装置, 分散処理装置 中央処理装置, 補助記憶装置, 記録装置, 電源装置 帳票用印字装置 (インクジェット式, 写真式)																																																														
構内交換設備	1. 工事範囲 2. 電話交換機 3. 電話機への配線 4. ローテンションアウトレット (亀甲形) 5. 保安器用接地	<ul style="list-style-type: none"> 交換機 電話機 配線 (全部, 端子盤以降) 形式: ボタン電話装置, デジタルPBX, IP-PBX, VoIPサーバ 回線数 局線 / 回線 内線 / 回線 電話機1台につき, 下記のものを見込む。 EM-TIEF0.65-2C (20m) EM-EBT0.4-2P (20m) ワイヤープロテクタ (樹脂製 外形寸法約20x8) 1.5m ※ 一般電話用 個 (納入する, 取り付ける) ※ 銅合金製, アルミ製 ※ 本工事, 別途工事 	中央監視制御設備	1. 工事範囲 2. 監視制御対象設備 3. 表示操作盤 4. 監視制御装置	配管, 配線, 機器類 動力設備, 受変電設備, 発電設備, 火災報知設備 壁掛形, 自立形 組込み機器 構成機器: グラフィックパネル, 内照式液晶ディスプレイ, 操作卓 監視操作装置, 信号処理装置, 伝送装置, 分散処理装置 中央処理装置, 補助記憶装置, 記録装置, 電源装置 帳票用印字装置 (インクジェット式, 写真式)																																																														
	1. 工事範囲及び施工方法	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">工事範囲</th> <th colspan="3">施工方法</th> </tr> <tr> <th>配管</th> <th>配線</th> <th>機器類</th> <th>合成樹脂管配線</th> <th>金属管配線</th> <th>ケーブル配線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 構内情報通信網</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 情報表示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 映像・音響</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 拡声</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 誘導支援</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ テレビ共同受信</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ テレビ電波障害防除設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	工事範囲			施工方法			配管	配線	機器類	合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線	・ 構内情報通信網							・ 情報表示							・ 映像・音響							・ 拡声							・ 誘導支援							・ テレビ共同受信							・ テレビ電波障害防除設備								池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号	工事名称 令和4年度 ひより台一丁目会館改修工事 図面名称 電気設備改修工事特記仕様書③ 図面番号 E-3
項目	工事範囲			施工方法																																																															
	配管	配線	機器類	合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線																																																													
・ 構内情報通信網																																																																			
・ 情報表示																																																																			
・ 映像・音響																																																																			
・ 拡声																																																																			
・ 誘導支援																																																																			
・ テレビ共同受信																																																																			
・ テレビ電波障害防除設備																																																																			

構 内 配 電 線 路	1. 工事範囲	・ 管路 ・ 配線 ・ 機器類
	2. 電気方式	・ 高圧 三相3線式 6kV 50Hz ・ 低圧 三相3線式 200V ・ 低圧 単相3線式 100/200V ・ 低圧 単相2線式 100V
	3. 布設方法	※ 地中埋設式 (・ FEP ・ GLT ・ 厚鋼電線管) ・ 架空線式
	4. 柱上機器	・ 高圧負荷開閉器 ※ 一般用 ・ 耐重塩じん用 ※ 地絡継電器付き (※ 方向性 ・ 無方向性) ・ 避雷器 ※ 一般用 ・ 耐塩用 ・ 高圧カットアウト、がいしなど ※ 一般用 ・ 耐塩用
	5. 高圧ケーブルの 末端処理	屋外側 ※ 一般用 ・ 耐塩用 ※ 処理者銘板取付 (屋内外共、線名、作業日、氏名を表示)
	6. その他	東北電力(株)外線工事基準(架空線編)に準ずる。
	7. 外灯設備	・ 定格電圧 V W
	8. 沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。()
	9. 標識シート	・ 高圧ケーブル ・ 低圧ケーブル
	10. 予備配管	屋外キュービクルから第1ハンドホールまでの予備配管(FEP100:1本)を設ける。 分電盤、動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管(FEP80:2本)を設ける。

構 内 通 信 線 路	1. 工事範囲	・ 管路 ・ 配線
	2. 用途	・ 電話用 ・ 時計、拡声用 ・ 火災報知用
	3. 施工方法	※ 地中埋設式 (・ FEP ・ GLT ・ 厚鋼電線管) ・ 架空線式
	4. 標識シート	※ 弱電用

解 体 工 事	1. 特記事項	①施工計画書には産業廃棄物処理計画を記載するとともに、解体施工前に事前調査を行い、その結果を「指定様式2-1 建設副産物処理表(施工前調査表)」としてあらかじめ監督職員に提出すること ②撤去品の一切については、有害物質等の含有又は含有の可能性の有無について改めて調査を行い、その結果を「指定様式2-2 建設副産物処理表(撤去品調査後)」として監督職員に提出すること ③上記②により新たな有害物質等の含有又は含有の可能性がある撤去品を確認した場合には、速やかに監督職員と協議するとともに、産業廃棄物処理計画の変更を行い、監督職員の確認を得たうえで処理・処分すること ④撤去品の取扱については、関係法令等に従い適切な処理・処分を行うとともに、その結果を「指定様式2-3 建設副産物処理表(最終)」として監督職員に提出すること
	※建物一式のとりこわし 工事に適用とし、機器 等の改修工事は適用外	

身 障 者 用	非常ボタン(便所用)	床上~中心	400、900	火 災 報 知 器	発信機	〃	800~1,500
	壁付インターホン(親機)	〃	1,300		表示灯	床上~中心	2,100
	〃 (玄関子機)	〃	1,100		ベル	〃	2,300
	廊下表示灯(復旧ボタン付)	〃	1,300		液化石油ガス用検知器	床上~上端	250
	身障表示ランプ	〃	1,500		都市ガス用検知器(軽質)	天井~上端	150
	スイッチ	〃	1,100		〃 (重質)	床上~上端	250

表1「完成書類」 引き渡し時には下記の書類を提出する。

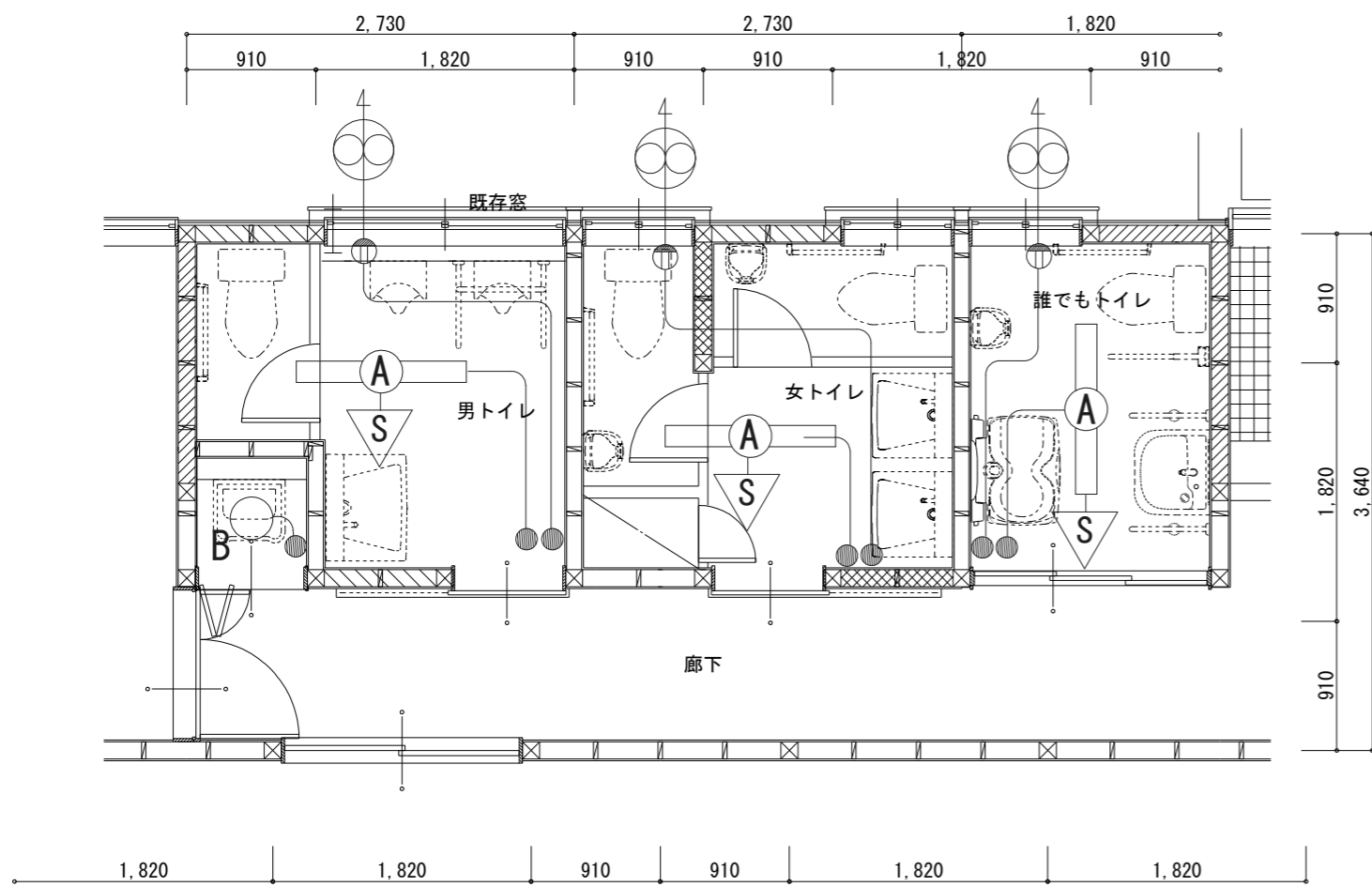
名 称	完 成 書 類	部数	名 称	完 成 書 類	部数
1 完成調書	営繕工事完成引渡要領 (令和3年4月1日版)	1部	6 取扱説明書	A4版:黒表紙金文字製本 (2 完成図書と合本可)	1部
2 完成図書	A4版:黒表紙金文字製本 (機器完成図、取扱説明書と合本可。 ただし、厚さが80mmを越える場合 は分冊とする。)	1部	①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書		
3 完成図(縮小)	白焼縮小製本 A3版二つ折り うち1部は設備課保管	2部	7 管理の手引き	A4版:チューブ式ファイル	1部
4 完成図・施工図 (電子データ)	JWW又はDXF形式のCADデータ及び PDF形式	CD 2枚	①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表		
5 機器完成図	A4版:黒表紙金文字製本 (2 完成図書と合本可)	1部	8 工事写真	A4版:チューブ式ファイル (着手前、施工状況、完成の各写真)	1部
①機器別完成図 ②機材材質証明書 ③機材検査成績書 ④工場試験成績書 ⑤工場立会検査成績書 ⑥現場据付試験成績書 ⑦総合試運転成績書			①施工写真 ②完成写真	A4版:ペーパーファイル 完成届に添付	1部
			9 工事に関する書類	A4版:チューブ式ファイル	1部
			①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事週報又は日報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し		

注記:機器参考図について
本図面中で、機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や諸元を
参考図として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上の
ものを使用するものとする。

表2「機器取付高さ」 図面に特記なき場合は下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議する。

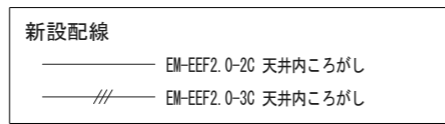
電 力 設 備			通 信 設 備				
名 称	測 点	取付高 (mm)	名 称	測 点	取付高 (mm)		
電 力 共 通	取引用計器	地上~窓中心	約 1,800	電 話	引込線留め高	地上~引込点	
	引込開閉器	床上~中心	1,800~2,200		集合保安器箱	天井下~上端	200
	分電盤	床上~中心	1,500(上端1,900以下)		端子盤(廊下、室内)	床上~下端	300
					〃 (EPSなど)	床上~中心	1,500
電 灯				壁付アウトレット(一 般)	床上~中心	300	
				〃 (和 室)		150~200	
	スイッチ (一 般)	床上~中心	1,300	時計	壁掛形親時計	床上~中心	1,500(上端2,000以下)
	〃 (和 室)	〃	1,200	子時計	〃	2,300	
	コンセント(一 般)	〃	300	壁掛形スピーカ	〃	2,300	
	〃 (和 室)	〃	150~ 200	壁付アッテネータ	〃	1,300	
	〃 (台 上)	台上~中心	100	壁付インターホン(一 般)	床上~中心	1,300	
	〃 (ファン用)	床上~下端	ファン下端	〃 (身体障害者)	〃	1,300	
	〃 (厨 房)	床上~中心	800~1,000	壁付アウトレット(一 般)	〃	300	
	〃 (車 庫)	〃	1,300	〃 (和 室)	〃	150~200	
	〃 (機械室)	〃	500~1,000	機器収容箱	天井下~上端	200	
	〃 (土 間)	〃	800~1,300	直列ユニット(一 般)	床上~中心	300	
	ブラケット(一 般)	床上~中心	2,100~2,300	〃 (和 室)	〃	200	
	〃 (踊 場)	〃	2,000~2,500	警 報	表示盤	床上~中心	2,300
	〃 (鏡 上)	鏡上端~中心	150	壁付発信機	〃	1,300	
	避難口誘導灯	床上~下端	1,500以上	ベル、ブザー、チャイム	〃	2,300	
	廊下通路誘導灯	床上~上端	1,000以下	壁付押しボタン(一 般)	床上~中心	1,300	
			〃 (身体障害者玄関)	〃	900		
動 力	壁掛形制御盤	床上~中心	1,500(上端2,000以下)	火 災 報 知	受信機	床上~中心	800~1,500
	開閉器箱	〃	1,500	副受信機	〃	800~1,500	
	電磁開閉器用ボタン	〃	1,300	機器収容箱	〃	800~1,500	

池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号	工 事 名 称 令和4年度 ひより台一丁目会館改修工事	図面番号
設計 池下久幸(一級建築士) 第280837号	図 面 名 称 電気設備改修工事特記仕様書④	E-4

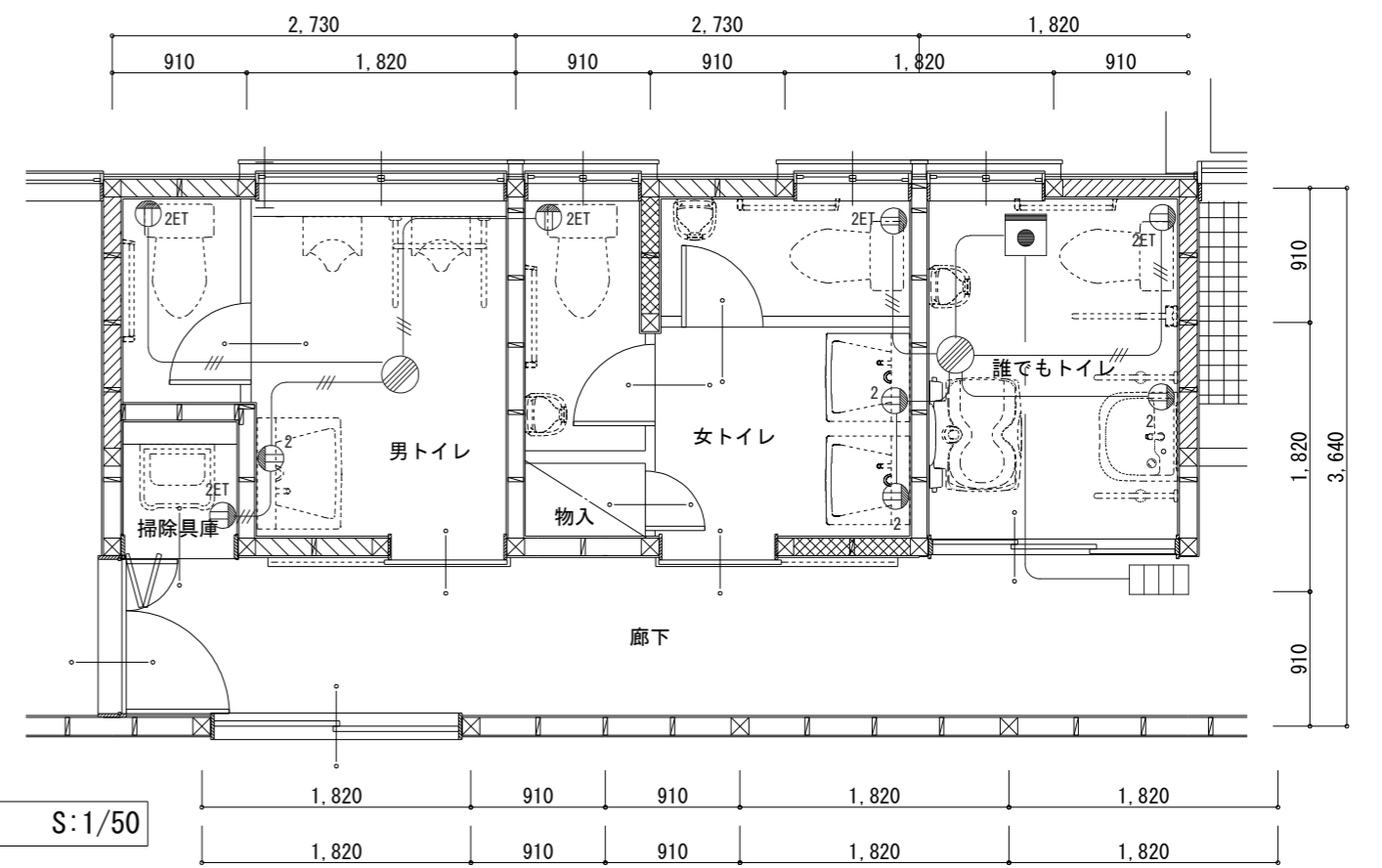


凡例	記号	名称	取付高さ(参考)
	○	蛍光灯 姿図参照	
	▽S	人感センサ	
	○	ダウンライト 姿図参照	
	●	スイッチ 大角型確認表示灯付 1P15A×1 樹脂プレート(ネーム付)	1300
	●3	スイッチ 大角型 3W15A×1 樹脂プレート(ネーム付)	1300
		照明スイッチは松下電工 コスモシリーズ ほたるスイッチ 同等とする。	
	●L	換気扇スイッチ(作動表示灯付)	1300
	●T	スイッチ 24時間換気用	1300
	⊕ ²	壁付コンセント 大角型 2P15A×2 樹脂プレート	300
	⊕ ² ET	壁付コンセント 大角型 2P15A×2 ET付 樹脂プレート	300
	●	ジョイントボックス Fケーブル用	
	□	非常呼出表示器 (アイホン NR-BZLB27同等 プザ-付廊下灯)	
	■	トイレ呼出錠 (アイホン NBR-7WA同等)、復旧ボタンNBR-2A-C同等品	900

電灯配置図 S:1/50



照明器具姿図	A	B
	iDシリーズ直付型40形 Dスタイル W150 公共施設用 一般屋内用ベ-55INLDS1-LSS10-4-47 人感センサ内蔵	LEDシーリングライト 60形電球1灯器具相当
	ひとセンサ付、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100~242V 本体：鋼板(白色粉末塗装) ライトバー(カバー)：ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光東維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵	昼白色(5000K)、Ra83 器具光束450lm、消費電力5.9W、電圧100V 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型 カバー：アクリル(乳白)
	パナソニック 直付XLX420ANNPLE9	パナソニック LGB51510LE1



コンセント配置図 S:1/50

工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 トイレ改修 電気設備図①	図面No. E-5
		日付	日付	日付	縮尺 1/50	
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ					

機械設備改修工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称 令和4年度 ひより台一丁目会館改修工事
2. 工事場所 富谷市 ひより台一丁目 地内
3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(m ²)	建築面積(m ²)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
ひより台一丁目会館	木造平屋建て	1階	199.98㎡	204.40㎡	(1)-ロ	

4. 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

工事種目	工 事 種 別						
	屋内	屋外					屋 外
・空気調和設備							
・換気設備	○						
・排煙設備							
・自動制御設備							
・衛生器具設備	○						
・給水設備	○	○					
・排水設備	○						
・給湯設備							
・消火設備							
・厨房機器設備							
・ガス設備							
・さく井設備							
・浄化槽設備							
・昇降機設備							
・その他工事							

5. 指定部分 ※ なし ・ あり (工 期 : 令和 年 月 日) (対象部分 :)
6. 概成工期 ※ なし ・ あり (工事工期より 日前)
7. 設備概要 (○印のついたものは、主要方式を示す)

方 式	設 備 概 要	
空気調和方式等	・ 空気調和	・ 全空気方式 ・ ファンコイルユニット、ダクト併用方式 ・ パッケージ方式
	・ 温風暖房	・ 全空気方式 ・ ファンコンベクター、ダクト併用方式
	・ 直接暖房	・ 温水暖房 ・
自動制御方式	・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ・ 空気式 ・ 中央監視制御	
給水方式	○ 水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ タンクレスブースター方式 ・	
排水方式	建物内の汚水及び雑排水 (・ 分流式 ○ 合流式) 建物外の汚水及び雑排水 (・ 分流式 ・ 合流式) 放流先 汚 水 (○ 下水道直放流 ・ 浄化槽) 雑排水 (○ 下水道直放流 ・ 浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途処理)	
給湯方式	・ 局所式 ・ 中央式	
消火設備方式	・ 屋内消火栓 (・ 湿式 ・ 乾式) ・ 連結送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー (・ 湿式 ・ 乾式) ・ 不活性ガス消火 ・ 泡消化 ・ 粉末消火 ・ 連結散水 ・ フード等用簡易自動消火 ・ 消火器	
ガス設備方式	・ 都市ガス 種別 () kJ/m ³ (N) (供給圧力 Pa) ・ 液化石油ガス	

II. 特記仕様書

1. 一般事項 (1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編、令和4年版)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編、令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)、同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編、令和4年版)」(以下「標準図」という。)による。
- (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は (/) 図、建築工事の工事仕様書は (/) 図による。
2. 特記事項 (1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。

章	項 目	特 記 事 項
	①. 適用基準等	○ 営繕工事写真撮影要領 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和3年度版) ○ 建設工事執行規則 (昭和39年3月宮城県規則第9号) ○ 宮城県建設工事元請・下請適正化要綱 (最新版) ・ 宮城県建築工事写真撮影要領 (宮城県土木部制定 平成12年版) 及び工事写真撮影ガイドブック<機械設備工事編> (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和3年版)

②. 機 材 等

③. 機材の品質・性能証明

4. 保 険

⑥. 施工計画書および 施工図等

⑦. 工事実績情報の登録 (CORINS)

⑧. 手続

⑨. 事故報告

⑩. 電気保安技術者

⑪. 技能士の適用

12. 足場等

13. 監督職員事務所

⑭. 工事中電力、水、その他

⑮. 工事中仮設物

⑯. 残土処理

⑰. 発生材の処理

※ 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本産業規格及び日本農林規格のF☆☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。本工事中事前に機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。

また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関が発行する資料等のの写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。

本工事中事前に工事的物及び工事材料等を、本工事後引渡し期日まで、火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出のこと。

本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇入れに努めること。

工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。

工事の施工に先立ち、工種別施工要領書および施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。

また、県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては、環境配慮計画(実施)書を作成し、監督職員に提出する。

請負額が500万円以上の場合は、工事実績情報を登録する。受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。

工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。

なお、当該手続きに係わる費用は、受注者の負担とする。

施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

※ 配置する ・ 配置しない

本工事に下記の当該職種別技能士(・ 1級 ・ 2級)を適用させる。(資格証の写しを提出する)

・ 配管(配管工事) ・ 建築板金(ダクト製作及び取付け) ・ 熱絶縁施工(保温工事)
・ 冷凍空気調和機器施工(チリングユニット、パッケージ形空気調和機の据付及び調整)

・ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置
枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月改訂)」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。

※ 設けない ・ 設ける (号・・・建築工事仕様書)

本工事に必要な工事中電力、水、及び諸手続等の費用はすべて引渡まで受注者の負担とする。

構内に作ることが ※ できる ・ できない

・ 構外搬出 ※ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所にたい積
建設発生土を場外へ搬出する場合 1建設発生土現場管理者(複数可)を選任し、施工計画書に記載し、提出する。2ダンプトラック等管理表を、工事中事前に監督員に提出する。 3建設発生土搬出等管理表を、搬出を行う日毎に作成し、1週間毎の集計表を監督職員に提出する。 4建設発生土は受入地において、搬出先土量を伝票により管理するとともに、搬出先の土量を確認する。

(1) 建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当 ・ なし ・ あり ()
(2) 冷媒回収費用は (・ 本工事 ・ 別途工事)

冷媒の回収にあたっては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(フロン回収破壊法)」に従って行い、監督職員に第一種フロン回収業者登録通知書の写し、フロン回収証明書を提出する。ただし、家庭等のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」の対象となっているものは、法に従ってリサイクル(フロン類の回収を含む)を行い、監督職員に、特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)の写しを提出する。

(3) 引渡しを要するもの ※ なし ・ あり ()

(4) 廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し、場外搬出の上、適切に処分する。

(ア) 特別管理産業廃棄物

※ なし ・ あり ()

(イ) 特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設

・ コンクリート ()
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ()
・ 木 材 ()
・ アスファルトコンクリート ()

(ウ) その他発生材の処分を行う施設

・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物 ()
・ 木くず等の管理型の産業廃棄物 ()

※アスベストについては、労働安全衛生法(石綿障害予防規則)・廃棄物処理法等に則り、事前調査を実施し、調査結果を整理のうえ、監督職員へ報告すること

建設リサイクル法

・ 対象工事

落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第1号別表1~3のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づいて書面により報告すること。

・ 対象外工事

池下建築設計一級建築士事務所
宮城県知事登録 第21610219号

池下久幸
(一級建築士)
第280837号

工 事 名 称 令和4年度 ひより台一丁目会館改修工事

図 面 名 称 機械設備改修工事特記仕様書①

図面 No
M-1

- 18. 総合試運転調整等
- 19. 容量等の表示
- 20. 耐震措置
- 21. 弁等のサイズ
- 22. 電線類
- 23. 溶接部の非破壊検査
- 24. はつり
- 25. 支持及び固定
- 26. 支持金物・固定金具
- 27. 埋戻し土・盛土
- 28. 地中埋設標及び埋設表示用テープ
- 29. 保 温
- 30. 塗 装
- 31. 防食処理

※ 本工事において下記の項目の総合試運転調整等を行い、報告書を提出する。 ・ 別途
総合試運転調整等の項目

- ・ 風量調整
- ・ 室内空気及びじんあいの測定
- ・ 末端水栓の水質測定
- ・ 機器の絶縁抵抗の測定
- ・ 水量調整
- ・ 騒音の測定
- ・ 浄化槽放流水質の測定
- ・ 水圧調整
- ・ 室内外空気の温湿度測定
- ・ 初期運転状態の記録

測定箇所は、監督職員の指示による。

(1) 機器類の能力、容量等は指示された数値以上とする。
(2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

機器、配管、ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け、取付け又は支持を行う。
耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立法人建築研究所監修2014年版）による。

設置場所	設計用標準水平震度（K _s ）			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2. 0 (2. 0)	1. 5 (2. 0)	1. 5 (2. 0)	1. 0 (1. 5)
中層階	1. 5 (1. 5)	1. 0 (1. 5)	1. 0 (1. 5)	0. 6 (1. 0)
一階及び地下層	1. 0 (1. 0)	0. 6 (1. 0)	0. 6 (1. 0)	0. 4 (0. 6)
	重要水槽(飲料用)	一般水槽	重要水槽(飲料用)	一般水槽
上層階、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
一階及び地下層、中層階	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6

注 (1) 設置場所の区分は標準仕様書による。 注 (2) () 内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。
(3) 本工事の施設は (・ 一般の施設 ・ 特定の施設) とする。
(4) 地域係数は 1. 0 とする。
(5) 100kg 以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し、据付又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。
(6) 昇降機のつり合もりブロックの脱落防止は、十分な強度を有する方法で固定し、水平鉛直方向の地震力に対して、つり合もりが枠から脱落しないようにした構造とすること。
特記されていない弁等のサイズは、機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。
本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。なお、電気設備工事編標準仕様書第6編 通信・情報設備工事による。

対象配管系統 ・ 冷水水 ・ 冷却水 ・ 消火（水用） ・ 油 ・ ガス
検査の種類 ・ 浸透探傷検査（PT）又は磁粉探傷検査（MT） ・ 放射線透過検査（RT）

既存のコンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。
(1) 標準仕様書以外の天吊り機器の支持は、標準仕様書第3編 2. 1. 13 (b) に準ずる。
(2) 横走り主ダクト・主管の振れ止めは端部も行うこと。

(1) ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）とし、ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
(2) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
(3) 冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。
図面に特記のない場合は下記によるほか標準仕様書第2編による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。
・ 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類） ・ 山砂の類
地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお、地中埋設標の設置場所は図示によるほか、屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。
(1) 給水管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ
(2) ガス管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ
(3) 油 管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ
(4) 消火管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ

・ 主機械室は下記の室とし、他は各階機械室とする。
主機械室：
・ ダクトの保温の外装は下記による。内装は（ ・ ロックウール ・ グラスウール ）

屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス	・
	各階機械室	・ アルミガラスクロス	・
	主機械室	・ アルミガラスクロス	・
	居室・廊下など	・ カラー亜鉛鉄板	・
屋内隠ぺい、PS内	・ アルミガラスクロス		
屋外露出、多湿箇所（ ）	・ ステンレス鋼板		

・ 配管の保湿の外装は下記による。内装は（ ・ ロックウール ・ グラスウール ・ ポリスチレンフォーム ）

屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス	・
	各階機械室	・ アルミガラスクロス	・
	主機械室	・ アルミガラスクロス	・
	居室・廊下など	・ 合成樹脂製カバー	・
屋内隠ぺい、PS内	・ アルミガラスクロス		
屋外露出、多湿箇所（ ）	・ ステンレス鋼板 ・ 着色アスファルトプライマー	・ アスファルトプライマー	

(1) 下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
※ 屋外露出 ※ 居室
(2) 保温を行わない居室・便所・給湯室及び屋外の露出配管（鋼管）には塗装を行う。
土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトログラム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として、防食処理不要の管材とする。）

- 32. 山留め
- 33. 舗装工事
- 34. 他工事との取り合い
- 35. 再使用品の清掃
- 36. 火気の使用
- 37. 室内空気中の化学物質の濃度測定
- 38. 施工調査
- 39. アスベスト
- 40. あと施工アンカー
- 41. 既設インサート及びアンカーボルト
- 42. 宮城県製の製品利用促進について
- 43. 施工条件
- 44. 三相誘導電動機

切り取りにその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1. 5mを超える場合には、山留めを行うものとする。
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書 2. 2 2 章（舗装工事）による。
図面に特記なき場合は、表「工事区分表」による。
再使用する機器類は現場内で可能な洗剤による水洗等の清掃を行う。
建物内での火気の使用は原則として行わない。
室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監督職員に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。
測定対象室（ ）、測定箇所数（ ）
・ 下記によるほか、改修標準仕様書第1編 1. 5. 1 及び 1. 5. 2 による。
・ 施工計画調査 ・ 事前調査
調査項目（ ・ ） 調査範囲（ ・ ） 調査方法（ ・ ）
アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り処理を行うこと。
アスベスト使用状況（ ）
(1) あと施工アンカー ※ 接着系アンカー （接着剤は有機系とする）
※ 金属拡張系アンカー （※ 本体打込み式 ）
(2) 試験等 性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う
施工確認 ※ 行う ・ 行わない
既設インサート及びアンカーボルトを ※ 使用しない ・ 使用する
・ 認定品利用対策工事として次の認定製品を使用すること。
(使用製品名： 使用場所：)
※ 認定製品使用対象外工事だが、利用の促進に努めること。
別添の施工条件明示書による。
省エネ法の特定機器の対象となる機器はJIS C 4034-30:2011のIE3（プレミアム効率）に相当する機器を導入すること。

- 仮設工事
- 2. 養生

① 工事中電力、水、その他
本工事に必要な工事中電力、水などの費用、及び官公署等への諸手続きなどの費用は、請負者の負担とする。
既設コンセントの使用 ※ 不可 ・ 可
既設給水栓の使用 ※ 不可 ・ 可
養生範囲（ ）
養生方法（ ）

- 1. 設計温湿度
- 空 気 調 和 設 備
- 2. ばい煙濃度計
- 3. 煙 突
- 4. 煙 道
- 5. ダクトの区分
- 6. 長方形ダクトの工法
- 7. 風量測定口
- 8. チャンバ
- 9. 防煙ダンバ
- 10. 配管材料

	外 気		屋内（調整目標値）					
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	コンピューター室系統	
夏期	30. 6°C (9時)	65. 5% (9時)	2 6°C	4 5 %	°C	%	2 4°C	4 5 %
	32. 4°C (12時)	60. 2% (12時)						
	32. 6°C (14時)	57. 8% (14時)						
	31. 8°C (16時)	61. 0% (16時)						
冬季	- 2. 0°C	6 9. 2 %	2 2°C	4 0 %	°C	%	2 4°C	4 5 %

取付箇所は図示による。
※ 別途 ・ 本工事（鋼板厚 mm、高さ m以上）
※ 煙道径300mm以下は鋼板厚3. 2mm、300mmを超えるものは4. 5mmとする。 ・ 図示による。（煙道径が400mmを超えるものには、掃除口に蝶番を取り付ける。）
低圧とする（高圧1及び高圧2の部位は図示による。）
・ アングルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法（ ・ 共板 ・ スライド）
取付け場所は図示による。取付面は監督職員の指示による。
(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
(2) 空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。
(3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
(1) 復帰方式 ※ 遠隔式（電気式（定格入力DC24V、0. 7A以下））
(2) 復帰動作 ※ 順送り
(1) 冷温水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・
(2) 冷却水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・
(3) 蒸気管（給気管） ※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・
(還元管) ※ 圧力配管用炭素鋼鋼管（S c h 4 0） ・
(4) 油管、油用通気管（一般） ※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・

空 気 調 和 設 備	11. 弁 類	(5) 膨張管, 空気抜き管, 膨張タンクよりボイラ等への給水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (6) 空調用排水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (7) 冷媒管 ※ 断熱材被覆銅管 ・ 銅管 ※ J I S又はJ V 5 K ・ J I S又はJ V 1 0 K ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。	衛 生 器 具 設 備	①. 大便器洗浄弁 ②. 便器洗浄用タンク ③. 小便器自動洗浄 ④. 器具付属水栓 5. 自動水栓 6. 温水洗浄便座加熱方式 7. 大便器耐火カバー	・ 洗浄タンク方式 ・ 洗浄弁方式 (不凍結節水弁付) ※ 手洗なし ・ 手洗付 個別感知方式とする。(・ 小便器一体型 ・ 小便器分離型) 固定こま式 (節水こま式) とする。 ※ 電源供給方式 (※ A C 1 0 0 V) ・ 乾電池 ・ 自己給電 ・ 瞬間式 ・ 貯湯式 設ける (ピット内を除く)
	12. 鋼管用伸縮管継手	※ ベローズ形 ・ スリーブ形		1. 量水器 2. 量水器樹 ③. 配管材料	(1)親メーター ※ 措用 ・ 買取り (隔測メーター ・ 有 ・ 無) (2)子メーター ※ 買取り (隔測メーター ・ 有 ・ 無) (1)親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図 (機材57) (2)子メーター用 ※ 標準図 (機材57) ・ 水道事業者の指定品 (1)一般用 (3)屋外土中用 ・ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ ステンレス鋼管 (SUS316) ④. 塩ビライニング鋼管 (・VA ・VB) ・ 塩ビライニング鋼管 (VD) ④. ポリ粉体鋼管 (・PA ・PB) ・ ポリ粉体鋼管 (PD) ④. 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ " (HIVP) (2)土間配管用 (厨房, 浴室等のシンダー内含む) ・ ステンレス鋼管 (SUS316) ・ ポリエチレン管 ④. 塩ビライニング鋼管 (VD) ・ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 ④. ポリ粉体ライニング鋼管 (PD)
給 水 設 備	13. 温度計	※ 標準仕様書, 標準図による他, 図示した箇所に取付ける。(配管用はL形, ダクト用は円形) ・ 空気調和機, 温風暖房機まわりの給気ダクト, 還気ダクト及び外気ダクト ・ 冷温水ヘッダー (往) 及び冷温水ヘッダーの各選り管 ・ パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口	給 水 設 備	4. 不凍水栓柱 ⑤. 弁 類 ⑥. 給水栓 7. 埋設深さ ⑧. 保 温 9. 埋設弁開閉用ハンドル 10. 水道加入金等 11. ステンレス管の接合 方法 12. その他	化粧ケーシング (・ アルミ合金製 ・ 合成樹脂製) (1)水道直結部分 ※ J I S又はJ V 1 0 K ・ 水道事業所の規定による K (2)その他の部分 ※ J I S又はJ V 5 K ・ J I S又はJ V 1 0 K ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 (1)屋内 (※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓) (2)屋外 (※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓) 湯沸室, 台所, 厨房用水栓は泡沫式とする。 耐寒水栓はJWWAの認証品とする。 (1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道部分 (※ 水道事業者及び道路管理者規定による) (1)量水器樹内の保温を行う。 (2)屋外露出配管 (弁フランジを含む) は, 標準仕様書第2編 (表2. 3. 6 e 2・(ハ)) とし 厚さは呼び径 2 5 mm以下は5 0 mm, 呼び径 3 2 mm以上は4 0 mmとする。
	14. 瞬間流量計	※ 着脱可能形 (※ 全数 ・ 図示による) 着脱可能形の場合, その指示部 (・ 4 0 A用 個 ・ 1 0 0 A用 個 ・ 2 5 0 A用 個) を付属する。 ・ 固定形 (止水コック付) ・ 測定用タッピング (3 2 mmピート管流量計用)		①. 配管材料	①. 配管材料
換 気 設 備	15. オイルタンク	(1) オイルタンク本体は図示による。 (2) 遠隔油用指示計 ※ 取付ける ・ 取付けない (3) 計量尺は, 青銅製, 黄銅製又はアルミ製とし, 1 0 0 リットル実測目盛刻印とする。計量口は錠付とする。	換 気 設 備	11. ステンレス管の接合 方法 12. その他	(1)呼び径6 0 S U以下 S A S 3 2 2 (一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準) を満足した継手による接合 (2) 呼び径7 5 S U以上 ・ 溶接接合 ・ ハウジング形管継手による接合 ・ フランジ接合
	16. 積算油量計	図示の箇所に取付ける (熱源機器等)。		①. 配管材料	給水管の最小口径は2 0 mmとする。ただし, 器具接続部分を除く。
排 煙 設 備	17. 注油口及び指示ボツク	標準図 (機材 6) による。 ・ 単独形 ・ 共用形 (・ ローリーアース付)	排 煙 設 備	1. ダクト 2. 排煙口の形式 3. 排煙口開放装置 4. 排煙風量測定方式	(4)土間配管用 (5)通気管 (6)ポンプアップ排水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ ポリ粉体鋼管 (PD) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
	18. 消音内貼り	(1) 施工箇所は図示による。 (2) 内貼りチャンパー類の寸法表示は, 外形寸法とする。 (3) 吹出口に接続するチャンパーの消音内貼りは別図による。		1. 中央監視制御 2. 計装工事の配線	台所流し等の床上露出部分の排水管は, 硬質ポリ塩化ビニル管でもよい。
自 動 制 御 設 備	19. 保 温	(1)建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし (空気抜き弁も含む), 仕様は冷温水管の項による。 (2)屋外露出配管の保温は, 給水設備の項による。 (3)外気取り入れダクト及びチャンパーボックスの保温 ※ 要 (全熱交換器の給気ダクトを含む) ・ 不要 (4)排気ダクトの外壁開放部より 1 m程度保温する。(チャンパーボックスを含む) (5)冷媒管 (断熱材被覆鋼管) の保温外装 屋内露出部 ・ 保温化粧ケース (樹脂製) ・ 外装なし ・ 屋外 ・ 保温化粧ケース (樹脂製) ・ (6) 高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚は mmとする。	自 動 制 御 設 備	1. 中央監視制御 2. 計装工事の配線	(1)呼び径6 0 S U以下 S A S 3 2 2 (一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準) を満足した継手による接合 (2) 呼び径7 5 S U以上 ・ 溶接接合 ・ ハウジング形管継手による接合 ・ フランジ接合
	20. 電気工事の範囲	(1)地震感知器の配管配線 ※ 別途 ・ 本工事 (2)防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御盤から煙感知器迄の配線配管は ※ 別途 ・ 本工事		①. 配管材料	給水管の最小口径は2 0 mmとする。ただし, 器具接続部分を除く。
自 動 制 御 設 備	21. 塗装	(1) 屋内露出裸ダクトの塗装 (居室を除く) は ※ 行わない ・ 行う (2) 屋内露出冷却水配管の塗装 (居室を除く) は ※ 行わない ・ 行う	自 動 制 御 設 備	1. 中央監視制御 2. 計装工事の配線	(1)呼び径6 0 S U以下 S A S 3 2 2 (一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準) を満足した継手による接合 (2) 呼び径7 5 S U以上 ・ 溶接接合 ・ ハウジング形管継手による接合 ・ フランジ接合
	①. 準拠事項 2. 開放形湯沸器排気フット 3. 厨房用排気ダクト 4. 厨房用排気ダクト工法 5. 厨房用排気フード ⑥. 多湿箇所の排気ダクト	[空気調和 ・ 冷房 ・ 暖房設備] の当該事項に準ずる。 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 1 8 ・ 1 9 ・ 2 1 ※ 別途 ・ 本工事 ・ 既設 ※ 亜鉛鉄板 ・ ステンレス鋼版 (SUS304) (板厚は高圧ダクトによる) ※ アンクルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法 (共板フランジ又はスライドオンフランジ) (1)フード周囲の天幕 (フード面から天井面まで) ※ 取り付ける ・ 取り付けない (2)フードコック ※ 取り付ける ・ 取り付けない (3)材質 (天幕とも) ※ ステンレス鋼板 (SUS430又はSUS304)		①. 配管材料	給水管の最小口径は2 0 mmとする。ただし, 器具接続部分を除く。
池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号	池下久幸 (一級建築士) 第280837号	工事名称 令和4年度 ひより台一丁目会館改修工事 図面名称 機械設備改修工事特記仕様書③	図面 No M-3		

排水設備	2. 排水桝	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桝リストは図面番号 () (1)材料 ・ RC ・ 硬質塩化ビニル ・ ポリプロピレン ・ SC (2)ふた ・ 鋳鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ T8A) ・ 樹脂製 ※ 県マーク、流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてSUSチェーン付 (3)規格 ・ 日本下水道協会 (JSWAS) ・ プラスチック・マスマンホール協会 (PMMS) ・ 市町村別基準 (・ 有 ・ 無) 	6. その他	配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()
	3. グリース阻集器	・ FRP製 (L) ・ SUS製 (L) 詳細は図示。	昇降機設備	1. 方式 用途 方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用) 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) 4. 管制運転 ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発 5. 工場検査予定 ※ あり ・ なし 6. 無償保守期間 ・ あり (ケ月) ※ なし
備	4. 満水試験継手	図示の箇所に取付け、満水試験を行うこと。	解体工事	① 特記事項 ※建物一式のとりこわし工事に適用とし、機器等の改修工事は適用外 ①施工計画書には、産業廃棄物処理計画を記載するとともに、解体施工前に事前調査を行い、その結果を「指定様式2-1建設副産物処理表(施工前調査表)」としてあらかじめ監督職員に提出すること ②撤去品の一切については、有害物質等の含有又は含有の可能性の有無について改めて調査を行い、その結果を「指定様式2-2建設副産物処理表(撤去品調査後)」として監督職員に提出すること ③上記②により新たな有害物質等の含有又は含有の可能性のある撤去品を確認した場合には、速やかに監督職員と協議するとともに、産業廃棄物処理計画の変更を行い、監督職員の確認を得た上で処理・処分すること ④撤去品の取扱いについては、関係法令等に従い適切な処理・処分を行うとともに、その結果を「指定様式2-3建設副産物処理表(最終)」として監督職員に提出すること
5. 試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生器具などの取付完了後、排水試験又は通水試験を行う。 ・ 衛生器具などの取付完了後、煙試験を行う。 	6. 放流負担金等		
	7. 基礎材	※ 再生クラッシャーラン		

給湯設備	1. 配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 銅管 ・ 被覆鋼管 ・ 保温付被覆鋼管 <膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。>
	2. 弁類	給水設備の当該事項による。
	3. 湯沸器の排気筒	厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。
	4. 保温	湯沸器の給排気筒(二重管)のいんべい部保温を行う。標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5の(h・(i)・X)
	5. ステンレス管の接合方法	(1)呼び径60SU以下 SAS322(一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準)を満足した継手による接合 (2)呼び径75SU以上 ・ 溶接接合 ・ハウジング形管継手による接合 ・ フランジ接合

消火設備	1. 配管材料	(1)一般 <ul style="list-style-type: none"> ・ 配管用炭素鋼管(白) ・ 圧力配管用炭素鋼管(Sch40) (2)地中埋設部 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外面被覆鋼管(SGP-VS) ・ ポリエチレン被覆鋼管(SGP-PS) ・ 外面被覆鋼管(STPG-370VS) ・ ポリエチレン被覆鋼管(STPG-370PS) (3)二酸化炭素用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 圧力配管用炭素鋼管(継目無管)(Sch80)
	2. 屋内消火栓種別	<ul style="list-style-type: none"> ・ 易操作性1号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 広範囲型2号消火栓
	3. 消火栓開閉弁	<ul style="list-style-type: none"> ・ JIS10K ・ JIS20K
	4. 保温	(1)屋外露出管については給水管に準ずる。 (2)充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する (3)消火配管の保温 屋内消火栓 ・ 施工しない ・ 施工する スプリンクラー ・ 施工しない ・ 施工する
	5. 消火器類	(1)消火器 種別 ・ 数量 () (2)消火器収納箱 仕様 ・ 材質 ・ 数量 ()

厨房機器設備	1. 厨房機器類	(1) 図示による(材質などは標準仕様書による)。ただし、寸法は参考とする。 (2) 厨房機器据付要領は、標準図施工74による。
--------	----------	---

ガス設備	1. 配管材料	(1)一般 <ul style="list-style-type: none"> ※ 配管用炭素鋼管(白) ・ ガス事業者の規定による ・ ・ (2)地中埋設部 <ul style="list-style-type: none"> ※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による ・ ガス用ポリエチレン管 ・
	2. 都市ガス	(1)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事 (2)引込み負担金 ・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)
	3. 液化石油ガス	(1)ガスボンベ ※ 借用 ・ 買い取り (・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本) (2)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 (3)集合装置 ・ 標準図(施工72)による(本組) (4)転倒防止等 ・ 標準図(施工73) { ・ (a) ・ (b) } ・ ボルト、チェーン等はSUS製とする。 ・ 容器固定具をGL+300に追加設置する。
	4. ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける (・ 分離形 ・ 一体形) ・ 別途電気工事 外部出力端子 (・ あり ・ なし)
	5. 埋設深さ	(1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道(ガス供給事業者及び道路管理者規定による)

表1「完成書類」 本工事終了後下記の書類を提出すること。					
名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1 完成調書	営繕工事完成引渡要領(令和3年4月1日版)	1部	6 取扱説明書	A4版:黒表紙金文字製本(2 完成図書と合本可)	1部
2 完成図書	A4版:黒表紙金文字製本(機器完成図、取扱説明書と合本可。ただし、厚さが80mmを超える場合は分冊とする。)	1部	①保守に関する案内書	⑤完成図書電子データ	10 工事に関する承諾確認書
3 完成図(縮小)	白焼縮小製本 A3版二つ折り うち1部は設備課保管	2部	②機器別取扱説明書	④各種保証書	
4 完成図・施工図(電子データ)	JWW又はDXF形式CADデータ及びPDF形式	CD 2枚	7 管理の手引き	A4版:チューブ式ファイル	1部
5 機器完成図	A4版:黒表紙金文字製本(2 完成図書と合本可)	1部	①工事概要書	A4版:チューブ式ファイル(着手前、施工状況、完成の各写真)	1部
①機器別完成図			②機器完成図		
②機材材質証明書			③機器別取扱説明書	A4版:ペーパーファイル 完成届に添付	1部
③機材検査成績書			④保守に関する案内書		
④工場試験成績書			⑤緊急連絡先一覧表	A4版:チューブ式ファイル	1部
⑤工場立会検査成績書			8 工事写真		
⑥現場据付試験成績書			①施工写真	A4版:チューブ式ファイル	1部
⑦総合試運転成績書			②完成写真		
			9 工事に関する書類		
			①施工計画書		
			②施工要領書		
			③承諾書・確認書		
			④協議書		
			⑤打合せ議事録		
			⑥工事週報又は日報		
			⑦安全に関する書類		
			⑧廃棄物管理票の写し		

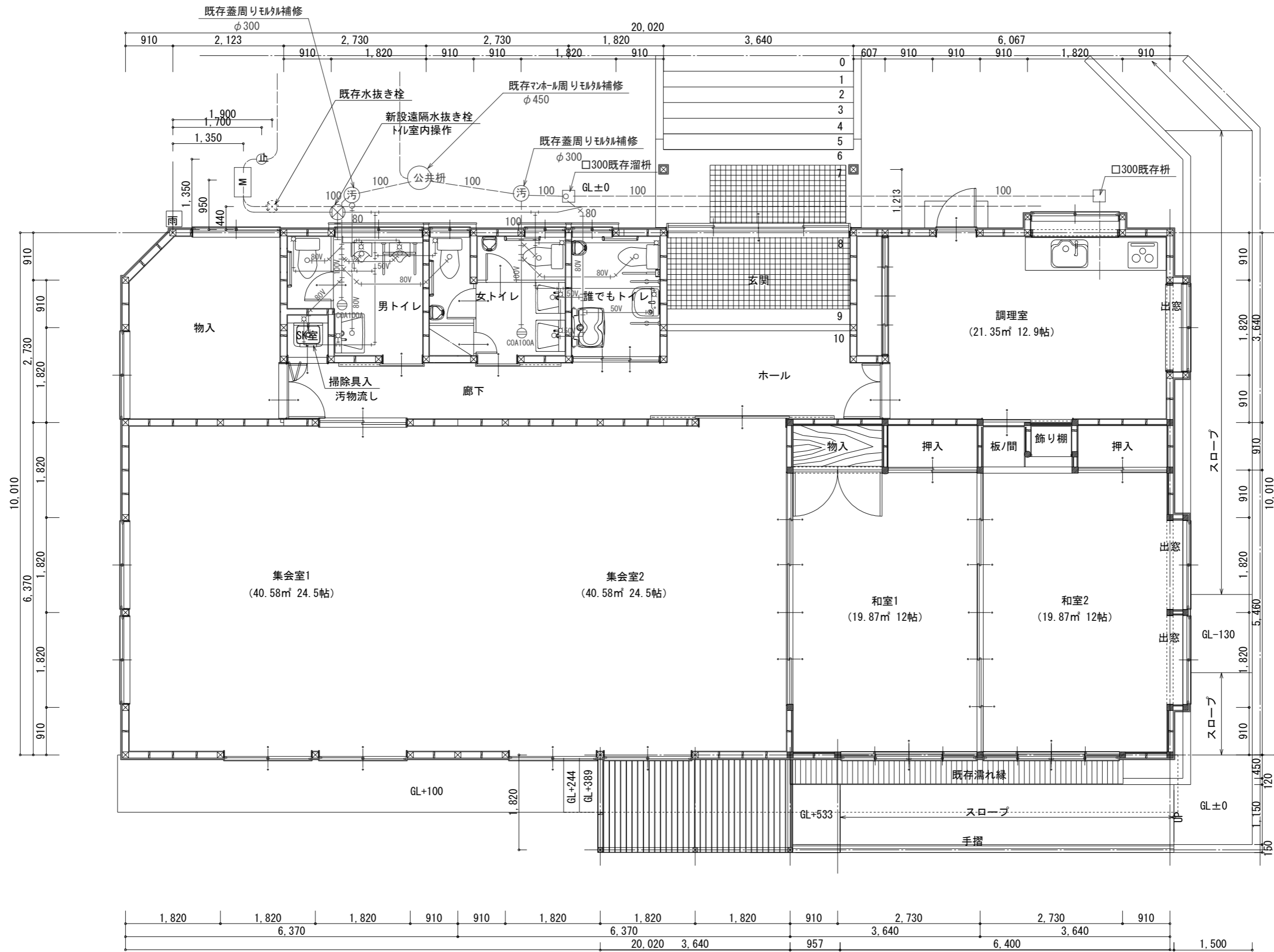
注記: 機器及びシステム参考図について 本図面中で、機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の寸法形状、諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。 これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。					
--	--	--	--	--	--

池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号	池下久幸 (一級建築士) 第280837号	工事名称 令和4年度 ひより台一丁目会館改修工事	図面 No M-4
		図面名称 機械設備改修工事特記仕様書④	

衛生器具表

器具名称	品番	仕様	男子便所	女子便所	多目的便所	事務室	SK (掃除員庫)	屋外	合計	備考
洋風便器	CS232B	SH232BN(ロタンク)、TCF6623(ウオシュレット) 他一式	1	2	1				4	同等品
トイレ手摺	NKF-3WU2	棚手摺(L型タイプ)+2連紙巻器付 他一式	1	2	1				4	同等品
小便器	UFH507CHR	TEA61ADS(自動洗浄システム) 他一式	2						2	同等品
小便器用手すり	T112CU2	固定金具	1						1	同等品
可動式手摺	T113HK7R				1				1	同等品
多目的トイレ洗面器	L250CM	シングル立水栓TLG04101J、床ストラップ TLDS2105 他一式 手摺T112CP31×2台			1				1	同等品
照明付化粧鏡	LM531E	障害者用傾斜鏡 528×297×743			1				1	同等品
ベビーチェア	YKA15S			2	1				3	同等品
ベビーシート	YKA24S				1				1	同等品
洗面化粧台 LIXIL	FTV1N-603N 寒冷地仕様	ミラキャビネットMFTX1-601XPJ 他一式	1	2					3	同等品
掃除流し	S-200	LF-7C-19, SF-20SAF-P, SF-10E 他一式					1		1	同等品
電動水抜栓	NRZ-D	NRZ-D1-MT同等品、操作盤(屋内設置) NRZ-C1同等品	1						1	同等品

工事名	令和5年度ひより台一丁目会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 改修 衛生器具表	図面No. M-5
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555		日付	日付	日付	縮尺	



工事名 令和5年度ひより台一丁目会館改修工事

備考

(株)池下建築設計
 事務所登録 宮城県 第21610219号
 宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3
 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ

管理者 池下 久幸
 一級建築士 第280837号
 日付

設計者 池下 久幸
 一級建築士 第280837号
 日付

担当者
 日付

図面名 改修 給排水衛生設備図

縮尺 1/75

図面No. M-6

令和6年度 ひより台一丁目会館改修工事
閲覧特記事項書

1. 工事实績情報登録

工事实績情報の登録について、契約締結後10日以内に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出すること。

2. 官庁その他への手続き関係

イ) 工事施工に必要な諸手続き、仮設用電力・水道の引込手続き（設計審査手数料及び竣工検査手数料を含む）、道路、電線、その他第三者管理の土地等を使用する際や支障移設等の手続きは一切工事施工者にて行い、且つその費用を負担すること。

ロ) 本工事施工により生じた付近道路、その他建築物又は工作物の損傷は一切施工者の責任において誠意をもって復旧すること。

又、近隣との融和につとめ、本工事による苦情が発注者まで及ばぬよう施工者の責任において処理すること。

3. 下請負契約、雇用及び購入業者選定

下請負業者の選定や職業労働者の雇入れ及び使用機器材の購入にあたっては富谷市内の業者及び労働者雇用に配慮すること。

4. 建材等について

工事に使用する建材については、無石綿建材とすること。

5. 諸検査等について

市役所検査等の諸検査も工期に含むものとする。

6. 製本図の提出

工事請負者は工事に先立ち、本工事設計図製本（A-3版二つ折り製本）3部を提出すること。

ひより台一丁目会館 現況写真

